

VI 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目 (いずれかに○をつけて下さい。)

| | |
|--------|--|
| 【音 楽】 | 合唱, <input checked="" type="checkbox"/> オーケストラ等, 音楽劇 |
| 【演 劇】 | 児童劇, 演劇, ミュージカル |
| 【舞 踊】 | バレエ, 現代舞踊 |
| 【伝統芸能】 | 歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸 |

申請する区分に, ○を付してください。

 A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

| | | | |
|-----------------------|--|---|--------------|
| ふりがな | とうきょうこうせいういんどおーけすとら | | |
| 制作団体名 | 東京佼成ウインドオーケストラ | | |
| 代表者職・氏名 | 楽団長 林 總太郎 | | |
| 制作団体所在地 (最寄り駅・バス停) | 〒166-8537 東京都杉並区和田 2-6-1 普門館4F (丸の内線 方南町) | | |
| 電話番号 | 03-5341-1155 | F A X 番号 | 03-5341-1255 |
| ふりがな | とうきょうこうせいういんどおーけすとら | | |
| 公演団体名 | 東京佼成ウインドオーケストラ | | |
| 代表者職・氏名 | 楽団長 林 總太郎 | | |
| 公演団体所在地 (最寄り駅・バス停) | 〒166-8537 東京都杉並区和田 2-6-1 普門館4F (丸の内線 方南町) | | |
| 制作団体 設立年月 | 1960年 5月 | | |
| 制作団体 組織 | 役 職 員 | 団体構成員及び加入条件等 | |
| | 理事長 川端 健之 | 演奏家 33名 (※一般公募によるオーディションにて採用) 事務局スタッフ 8名 | |
| 事務体制の担当 | <input checked="" type="checkbox"/> 専任 ・ 他の業務と兼任 | 本事業担当者名 | 久保 慶恵・井小萩 浩之 |
| 経理処理等の 監査担当の有無 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 | 経理責任者名 | 水本 孝枝 |

| | | | |
|-------------------------|--|---|-------|
| 制作団体沿革 | <p>1960年5月立正校成会附属「佼成吹奏楽団」として結成。1973年東京佼成ウインドオーケストラに改称し現在に至る。桂冠指揮者にフレデリック・フェネルを擁し、2014年1月からは大井剛史が正指揮者に、ミュージック・アドバイザーに藤野浩一、首席客演指揮者にトーマス・ザンデルリンクがそれぞれ就任した。また、歴代の指揮者陣には汐澤安彦、宇宿允人、平井哲三郎、ダグラス・ボストック、ポール・メイエなどが名を連ねている。</p> <p>吹奏楽＝マーチというイメージの強かった1970年代から現在まで、当楽団育ての親であるフレデリック・フェネルの提唱した<ウインド・アンサンブル>を啓蒙するため、積極的に国内外の著名指揮者と共演している。過去の定期演奏会に於いては山田一雄、岩城宏之、秋山和慶、井上道義、沼尻竜典、山下一史、ハンス・グラーフ、下野竜也などと共演。近年では飯守泰次郎、飯森範親、ラドミル・エリシュカ、渡邊一正、川瀬賢太郎、キンポー・イシイ、本名徹次、ユベール・スダーンなどクラシック界でも話題の豊富な指揮者を迎え、鑑賞にスポットを当てた定期演奏会は、どの回も好評を博している。</p> <p>海外でのコンサートに関しては、1989年ヨーロッパ公演を皮切りに、2011年台湾公演まで8回にわたって行われている。近年、新しい試みとしてミュージック・アドバイザー藤野浩一と共に「エンタテインメント・コンサート」を開催。森山良子、岩崎宏美、八神純子といった歌唱力に定評のあるゲストを招き、多くの聴衆を魅了している。テレビ・ラジオへの出演も数多い。近年ではテレビ朝日系列「題名のない音楽会」、NHK「ららら♪クラシック」、「クラシック倶楽部」、NHK-FM「吹奏楽のひびき」などに出演。特に2013年以来、NHK「明日へ」東日本大震災復興支援ソング「花は咲く」プロジェクトに協力している。</p> <p>そのほか、毎年正月恒例「箱根駅伝」のテーマ曲の演奏は当楽団によるものであり、レース中継に彩りを添えている。CDなどのレコーディングも積極的に行っている。最近では日本コロムビア、ユニバーサルミュージック、キングレコード、ビクターエンタテインメント、エイベックス・クラシックス、ポニーキャニオン、ブレーン、フォンテックの各社からリリース。2013年に引き続き、2015年、2016年もレコード・アカデミー賞を受賞した。</p> | | |
| 学校等における公演実績 | <p>創立当初より国内各地の要請に応じ、積極的にほぼ毎年開催。</p> <p>栃木県立真岡高等学校・栃木県立真岡女子高等学校・加藤学園高等学校・青藍泰斗高等学校・桐蔭学園・聖学院や足利市内小中学校・長野県松本市内小学校(3週間30ステージ)等。その他にも弊楽団地元の杉並区内小学校などで開催。</p> <p>2013年度文化庁事業にて23公演実施、2014年度17公演、2016年度14公演、2018年13公演。</p> | | |
| 特別支援学校における公演実績 | <p>小平特別支援学校、盛岡少年刑務所、下北養護学校、生の松原特別支援校、筑紫少女苑、慈光園、松本養護学校、松本盲学校、杉並区立済美養護学校等</p> | | |
| 参考資料の有無 | A | 申請する演目のチラシパンフレット等 | ① ・ 無 |
| | | 申請する演目のDVDまたはWEB公開資料 | ① ・ 無 |
| | ※公開資料有の場合 URL | | |
| | ※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード | ID: PW: | |
| | Aの提出が困難な場合 | 今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料 | 有 ・ 無 |
| | | ※公開資料有の場合 URL | |
| ※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード | | ID: PW: | |

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 東京校成ウインドオーケストラ】

| | | | | | |
|--------------------------------|---|-----------------------|------------------------|---|-------------------------------------|
| 対象 | 小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生 | | | | |
| 企画名 | 音楽の全てを体感！共感！大作戦！ | | | | |
| 本公演演目 原作／作曲 脚本 本演出／振付 | <p>① 【金管楽器の原点】第一旋法による8声部のカンツォーナ (G. ガブリエリ)</p> <p>② 【木管楽器の原点】セレナーデ第10番「グラン・パルティータ」より (W. A. モーツァルト)</p> <p>③ ファンファーレとアレグロ (C. ウィリアムズ)</p> <p>④ <楽器紹介></p> <p>⑤ シャウティン・ライザ・トロンボーン (H. フィルモア)</p> <p>⑥ アニー・ローリー (J. D. スコット) ※アルトサクソソロ</p> <p>⑦ 【共演コーナー】※以下3つから2つ選択 <全員合唱>「オリジナル合唱曲」「翼をください」「故郷」から1曲選択 <リズム競演>「ラテン曲(テキェーラ)」でリズム遊び <吹奏楽部・金管バンド共演>各学校からの希望曲</p> <p>⑧ 歌劇「ローエングリン」より エルザの大聖堂への行列(R. ワーグナー) <アンコール> 校歌</p> <p style="text-align: right;">公演時間(80分)</p> | | | | |
| 著作権 | 制作団体が 所有 | <input type="radio"/> | 制作団体以外が所有する事 項が含まれる | 有 | (制作団体以外が所有する 事項が含まれる場合) 許諾の有無 |
| 演目概要 | <p>音楽を体感するプログラム！ ルネッサンス期のガブリエリからロマン派の大作曲家ワーグナーまで、 多様な音楽を伝えたいと考えます。</p> <p>音楽を共感するプログラム！ 共演コーナーでは声や楽器を使ってオーケストラとどんな事が出来るのか 挑戦、冒険する気持ちを伝えたいと考えます。※以下3つより2つを選択。 <全員合唱>声と管楽器、同じ息を使った響きの調和に挑みます。 オリジナル合唱曲を作成する事も可能です。 <リズム競演>オーケストラ伴奏で心身共に弾むリズムで競演。 <吹奏楽部・金管バンド共演>吹奏楽部・金管バンドと共演も可能。プロの演奏家が サポートしながら児童・生徒達が主役となって演奏披露をします。</p> | | | | |
| 演目選択理由 | 高度な演奏技術の披露は勿論の事、吹奏楽による音楽の魅力を存分に楽しめるプログラムを選択・構成しました。舞台以外での演出も工夫を凝らし立体感のある親しみやすい公演をお届けします。 | | | | |
| 児童・生徒の共演，参加又は体験の形態 | 共演コーナーとして <全員合唱>オーケストラ伴奏で歌います <リズム競演>オーケストラ伴奏にリズム遊びをしながら演奏します。 | | | | |

| | | | |
|----------------------|--|------------------|--|
| | <p><吹奏楽部・金管バンド共演>オーケストラの中に合同演奏します。</p> | | |
| 出 演 者 | <p>出演者:指揮者@1名+団員@33名+エキストラ奏者@13名 指揮:大井剛史(当楽団正指揮者)もしくは堀俊輔を予定。 前田綾子/丸田悠太/白戸美帆(フルート・ピッコロ)宮村和宏/是沢悠(オーボエ)福井弘康/宮部貴絵(ファゴット)松生知子(エスクラリネット)小倉清澄/大浦綾子/太田友香/林裕子/亀居優斗/井上梨江/船木善行/鈴木雄大/芹澤美帆(クラリネット)新井清史(アルトクラリネット)有馬理絵(バスクラリネット)原浩介(コントラバスクラリネット)田中靖人/林田祐和(アルトサククス)松井宏幸(テナーサククス)栃尾克樹(バリトンサククス)奥山泰三/ガルシア安藤真美子/本間千也/河原史弥(トランペット)上原宏/堀風翔/木村淳/小助川大河(ホルン)今村岳志/竹内優彦/佐藤敬一朗(トロンボーン)岩黒綾乃/鎌田裕子(ユーフォニアム)近藤陽一/久保和憲(チューバ)坂本雄希/秋田孝訓/渡辺壮/和田光世/堀正明/古立匠(ティンパニー/打楽器)前田芳彰(コントラバス)</p> | | |
| 公演出演予定者数 (1公演あたり) | <p>出 演 者: 47 名 <u>ス タ ッ プ: 6 名</u> 合 計: 53 名</p> | 機 材 等 運 搬 方 法 | <p>積 載 量 4t 車 長 9m 台 数 1 台</p> |

【公演団体名 東京佼成ウインドオーケストラ】

| | | | | | | |
|--------------------------------------|---|----------------------|-------------|-----|-------------|-------|
| 公演に当たっての会場条件 | 実施条件等確認書①をご確認ください。 | | | | | |
| 会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安 | 前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間(1時間半程度) | | | | | |
| | 到着 | 仕込み | 本公演 | 内休憩 | 撤去 | 退出 |
| | 9:00 | 9:00~10:30 | 13:30~15:00 | 0分 | 15:00~16:30 | 16:30 |
| ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。 | | | | | | |
| 児童・生徒の参加可能人数 | ワークショップ | 概ね800名以内(※会場の大きさによる) | | | | |
| | 本公演 | 概ね800名以内(※会場の大きさによる) | | | | |
| ワークショップ実施形態及び内容 | <p>※以下3つから2つを選択</p> <p><合唱指導>ワークショップ前に合唱曲譜面を用意し、授業や朝の会・帰りの会で少しずつ練習をし、ワークショップでは、本公演に向けてのより高度な指導を行う。</p> <p><リズム指導>ワークショップ前にリズム競演用の譜面を用意し、授業や朝の会・帰りの会で少しずつ練習をし、ワークショップでは、より専門的に本公演に向けての指導を行う。</p> <p><吹奏楽部・金管バンド部指導></p> <p>初心者への為の基本的な練習から、より専門的な演奏技術まで指導を行う。合奏でのポイントや音楽の楽しみを体感してもらう。</p> | | | | | |
| ワークショップ実施形態の意図 | <p>※以下3つから2つを選択</p> <p><合唱指導>いつも慣れ親しんでいるピアノ伴奏とは異なる、発声法やアンサンブルの作り方をイメージし、本公演での作品完成に挑みます。その過程で音楽を創作・創造する喜びを育みます。</p> <p><リズム指導>リズムのやり取りの中で、相手と合わせたり、わざとずらしたりする事を体感、さらにオーケストラと合わせることによってイキイキとする感覚を味わいます。</p> <p><吹奏楽部・金管バンド指導>本公演に必要なイメージを事前説明し、ウインドオーケストラとの合同演奏に向かって音楽を作り上げコンサート当日に成果の実感が出来るようにつとめます。</p> | | | | | |
| 特別支援学校での実施における工夫点 | <p>内容は変更無く実施可能。</p> <p>必要な場合は柔軟に対応可能。</p> <p>学校側の運営に最大限協力し学校側の意図・ねらいが達成するように実施。</p> | | | | | |
| 実施可能時期 ◇はB区分申請団体のみ | 実施可能時期スケジュール表をご確認ください。 | | | | | |

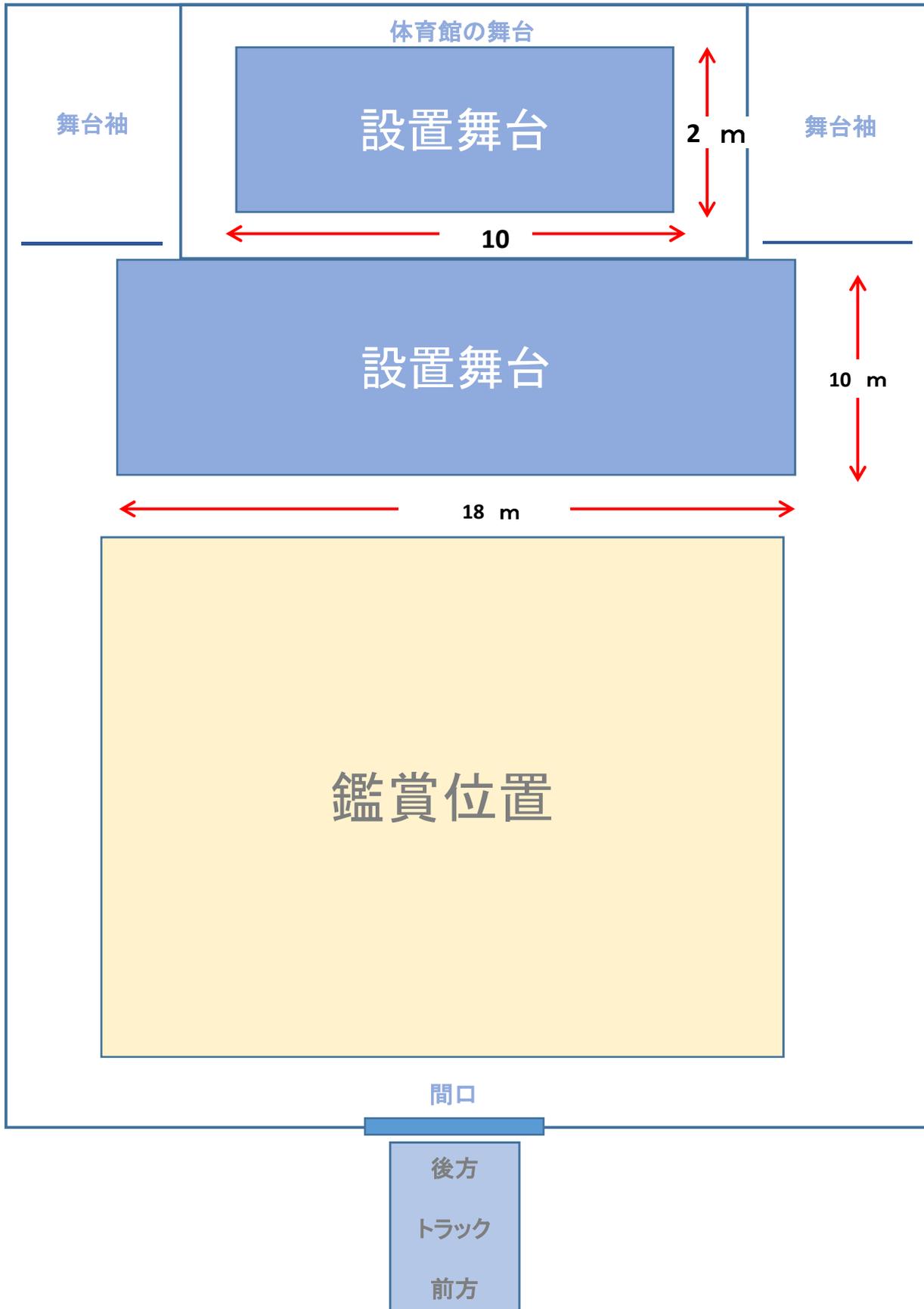
【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

| | | | | | | | | | |
|-------|----------------|----|----|----|---------|----------------|---|----|---|
| ID | H88 | 分野 | 音楽 | 種目 | オーケストラ等 | ブロック | H | 区分 | A |
| 公演団体名 | 東京佼成ウインドオーケストラ | | | | 制作団体名 | 東京佼成ウインドオーケストラ | | | |

① 会場条件等についての確認

| 項目 | 応相談 | 必要条件等 | | | | | | | |
|---------|--|------------------------|----|-----------------|---|------------------------|------------------|----|------|
| 控室について | 可 | 必要数 * | 3室 | 条件 | 指揮者1名1室、男性約30名1室、女性約15名1室。着替えるため、目隠し可能な部屋。 | | | | |
| 搬入について | 可 | 来校する車両の大きさと台数 * | | | 4トラック 1台 | 大型バス 2台 | | | |
| | 可 | 来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ | | | 4トラック | | | | |
| | 可 | 搬入車両の横づけの要否 * | | | 要 | | | | |
| | 可 | 横づけができない場合の搬入可能距離 * | | | 30m以内 | | | | |
| | 可 | 搬入経路の最低条件 | | | ・屋根がある経路。 ・幅2m・高さ2mが確保できる経路。 | | | | |
| | | 理由 | | | 楽器搬入のため。 | | | | |
| | — | 設置階の制限 * | | | 問わない | | | | |
| 可 | 搬入間口について 単位:メートル | | 幅 | 2m | 高さ | 2m | | | |
| WSについて | 可 | 参加可能人数 | | | 800名程度まで(※会場の大きさによる) | | | | |
| | 可 | 学年の指定の有無 * | | | なし | 指定学年 * | なし | | |
| | 可 | 所要時間の目安 単位:分 | | | 90分程度 | | | | |
| 本公演について | | 会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間 | | | ※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。 | | | | |
| | 可 | 鑑賞可能人数 | | | 800名程度まで(※会場の大きさによる) | | | | |
| | 可 | 舞台設置場所 * | | | ステージ上・フロアの両方 | | | | |
| | 可 | 舞台設置に必要な広さ 単位:メートル | | 幅 | フロア18m ステージ10m | 奥行 | フロア10m ステージ2m | 高さ | 指定なし |
| | — | 体育館の舞台を使用する場合の条件 | | | 舞台袖スペースの確保 * | | | 不要 | |
| | — | | | | 舞台袖スペースの条件 * | | | | |
| | — | | | | 緞帳 * | 不要 | バトン * | 不要 | |
| | — | 遮光(暗幕等)の要否 * | | | 不要 | 理由 | | | |
| | — | ピアノの調律・移動の要否 | | 指定位置へのピアノの移動 * | 不要 | ※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。 | | | |
| | — | | | ピアノの事前調律 * | | 不要 | | | |
| | 可 | フロアを使用する場合の条件 | | バスケットゴールの設置状況 * | 昇降式・格納式であれば可 | | | | |
| | 可 | 公演に必要な電源容量 | | | 900W | ※主幹電源の必要容量 | | | |
| | その他特記事項 | | | | | | | | |
| 可 | 本公演ではピアノを使いませんが、WSでは使います。事前調律は必要ありません。 | | | | | | | | |
| 可 | 寒い時期での開催の場合、暖房器具の使用が可能な事。 | | | | | | | | |
| 可 | (その他器具は持込む予定ですが、可能であれば学校備品を借りる事も有ります。) | | | | | | | | |

会場図面(表記単位:メートル)



| | | | | |
|-------------------|---|-----|----|----|
| 搬入間口について | 幅 | 2m | 高さ | 2m |
| 搬入車両の横づけの要否 | | 要 | | |
| 横づけができない場合の搬入可能距離 | | 30m | | |

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

🐦 プログラム

- ① ガブリエリ/第一旋律による8声部のカンツォーナ**
 ガブリエリは作曲家でもあり、オルガン奏者としても活躍していました。
 この曲は金管楽器だけで演奏します。パワフルで華やかな音がどこから聞こえてくるでしょうか。周りをよく探してみてくださいね。
- ② モーツァルト/セレナーデ第10番「グラン・パルティータ」より第7楽章「フィナーレ」**
 スピーディーでキビキビとした曲想ではじまり、後半はきれいなメロディーがリレーのように代わる代わる出てきます。木管楽器のやわらかい音色に耳をかたむけてください。
- ③ ウィリアムズ/ファンファーレとアレグロ**
 打楽器とトランペットのカッコいいファンファーレでスタートし、次から次へと色々な楽器の音が聞こえてきます。後半はノンストップで最後までかけぬけます。しっかりついてきてくださいね。
- ④ フィルモア/シャウティン・ライザ・トロンボーン**
 フィルモアはトロンボーン奏者でもあり、作曲家としてもたくさんの曲を残しています。
 シャウティン・ライザ・トロンボーンでは3本のトロンボーンが大活躍します。
 トロンボーンにしかできないテクニックがたくさん詰まった楽しい作品です。
- ⑤ スコット/アニー・ローリー**
 ずっと昔スコットランドに実在した、美人な女性「アニー・ローリー」への思いをかけた曲です。
 いまでは大切な人を守る心、ふるさとを思う心を表現する曲で有名です。
- ⑥ 共演コーナー**
 みなさんが主役となるプログラムです。
 ※各学校で「合唱共演」「リズム競演」「吹奏楽部・金管バンド共演」の中から2つを選びます。
 - ◆ **合唱共演** ※以下の3曲の中から1曲を歌います。
 翼をください、故郷、オリジナル合唱曲
 オリジナル合唱曲：事前に募集した作詞・作曲をプロの作曲家がオーケストラ伴奏の合唱曲に編曲しました。
 世界に1つしかないオリジナル作品です。オーケストラと一緒に演奏を体験しましょう。
 - ◆ **リズム競演：テキーラ**
 身近な楽器と手拍子、そしてオーケストラのスペシャルアレンジバージョンです。
 素敵な演奏と時間を体感しましょう。
 - ◆ **吹奏楽部・金管バンド共演**
- ⑦ ワグナー/歌劇「ローエングリン」より「エルザの大聖堂への行列」**
 ドイツの作曲家ワグナーの大作品、歌劇「ローエングリン」。
 その中の結婚式のシーンで使われる曲「エルザの大聖堂への行列」です。
 オーケストラの雄大な響きをお楽しみください。

東京佼成ウインドオーケストラ

56年前の1960年5月に「佼成吹奏楽団」としてスタート。1973年に今の名前である「東京佼成ウインドオーケストラ」となりました。
 毎年たくさんのコンサート行い、その中には小中学生向けの学校コンサートも含まれています。レコーディングも多くして、今までに300種類以上のCDが発売されました。最近では「題名のない音楽会」「ららら♪クラシック」「クラシック倶楽部」「吹奏楽のひびき」など、テレビやラジオへも数多く出演しています。

🐦 がっきしょうかい 楽器紹介

ウインドオーケストラには、いろいろな楽器が使われていますが、大きく4つのグループに分けることができます。

🎵 打楽器

動物の皮を張った太鼓や、シンバル・トライアングル・木琴など、たたいて音を出す楽器です。

🎵 金管楽器

金属でできたラッパの仲間です。唇の振動を楽器に伝えて音を出します。

🎵 木管楽器

おもに木で作られた笛の仲間。息を吹き入れて音を出します。

🎵 弦楽器

糸のような弦を弓でこすったり、指で弾いて音を出します。

おもに木で作られた笛の仲間。息を吹き入れて音を出します。

VI 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目 (いずれかに○をつけて下さい。)

| | |
|--------|--|
| 【音 楽】 | 合唱, <input checked="" type="checkbox"/> オーケストラ等, 音楽劇 |
| 【演 劇】 | 児童劇, 演劇, ミュージカル |
| 【舞 踊】 | バレエ, 現代舞踊 |
| 【伝統芸能】 | 歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸 |

申請する区分に, ○を付してください。

 A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

| | | | |
|---------------------|---|--|--------------|
| ふりがな 制作団体名 | こうえきしゃだんほうじん おおさかふいはーもにーきょうかい ----- 公益社団法人 大阪フィルハーモニー協会 | | |
| 代表者職・氏名 | 理事長 奥 正之 | | |
| ふりがな 公演団体名 | おおさかふいはーもにーこうきょうがくだん ----- 大阪フィルハーモニー交響楽団 | | |
| 代表者職・氏名 | 常務理事 浅沼 吉正 | | |
| 団体所在地 (最寄り駅・バス停) | 〒557-0041 大阪市西成区岸里 1-1-44 (最寄り駅:大阪メトロ四つ橋線「岸里」駅) | | |
| 電話番号 | 06-6656-7711 | F A X 番号 | 06-6656-7714 |
| 制作団体 設立年月 | 昭和 25(1950)年 3 月 | | |
| 制作団体 組織 | 役 職 員 | 団体構成員及び加入条件等 | |
| | 理事長:奥 正之 常務理事:浅沼吉正 常任理事:伊藤雄二郎 他 6 名 理事:阿部圭介 他 14 名 監事:月山 将 他 1 名 楽団員:75 名(内、特別契約 5 名) 事務局員:15 名(常勤雇用) | 1. 正会員数 534 (平成 30 年 3 月末現在) 内 法人会員 274 社、個人会員 260 名 2. 加入条件 この法人の目的に賛同して入会した個人または法人で、毎年下記の会費を拠出するもの 会費 法人 年額20万円/口 個人 年額 5万円/口 | |
| 事務体制の担当 | <input checked="" type="checkbox"/> 専任 ・ 他の業務と兼任 | 本事業担当者名 | 野瀬 遼太郎 |
| 経理処理等の 監査担当の有無 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 | 経理責任者名 | 浅沼 吉正 |

| | | | |
|----------------|--|--|---|
| 制作団体沿革 | <p>昭和 22(1947)年 1 月 朝比奈隆を中心として大阪フィルの前身「関西交響楽団」を結成 昭和 25(1950)年 4 月 「社団法人関西交響楽協会」を設立し、関西交響楽団の助成にあたる 昭和 35(1960)年 5 月 関西交響楽団を一旦解散し、新たに「大阪フィルハーモニー交響楽団」を結成 昭和 57(1982)年 5 月 協会の名称を「社団法人大阪フィルハーモニー協会」に改める 平成 8(1996)年 4 月 社団法人大阪フィルハーモニー協会が、大阪フィルハーモニー交響楽団（任意団体）を統合 平成 24(2012)年 4 月 公益社団法人大阪フィルハーモニー協会に移行 平成 28(2016)年 7 月 大阪フィルハーモニー交響楽団第 500 回定期演奏会を開催 平成 29(2017)年 4 月 楽団創立 70 周年を迎える 平成 30(2018)年 4 月 第 3 代音楽監督に尾高忠明が就任</p> | | |
| 学校等における公演実績 | <p>昭和 22 年の結成当初から、オーケストラの普及活動のため学校の体育館や地元施設等、様々な場で学生のための公演を重ねてまいりました。 近年では、平成 25 年度・10 回、平成 26 年度・8 回、平成 27 年度・7 回、平成 28 年度・6 回、平成 29 年度・8 回、平成 30 年度・6 回(予定)、学校団体を対象にした公演を行っているほか、小編成によるアウトリーチ活動にも積極的に取り組んでおり、平成 25 年度・13 回、平成 26 年度・21 回、平成 27 年度・18 回、平成 28 年度・15 回、平成 29 年度・22 回、平成 30 年度・20 回(予定)、学校や公民館などを訪問しています。 また平成 11 年にスタートした自主事業「親子のためのオーケストラ体験教室」は、今年の夏休みで 19 年目を数えるロングラン企画となり、公演回数は 75 回超、観客動員数は延べ 2 万人を超えました。そのほか NPO 団体、公益法人、企業からの依頼による「ファミリーコンサート」なども手掛けています。</p> | | |
| 特別支援学校における公演実績 | <p>平成 21 年度 奈良西養護学校(文化庁「本物の舞台芸術体験事業」) 平成 26 年度 柏崎特別支援学校(文化庁「文化芸術による子供の育成事業」) 平成 29 年度 福岡市立南福岡特別支援学校(文化庁「文化芸術による子供の育成事業」) 平成 30 年度 東京都立南花畑特別支援学校(文化庁「文化芸術による子供の育成事業」)</p> | | |
| 参考資料の有無 | A | <p>申請する演目のチラシパンフレット等</p> <p>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</p> | <p>①有 ・ 無</p> <p>有 ・ ②無</p> <p>ID: PW:</p> |
| | A の提出が困難な場合 | <p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</p> | <p>③有 ・ 無</p> <p>DVD を提出いたします。</p> <p>ID: PW:</p> |

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 大阪フィルハーモニー交響楽団】

| | | | |
|--|---|--------------------------|---------------------------------------|
| 対象 | 小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生 | | |
| 企画名 | <Enjoy! オーケストラ> | | |
| <p>本公演演目</p> <p>原作／作曲 脚本 演出／振付</p> | <p style="text-align: right;">♪は体験型プログラム。</p> <p>1. ヴェルディ／歌劇「運命の力」序曲 (8分)</p> <p>2. 【弦楽器紹介】 ヴァイオリン、チェロ等、一つずつの音を聴いてもらいながら紹介 (8分)</p> <p>3. モーツァルト／「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より 第1楽章 (4分)</p> <p>4. 【管打楽器紹介】 フルート、ホルン、ティンパニ等、一つずつの音を聴いてもらいながら紹介 (12分)</p> <p>5. ♪【指揮者体験コーナー】 ブラームス／ハンガリー舞曲 第5番より (15分)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>[次のプログラムは小学校、中学校で異なります]</p> <p><小学校></p> <p>6. ♪【ボディ・パーカッション共演】 (10分)</p> <p><中学校></p> <p>6. ♪【オーケストラ分解演奏】 チャイコフスキー／バレエ組曲「白鳥の湖」より“情景” (10分)</p> </div> <p>7. 大栗 裕／大阪俗謡による幻想曲 より (5分)</p> <p>8. ♪【全員合唱】 Believe or 翼をください or 校歌 (4分) * 学校のご要望に合わせて、吹奏楽部や器楽合奏との共演等、他の内容に変更も可能です。</p> <p>9. チャイコフスキー／交響曲 第4番 へ長調 作品36より 第4楽章 (10分)</p> <p>[アンコール曲]</p> <p>10. J.シュトラウスⅡ世／ポルカ「雷鳴と稲妻」作品324 (3分)</p> <p style="text-align: right;">公演時間(約85分)</p> | | |
| 著作権 | 制作団体が 所有 | ○ 制作団体以外が所有する 事項が含まれる | 有 (制作団体以外が所有する 事項が含まれる場合) 許諾の有無 |

演 目 概 要

1. ヴェルディ／歌劇「運命の力」序曲

イタリアオペラを代表する作曲家、ヴェルディの「運命の力」序曲で演奏会の幕開けです。ヴェルディのドラマティックで華やかな旋律が印象的な作品で、子どもたちを一気にオーケストラの世界へと引き込みます。

2. 【弦楽器紹介】 楽器紹介その①

まずオーケストラの主要セクションであるヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープという5種類の弦楽器を紹介いたします。

3. モーツァルト／「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より 第1楽章

弦楽器個々の紹介に続いて、弦楽合奏を一曲聴いていただきます。誰もが一度は耳にしたことのあるモーツァルトの代表作「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より第1楽章です。軽快な旋律にのせて弦楽器ならではの精緻なアンサンブルをお楽しみください。

4. 【管打楽器紹介】 楽器紹介その②

続いて、フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、チューバ、ティンパニ、打楽器と、管打楽器一つずつを指揮者の解説付きで紹介いたします。

5. ♪【指揮者体験コーナー】 ブラームス／ハンガリー舞曲 第5番より

代表の児童・生徒(3名)にオーケストラの指揮を体験していただきます。曲はテレビCM等でもおなじみのブラームスのハンガリー舞曲第5番。音の強弱やテンポが次々と変化するため指揮者の個性が出やすく、指揮者体験にうってつけの作品です。フル・オーケストラを指揮するという、またとない機会ですので、代表の児童・生徒にとっては忘れられない体験になると同時に、鑑賞している児童・生徒にも指揮者の役割を実感していただけます。

【次のプログラムは小学校と中学校で異なります】

6. ☆小学校 ♪【ボディ・パーカッション共演】

手拍子や足踏みなど、自分の身体を使ってリズムを刻むボディ・パーカッション。体を動かすことで、子どもたちの気持ちもほぐします。2チームに分かれてそれぞれ違うリズムを叩いてもらい、お互いのリズムが組み合わさる楽しさや、一体となったときの迫力を体験してもらいます。

6. ☆中学校 ♪【オーケストラ分解演奏】

チャイコフスキー／バレエ組曲「白鳥の湖」より“情景”

チャイコフスキーの「白鳥の湖」より“情景”を題材に、オーケストラ全体の中での各楽器の役割(例:オーボエは高貴ながら悲哀をまとった白鳥の姿、ホルンは物語の悲劇性、弦楽器のトレモロやハープは月夜に照らされた湖など)はどのようになっているのか、それらがどのように組み合わさって曲になっているのかを役割ごとに分解演奏し、オーケストラならではの表現力の素晴らしさを解説いたします。

7. 大栗 裕／大阪俗謡による幻想曲より

2018年に生誕100周年を迎えた大阪出身の作曲家で、元大阪フィルのホルン奏者でもあった大栗裕の代表作。吹奏楽コンクール等でも演奏される機会が多く、中高生の間でもよく知られている作品です。大阪のお祭りを代表する天神祭や生国魂神社の夏祭りの旋律等、大阪の民衆的音楽が題材にされており、まさに大阪を音で表現した作品です。

8. ♪【全員合唱】 Believe or 翼をください or 校歌

オーケストラの伴奏に合わせて一緒に歌っていただきます。曲は 3 曲の中から選択可能です。校歌を選択された場合、今回、特別にオーケストラ・アレンジした伴奏譜を終演後にプレゼントさせていただきます。なお、このコーナーは学校からのご要望に応じて、吹奏楽部との共演や器楽合奏との共演にも変更可能です。

9. チャイコフスキー／交響曲 第 4 番 ハ長調 作品 36 より 第 4 楽章

ロシアを代表する作曲家チャイコフスキーの交響曲の中から、圧倒的なサウンドを誇る交響曲第 4 番の第 4 楽章を演奏いたします。スピード感あふれる旋律と、フィナーレの全合奏による盛り上がりは必聴です。コンサートの最後までフル・オーケストラのダイナミックな演奏を楽しんでもらいたいと思います。

演目選択理由

多くの種類の楽器からなるオーケストラ。そのダイナミックかつ多彩な響きを子どもたちに存分に
①見て・聴いて ②体感してもらえる作品・企画 をご用意いたしました。
子どもたちに時代や国境を越えた芸術作品の魅力を全身で感じてもらい、本事業の目的である、子どもたちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や芸術鑑賞能力の向上に寄与できる内容をお届けいたします。

①見て・聴いて

☆楽器の特徴を知り、興味を持ってもらう

プログラムの前半に楽器ごとの紹介をいたします。それぞれの楽器の音色を聴いてもらうことで、オーケストラを構成する楽器の数や種類を理解してもらい、同じセクションのよく似た楽器でも、それぞれ音色が違うことを知っていただきます。また、楽器紹介を弦楽器と管打楽器に分けて行い、飽きずに楽しんでもらえるように工夫いたします。

☆大阪フィルならではのプログラムも披露

大阪フィルでホルン奏者としても活躍した作曲家で、2018 年に生誕 100 周年を迎えた大栗裕(1918-1982)の「大阪俗謡による幻想曲」を披露いたします。この作品は、大栗裕と親交の深かった大阪フィルの創立名誉指揮者・朝比奈隆がベルリン・フィルハーモニー管弦楽団に客演した際に献呈された曲で、まさに大阪フィルならではのレパートリーの一つであり、大阪を音で表現したこの作品を広く知っていただくきっかけとして演奏いたします。

☆本格的な作品も鑑賞

1 曲目にイタリアの作曲家ヴェルディの歌劇「運命の力」序曲をセレクトし、冒頭から圧倒的なサウンドで子どもたちの心を掴みます。メインにはチャイコフスキーの交響曲第 4 番より第 4 楽章をお聴きいただき、目の前で演奏される本格的な作品を通して、オーケストラの醍醐味を味わっていただきます。

☆指揮者によるわかりやすい説明で進行

音楽鑑賞会や子ども向けコンサートの経験豊富な人材を指揮者に起用し、オーケストラを初めて聴く子どもたちにもわかりやすく興味を持ってもらえるような説明を交えて、指揮者自らが司会進行いたします。

| | | | | |
|---------------------------------------|---|---|---------------------|---|
| | <p>②体感して</p> <p>☆体験型プログラムの充実</p> <p>普段クラシック音楽に触れる機会の少ない児童・生徒にも楽しんでもらえるよう、小学校向けには指揮者体験とボディ・パーカッション、中学校向けには指揮者体験とオーケストレーション（楽器の組み合わせ）を分かりやすくお伝えする分解演奏という体験型プログラムを充実させています。指揮者体験では、体験する児童・生徒以外の方にも、指揮する人によって個性の違いが演奏に現れるということを実感していただけることと思います。また、ボディ・パーカッションでは複数のリズムを組み合わせて全体でひとつのものを表現する醍醐味を、分解演奏では作曲家が各楽器に与えた役割を紐解き、様々な組み合わせの中から選択された音色が重なって響きあったときの、感動的なハーモニーを実感していただけることと思います。</p> <p>☆全員参加型のプログラムを用意</p> <p>全員が参加できる合唱プログラムを用意しています。普段の学校生活や授業の中で楽しく取り組んでいただき、充実した共演にできればと思います。なお、ご希望に応じて全員合唱以外にも、吹奏楽部や器楽合奏との共演等、様々な共演方法への変更も可能です。児童・生徒にとってオーケストラとの共演が一生の思い出となるよう、ご要望に応じたプログラムを実現いたします。</p> | | | |
| <p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p> | <p>☆指揮者体験</p> <p>代表の児童・生徒(3名)の方にオーケストラの指揮を体験していただきます。最初に指揮の基本動作について分かりやすく実演を交えて説明し、体験する児童・生徒以外の方にも、指揮者の役割や指揮者の動きによってオーケストラの演奏がどのように変化するかを、見て・聴いて体感していただきます。</p> <p>☆ボディ・パーカッション<小学校></p> <p>2チームに分かれ、手拍子や足踏みなど自分の身体を使って、それぞれ違うリズムを叩いていただきます。お互いのリズムが組み合わせるとどのような作品になるのか、また全員が一体となってリズムを奏でたときの迫力を体感していただきます。公演当日は打楽器奏者が先導し、最初にそれぞれのリズムを練習してから、全員で共演いたします。</p> <p>☆オーケストラと共演</p> <p>小学生にも広く歌われている杉本竜一作曲の「Believe」、村井邦彦作曲の「翼をください」、もしくは校歌の中から1曲選択していただき、オーケストラの伴奏に合わせて全校児童・生徒に歌っていただきます。また、ご要望に応じて、吹奏楽部との共演や普段授業等で取り上げられる器楽合奏曲をオーケストラとの共演用に特別にアレンジし、共演させていただくことも可能です。是非、お気軽にご相談ください。</p> | | | |
| <p>出演者</p> | <p>指揮：角田 鋼亮(つのだ こうすけ)、粟辻 聡(あわつじ そう)</p> <p>管弦楽：大阪フィルハーモニー交響楽団(3管12型) ※「No.2 別紙メンバー表」参照</p> | | | |
| <p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p> | <table border="1"> <tr> <td data-bbox="379 1977 911 2107"> <p>出演者：69名 スタッフ：8名 合計：77名</p> </td> <td data-bbox="911 1977 1066 2107"> <p>機材等 運搬方法</p> </td> <td data-bbox="1066 1977 1441 2107"> <p>積載量 4 t 車長 8.15 m 台数 1 台</p> </td> </tr> </table> | <p>出演者：69名 スタッフ：8名 合計：77名</p> | <p>機材等 運搬方法</p> | <p>積載量 4 t 車長 8.15 m 台数 1 台</p> |
| <p>出演者：69名 スタッフ：8名 合計：77名</p> | <p>機材等 運搬方法</p> | <p>積載量 4 t 車長 8.15 m 台数 1 台</p> | | |

【 公演団体名 大阪フィルハーモニー交響楽団 】

| | | |
|---------------------------------|---|------------------------------|
| 公演に当たっての 会 場 条 件 | 実施条件等確認書①をご確認ください。 | |
| 会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目安 | <p>・前日仕込み(有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>)</p> <p>・会場設営の所要時間(1.5 時間程度)</p> <p>・タイムスケジュール</p> <p style="padding-left: 40px;">9:30 搬入・設営</p> <p style="padding-left: 40px;">10:30 演奏者到着</p> <p style="padding-left: 40px;">11:30 リハーサル</p> <p style="padding-left: 40px;"> </p> <p style="padding-left: 40px;">12:30 終了</p> <p style="padding-left: 40px;">13:30 開演</p> <p style="padding-left: 40px;"> </p> <p style="padding-left: 40px;">15:00 終演</p> <p style="padding-left: 40px;">16:30 撤収完了</p> <p>※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。</p> | |
| 児 童 ・ 生 徒 の参加可能人数 | ワークショップ | 鑑賞エリアのスペースが確保できれば全校児童・生徒参加可能 |
| | 本公演 | 鑑賞エリアのスペースが確保できれば全校児童・生徒参加可能 |
| ワークショップ 実 施 形 態 及 び 内 容 | <p>下記の中からお選びいただけます。</p> <p>★課外授業&ミニコンサート 各学校を楽団員(2~3名)が訪れ、課外授業&ミニコンサートを行います(45分×2コマ)。実際に各楽器の演奏を聴いていただくほか、オーケストラを構成している楽器の種類についての説明、それぞれの楽器の構造や歴史、音が鳴る仕組み、音楽家としてのお仕事など、楽団員の口からわかりやすくお話いたします。 また、楽団員の指導で実際に楽器に触れていただき、音を出してみる体験コーナーを設けることも可能です。触っていただく楽器は大阪フィルでご用意いたします。</p> <p>★吹奏楽部のレッスン 2~3名の楽団員が訪問し、約2時間のレッスンを行います。共演曲に限らず、現在取り組んでいる作品のパートレッスンや合奏指導等、学校のご要望に応じて指導いたします。 * 吹奏楽部に限らずオーケストラ部や弦楽部の指導も可能です。</p> | |

| | |
|----------------------------|---|
| <p>ワークショップ 実施形態の意図</p> | <p>☆課外授業&ミニコンサート オーケストラで訪れる本公演に向けて、まずはオーケストラの知識や音楽への関心を持っていただけるように、楽団員自らがそれぞれの楽器の仕組みや歴史などを説明し、その音色や個性等を楽しんでいただける課外授業&ミニコンサートを実施いたします。なお、小学校では、低学年と高学年で知識・体力の差が大きく、大人数だと児童との密接な交流が難しいことから、小学校の授業時間(=45分)を1コマとし、低学年と高学年等で2コマに分けてワークショップを行うことも可能です(コマ数については、生徒数に配慮しつつ、各学校のご要望に沿って調整させていただきます)。</p> <p>☆吹奏楽部のレッスン 日本には、吹奏楽をはじめ音楽活動に熱心に取り組む学生がたくさんいます。楽器の練習に励む学生にとって、プロの演奏家と触れ合える機会は大きな刺激です。プロならではの視点で、現在取り組んでいる曲や普段の練習への取り組み方など、今後の活動に役立つメニューを中心に指導いたします。</p> |
| <p>特別支援学校での実施における工夫点</p> | <p>各支援学校の状況に応じ、共演方法や公演所要時間など、場合によっては演目の一部差し替えなども含め、柔軟に対応させていただきます。</p> |
| <p>実施可能時期</p> | <p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p> |

大阪フィルハーモニー交響楽団 メンバーリスト

(平成30年11月30日現在)

首席コンサートマスター

田野倉 雅秋

首席客演コンサートマスター

崔 文洙

コンサートマスター

須山 暢大

第一ヴァイオリン

石塚 海斗
神崎 悠実
黒瀬 奈々子
三瀬 麻起子
鈴木 玲子
林 佳南子
藤木 愛
山本 彰
力武 千幸

ヴィオラ

井野邊 大輔
岩井 英樹
上野 博孝
川元 靖子
木下 雄介
佐藤 まり子
周 平
松本 浩子
米田 舞

フルート

井上 登紀
田中 玲奈
野津 臣貴博

ホルン

蒲生 絢子
高橋 将純
藤原 雄一
和久田 侑希

オーボエ

浅川 和宏
大島 弥州夫
大森 悠
水村 一陽

トランペット

秋月 孝之
篠崎 孝
高見 信行
松原 健二

第二ヴァイオリン

浅井 ゆきこ
市野 桂子
久貝 ひかり
小林 亜希子
高木 美恵子
田中 美奈
中西 朋子
宮田 英恵
横山 恵理

チェロ

石田 聖子
近藤 浩志
庄司 拓
田中 賢治
花崎 薫
林口 眞也
松隈 千代恵
諸岡 拓見

クラリネット

金井 信之
田本 摂理
船隈 慶

トロンボーン

ロイド・タカモト
福田 えりみ
吉田 勝博

ファゴット

久住 雅人
熊谷 将弘
小林 佑太朗
日比野 希美

テューバ

川浪 浩一

コントラバス

秋田 容子
池内 修二
サイモン・ボレジャエフ
松村 洋介
三好 哲郎
山田 俊介

打楽器

井口 雅子
中村 拓美
堀内 吉昌

ハープ

平野 花子

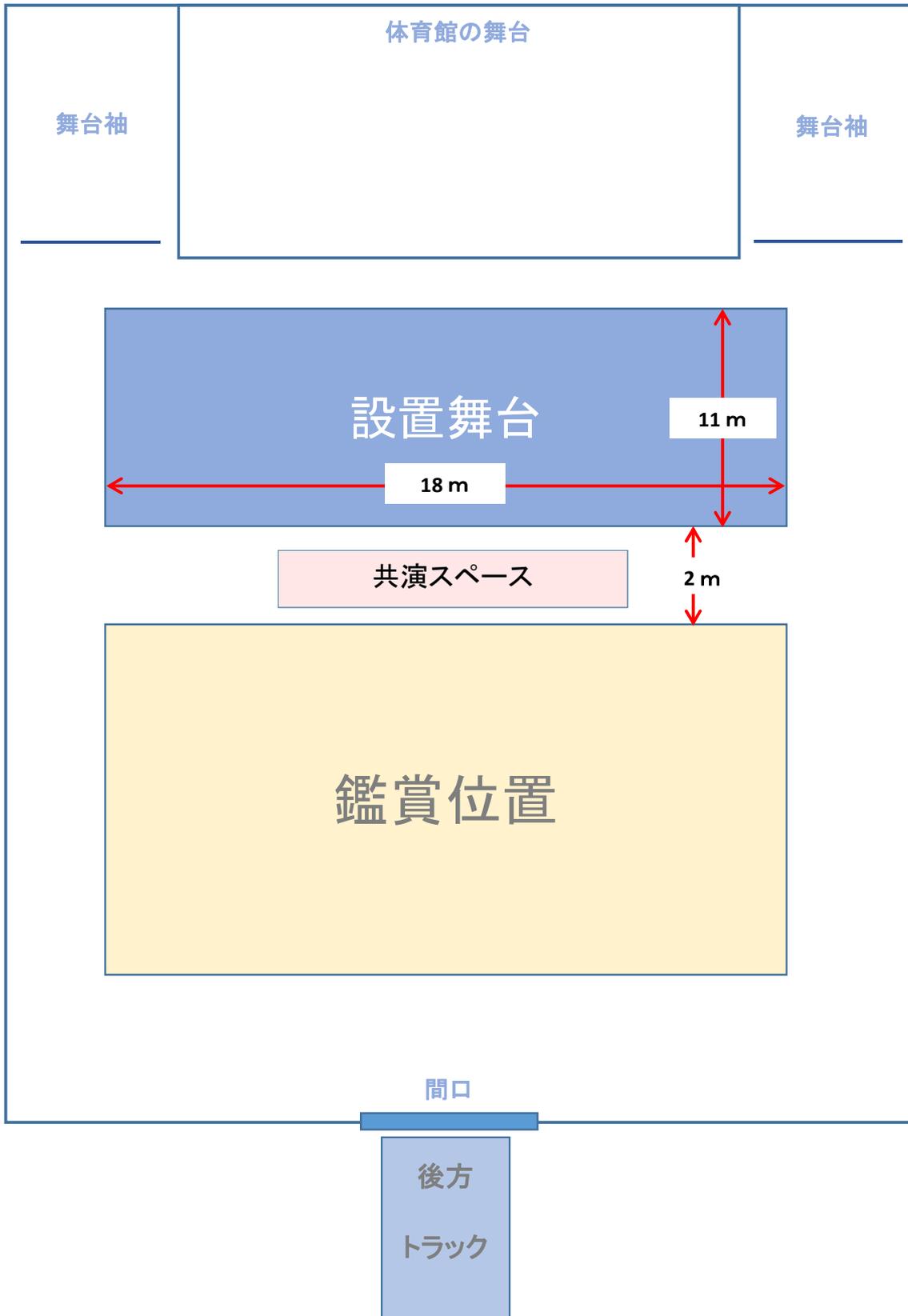
【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

| | | | | | | | | | |
|-------|----------------|----|----|----|---------|---------------------|---|----|-----|
| ID | H89 | 分野 | 音楽 | 種目 | オーケストラ等 | ブロック | H | 区分 | A区分 |
| 公演団体名 | 大阪フィルハーモニー交響楽団 | | | | 制作団体名 | 公益社団法人 大阪フィルハーモニー協会 | | | |

① 会場条件等についての確認

| 項目 | 応相談 | 必要条件等 | | | | | | | | |
|---------|--|---------------------------|-----------------|-----|--|----------------|-----------------------|----|--|--|
| 控室について | 可 | 必要数 * | 4室 | 条件 | 指揮者(1名)、コンサートマスター(1名)、楽団員男性(約35名)、楽団員女性(約35名)が必要です。食事および着替えを行いますので、それが可能な部屋を希望します。 | | | | | |
| 搬入について | 不可 | 来校する車両の大きさと台数 * | | | 4tトラック | 1台 | 大型バス | 2台 | | |
| | 不可 | 来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ | | | 4tトラック(幅2.5m×高さ3.5m×長さ8.5m) | | | | | |
| | 可 | 搬入車両の横づけの要否 * | | | 要 | | | | | |
| | — | 横づけができない場合の搬入可能距離 * | | | 問わない | | | | | |
| | 可 | 搬入経路の最低条件 | | | ・屋根のある経路が望ましい。 | | | | | |
| | 理由 | | | | コントラバスや打楽器等の大型楽器を搬入するため | | | | | |
| | — | 設置階の制限 * | | | 問わない | | | | | |
| 可 | 搬入間口について 単位:メートル | 幅 | 1.8m | 高さ | 2.1m | | | | | |
| WSIについて | — | 参加可能人数 | | | 問わない(スペースが許す限り可能です) | | | | | |
| | — | 学年の指定の有無 * | | | なし | 指定学年 * | なし | | | |
| | 可 | 所要時間の目安 単位:分 | | | 小学校:45分程度×2コマ (低学年と高学年に分けてのWSが望ましい) 中学校:60~70分程度×1コマ | | | | | |
| 本公演について | 理由 | 会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間 | | | ※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。 | | | | | |
| | — | 鑑賞可能人数 | | | 問わない(スペースが許す限り可能です) | | | | | |
| | 不可 | 舞台設置場所 * | | | フロア | | | | | |
| | 可 | 舞台設置に必要な広さ 単位:メートル | 幅 | 18m | 奥行 | 13m | 高さ | — | | |
| | — | 体育館の舞台を使用する場合の条件 | 舞台袖スペースの確保 * | | | 不要 | | | | |
| | — | | 舞台袖スペースの条件 * | | | — | | | | |
| | — | | 緞帳 * | 不要 | | バトン * | 不要 | | | |
| | — | 遮光(暗幕等)の要否 * | | | 不要 | 理由 | — | | | |
| | — | ピアノの調律・移動の要否 | 指定位置へのピアノの移動 * | | | 不要 | ※指定位置は会場設置図面に御確認ください。 | | | |
| | — | | ピアノの事前調律 * | | | 不要 | | | | |
| | 可 | フロアを使用する場合の条件 | バスケットゴールの設置状況 * | | | ステージ前方にある場合は不可 | | | | |
| | — | 公演に必要な電源容量 | | | 不要 | ※主幹電源の必要容量 | | | | |
| | その他特記事項 | | | | | | | | | |
| | | ・椅子80脚、ワイヤレスマイクを貸し出し願います。 | | | | | | | | |
| | ・学校内が土足不可の場合、スリッパを80足借用させていただきたく存じます。 | | | | | | | | | |
| | ・本番時に本番用の靴(土足とは別の靴です)を着用して演奏させていただきたく、ご許可願います | | | | | | | | | |
| | ・4tトラック通行の為、門扉の幅や、学校周辺道路の幅・高さ制限・大型車規制等の問題がないかをご確認願います。 | | | | | | | | | |

会場図面(表記単位:メートル)



| | | | | |
|-------------------|---|------|----|------|
| 搬入間口について | 幅 | 1.8m | 高さ | 2.1m |
| 搬入車両の横づけの要否 | | 要 | | |
| 横づけができない場合の搬入可能距離 | | 問わない | | |

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

大阪フィルハーモニー交響楽団

「文化芸術による子供の育成事業」

本公演の数カ月前に行う『ワークショップ』では、大阪フィルの楽団員数名が学校を訪問します。それぞれの楽器のお話や楽器の個性を生かしたソロ演奏を聴いていただきながら、本公演に向けて関心を高め、音楽を聴く楽しさを体感していただきます。

本公演では、70名を超えるフルオーケストラ・大阪フィルハーモニー交響楽団が各校を訪問し、演奏会を行います。ワークショップで聴いた楽器個々の魅力、その楽器が混じりあうことにより、新たな世界が生まれるオーケストラの魅力を全身で体感していただきます。

♪ワークショップの様子



☆それぞれの楽器について詳しく説明！実際に演奏を聴いていただいて本公演への期待を高めます。

♪コンサートの様子



☆目の前で聴くフルオーケストラの演奏は迫力満点！指揮者体験や合唱共演なども予定しています。

～出演者紹介～



指揮 角田鋼亮 (つのだ こうすけ)

東京芸術大学大学院指揮科ならびにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2006年第3回ドイツ全音楽大学・指揮コンクールで最高位を獲得。2010年第3回マーラー指揮コンクールファイナリスト。2016年4月、大阪フィル指揮者に就任。いま日本で最も期待されている若手指揮者。



指揮 粟辻 聡 (あわつじ そう)

京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻ならびにオーストリア国立グラーツ芸術大学大学院オーケストラ指揮科、スイス国立チューリッヒ芸術大学大学院指揮科を首席で卒業。2015年第6回プロ・フォン・マタチッチ国際指揮者コンクール第2位。日本をはじめ世界でも活躍しているいま期待若手指揮者。



大阪フィルハーモニー交響楽団

1947年創立の関西で最も長い歴史を持つオーケストラ。朝比奈隆、大植英次が音楽監督、井上道義が首席指揮者を歴任し、現在は尾高忠明が音楽監督を務める。創立者・朝比奈隆との55年にわたる活動で磨き上げた、重厚で迫力ある演奏が特徴。本拠地である大阪・フェスティバルホールでの定期演奏会をはじめ、全国各地で演奏を展開している。2017年4月、創立70周年を迎えた。

～公演内容～

〈 Enjoy ! オーケストラ 〉

♪は体験型プログラム。

1. ヴェルディ／歌劇「運命の力」序曲
2. 【弦楽器紹介】 ヴァイオリン、チェロ等、一つずつの音を聴いてもらいながら紹介
3. モーツァルト／「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より 第1楽章
4. 【管打楽器紹介】 フルート、ホルン、ティンパニ等、一つずつの音を聴いてもらいながら紹介
5. ♪【指揮者体験コーナー】 ブ람ス／ハンガリー舞曲 第5番より
6. [次のプログラムは小学校、中学校で異なります]

〈小学校〉 ♪【ボディ・パーカッション共演】

〈中学校〉 ♪【オーケストラ分解演奏】

チャイコフスキー／バレエ組曲「白鳥の湖」より “情景”

7. 大栗 裕／大阪俗謡による幻想曲 より
8. ♪【全員合唱】 Believe or 翼をください or 校歌 など

※学校のご要望に合わせて、吹奏楽部や器楽合奏との共演等、変更も可能です。

9. チャイコフスキー／交響曲 第4番 へ長調 作品36より 第4楽章

[アンコール曲]

J.シュトラウスⅡ世／ポルカ「雷鳴と稲妻」作品324

VI 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目 (いずれかに○をつけて下さい。)

| | |
|--------|---|
| 【音 楽】 | 合唱, オーケストラ等, 音楽劇 |
| 【演 劇】 | <input checked="" type="checkbox"/> 児童劇, 演劇, ミュージカル |
| 【舞 踊】 | バレエ, 現代舞踊 |
| 【伝統芸能】 | 歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸 |

申請する区分に, ○を付してください。

 A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

 あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

| | | | |
|-----------------------|---|---|--------------|
| ふりがな | きぎょうくみあいげきだんかぜのこきゅうしゅう | | |
| 制作団体名 | 企業組合劇団風の子九州 | | |
| 代表者職・氏名 | 代表理事 仮屋 祐一 | | |
| 制作団体所在地 (最寄り駅・バス停) | 〒814-0002 福岡県福岡市早良区西新5丁目5-13 (最寄り駅……福岡市営地下鉄空港線 西新駅) | | |
| 電話番号 | 092-841-7889 | F A X 番号 | 092-841-7896 |
| ふりがな | げきだんかぜのこきゅうしゅう | | |
| 公演団体名 | 劇団風の子九州 | | |
| 代表者職・氏名 | 代表 仮屋 祐一 | | |
| 公演団体所在地 (最寄り駅・バス停) | 〒814-0002 福岡県福岡市早良区西新5丁目5-13 (最寄り駅……福岡市営地下鉄空港線 西新駅) | | |
| 制作団体 設立年月 | 1985年 4月 | | |
| 制作団体 組織 | 役 職 員 | 団体構成員及び加入条件等 | |
| | 代表理事 仮屋祐一 理事 浅野由美子 理事 川島二郎 理事 中寫 司 監事 矢野ひとみ | 【創造部……15名】 浅野由美子、川島二郎、中寫 司、小池勇治、玉木聡美、 岩永宏子、井上真利、小山 隼、中山由美、山口咲希、高山洋輝、 浦 美佳、寺崎花絵、竹下裕真、稲永清音 【企画経営部……6名】 仮屋祐一、鈴木恵美、矢野ひとみ、上村 洋、田川智士、村垣洋子 加入条件等……18歳以上の健康な人(面接・オーディションあり) | |
| 事務体制の担当 | <input checked="" type="checkbox"/> 専任 ・ 他の業務と兼任 | 本事業担当者名 | 仮屋 祐一 |
| 経理処理等の 監査担当の有無 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 | 経理責任者名 | 鈴木恵美 |

| | | | |
|---------------------------|--|-------------------|-----|
| 制作団体沿革 | <p>企業組合劇団風の子九州は、1985 年東京の劇団風の子から運営独立し「劇団風の子九州班」として福岡市に創立され、その後 1993 年に法人独立し現在に至る。 児童・青少年演劇の制作と上演・普及活動を行っている。</p> | | |
| 学校等における公演実績 | <p>【2017 年度公演実績】 小学校公演：6作品181日 238ステージ 幼稚園・保育園公演：7作品109日 121ステージ 子ども劇場公演：9作品116日 134ステージ その他(行政、学童保育、児童館、自主公演等)：9作品79日 86ステージ 計 579ステージ</p> | | |
| 特別支援学校における公演実績 | <p>【福岡県】福岡中央特別支援学校、南福岡特別支援学校、北九州高等学園、嘉穂特別支援学校、 【長崎県】鶴南特別支援学校、大村特別支援学校 【宮崎県】みなみのかぜ支援学校、赤江まつばら支援学校、清武せいりゅう特別支援学校、くろしお支援学校【長崎県】川棚特別支援学校、希望ヶ丘高校特別支援学校、諫早東特別支援学校 【沖縄県】島尻特別支援学校、宮古特別支援学校 ほか公演実績多数 【福島県】大笹生支援学校</p> <p>ほか公演実績多数</p> | | |
| 参考資料の有無 | A | 申請する演目のチラシパンフレット等 | 有・無 |
| 申請する演目の DVD または WEB 公開資料 | | 有・無 | |
| ※公開資料有の場合 URL | | DVDを提出します。 | |
| ※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード | | ID: PW: | |
| A の提出が困難な場合 | 今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料 | 有・無 | |
| | ※公開資料有の場合 URL | | |
| | ※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード | ID: PW: | |

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 劇団風の子九州】

| | | | |
|---------|---|----------------------|--------------------------------|
| 対象 | 小学生(<u>低学年</u> ・ <u>中学年</u> ・ <u>高学年</u>) ・ 中学生 | | |
| 企画名 | 空想力は生きる力! | | |
| 本公演演目 | このゆびと〜まれ! | | |
| 原作 / 作曲 | 作・演出 / あさのゆみこ | | 音楽・効果 / 曲尾友克 |
| 脚本 | 美術 / 山本佐助、小峯三奈 | | |
| 演出 / 振付 | 公演時間(75 分) | | |
| 著作権 | - 制作団体が所有 | ○ 制作団体以外が所有する事項が含まれる | 有 (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無 |
| 演目概要 | <p>劇団風の子九州の作品制作は、企画の段階では原作物の案も出てはくるのですが、今を生きる等身大の子供が主人公として活躍する作品のほうが、劇団の制作姿勢が伝えられると最終的にはオリジナル作品に落ち着きます。今作も劇団員全員で子供を取り巻く状況を出し合い、背景を探り、登場人物を出し合いました。その後、脚本家を中心とした台本プロジェクトに託し、現場の先生方や今作の主人公と同じ小4の子供たちへインタビューをして出来上がった台本です。</p> <p>また公演現場では、オリジナル作品ということで子供たちや先生方が作品展開を読めず最後までストーリーに集中していて、わたしたちのモットーとするワクワドキドキの世界を共感してもらっています。</p> <p>舞台転換も見ものです。中央に直径5m(60cm高)の廻り舞台を設置し、三面の舞台が場面毎にクルクル回転します。また大海原の場面では廻り舞台が三つに分割され、それぞれ独立して動き出し、あっという間に大海原に浮かぶ大海賊船が登場します。目の前のスペクタクルな光景に子供たちは圧倒され、どよめきの声を発します。</p> <p>(あらすじ)</p> <p>ヒロは小学4年生。空想遊び(ごっこあそび)の天才、いつも色々な人物になりきっています。そのためクラスではちょっと浮いた存在。父親は長期入院中で母親は入院費を稼ぐために残業も多く、ヒロは近所の駄菓子屋のばあちゃん(スエコ)や大工のじいちゃん(銀蔵)に面倒をみてもらっています。ヒロの日課はスエコの飼犬の鉄の散歩に出かけること。その散歩はヒロの大好きな空想の時間。あるときは洞窟探検のヒロ隊長、またあるときは大海賊キャプテンヒロに大変身。</p> <p>ある日、クラスで起きた事件をきっかけに、ヒロはクラスで一番頭のいいマモルを空想の世界へ誘います。喜ぶヒロですがマモルは戸惑います。さあこの二人、空想の世界でどうなっちゃうの!?</p> <p>子供たちの本来持っている空想する力にエールを送る作品です。</p> <p>*平成27年度文化庁・文化芸術振興費補助金(トップレベルの舞台芸術創造事業)助成作品 *平成30年度文化芸術による子供の育成事業-巡回公演-採択作品 *社会保障審議会推薦児童福祉文化財(舞台芸術)</p> | | |

| | |
|---------------------------|---|
| <p>演目選択理由</p> | <p>子供たちは、空想の世界を遊ぶことや、冒険が大好きです。かつて、子供たちは、暗くなるまで野山をかけめぐり、飽きるまで友達と遊んだものです。かたわらには子供たちを、優しく見守り、声をかけてくれた大人たちもたくさんいました。しかし、現代社会の急激な変化は、様々な形で子供たちの育ちに大きな影響を及ぼしています。子供時代の空想力は将来の専門的な教育を受けるときの強力な推進力になります。しかし今の時代、それを醸成するはずの三間(時間、空間、仲間)はますます奪われ、また大人たちも忙しく、他人の事に無関心にならざるを得ない状況になっているのではないのでしょうか。</p> <p>今作の主人公の一人「マモル」には、裕福な家庭ではありながら、大なり小なり色々なプレッシャーを受け、子供の本来持つ感性を萎縮させざるえない現代の子供像を投影しています。一方「ヒロ」は決して裕福な家庭環境ではないが、地域の住人に支えられ子供の感性を謳歌している空想の天才。</p> <p>この二人の交流を軸に、劇中劇のような『空想の世界』を随所に織り交ぜ、現代社会が失いつつある家族愛や、人情、友情を描きました。ある先生からは「公立小学校には複雑な家庭環境の子どもたちも通い、地域性も様々だが、この作品は、笑いの壺が随所に散りばめられていて、クラスの子供たちが分け隔てなく笑いながら、最後は主人公たちに共感している。」という声をいただきました。子供たちにとってとても心に残る作品ですので、舞台芸術の登竜門として芸術鑑賞能力の向上につながる演目になると自負しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 子供たちに、目の前で繰り広げられるスペクタクルな舞台にワクワクしてもらい、想像力・発想力を高めてもらいたいと考えます。また、主人公たちと一緒に空想の世界をおもいっきり遊び、明日への希望に胸を膨らませられる演目なので、教室や自宅に帰ってから、クラスの友達や先生・保護者らと芝居の話で盛り上がり、コミュニケーション能力の育成に役立ちます。 ◎ 一緒に観劇してもらおう大人たち(先生、保護者等)には、子供時代を思い起こしていただき、現代の厳しい状況に追い込まれている子供たちの状況を認識し、共感してもらい、もっと寄り添っていただきたいとの思いを込めています。 ◎ 戦後 72 年を経た今、こどもたちに平和の尊さを伝えるべく、劇中に戦時中の子供たちの生活のエピソードを描いています。日頃の食料が乏しかった時代を想像してもらうことにより、飽食の時代を生きる子どもたちに食べ物を粗末にしてほしくないという思いを伝えたいと考えます。 ◎ 29 年度のフィードバックシートを拝見しましたが、児童、先生、保護者の皆さんにとっても喜んでもらっている感想がつつばられていて、これからも舞台芸術に興味を持っていただけるよう、引き続き多くの子供たちに届けたい演目です。 |
| <p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p> | <ul style="list-style-type: none"> ① オープニング ヒロの空想の世界。映画「インディージョーンズ」風に洞窟の中で敵に追われているヒロと鉄(人間)。洞窟にいるコウモリをコロスと共に演じてもらいます。先端にコウモリの付いた針金を持ち演じます。せりふはないが、緊張感の必要な場面。でも「だるまんがころんだ」のような緊張と緩和のあそび感満載の表現です。ただしお客さんに「この場面をちゃんと伝える。」ということ意識して演じるという事も指導します。コウモリは手作りでも良いし、劇団でも用意できます。参加者上限6名。 ② エンディング 子どもたちと出演者でテーマソング「このゆびと～まれ！」の歌をうたいながら踊ってもらいます。ドラマ観劇後の昂揚感にふさわしい楽しく元気な歌と踊りです。可能であれば、各自海賊の衣装や帽子を製作し着けてもらいます。参加者上限 40 名 |

| | | | |
|----------------------|---|---------------|---|
| 出 演 者 | 山本佐助、井上真利、玉木聡美、おやまじゅん、山口咲希、寺崎花絵、竹下裕真 | | |
| 公演出演予定者数 (1公演あたり) | 出 演 者: 7 名 <u>ス タ ッ プ: 1 名</u> 合 計: 8 名 | 機 材 等 運搬方法 | ・マイクロバス 車長 7m ・ワゴン車 車長 5m 台 数 2 台 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|---|-------------|-----|-------------|-------|----|-----|-----|-----|----|----|------|------------|-------------|----|-------------|-------|
| 公演に当たっての会場条件 | 実施条件等確認書①をご確認ください。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安 | <p>前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間(3 時間程度)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 16.6%;">到着</td> <td style="width: 16.6%;">仕込み</td> <td style="width: 16.6%;">本公演</td> <td style="width: 16.6%;">内休憩</td> <td style="width: 16.6%;">撤去</td> <td style="width: 16.6%;">退出</td> </tr> <tr> <td>8:30</td> <td>8:30～11:00</td> <td>13:30～14:45</td> <td>なし</td> <td>15:30～17:00</td> <td>17:00</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↑</p> <p style="text-align: center;">*4時限目に出演する子どもたちとのリハーサルが入ります。</p> <p style="text-align: center;">*午前公演の場合、前日3時間程度の仕込、2時限目リハーサル、3,4時限日本番、15:00 搬出完了</p> <p style="text-align: center;">※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。</p> | | | | | 到着 | 仕込み | 本公演 | 内休憩 | 撤去 | 退出 | 8:30 | 8:30～11:00 | 13:30～14:45 | なし | 15:30～17:00 | 17:00 |
| 到着 | 仕込み | 本公演 | 内休憩 | 撤去 | 退出 | | | | | | | | | | | | |
| 8:30 | 8:30～11:00 | 13:30～14:45 | なし | 15:30～17:00 | 17:00 | | | | | | | | | | | | |
| 児童・生徒の参加可能人数 | ワークショップ | 40名 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 本公演 | 500名 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ワークショップ実施形態及び内容 | <p>① 劇団側の自己紹介をします。</p> <p>② 子供たちの緊張感をほぐすために、アイスブレイク的なゲームをします。</p> <p>③ おおまかなストーリーを紙芝居形式で伝えます。</p> <p>④ オープニングチームとエンディングチームに分かれます。</p> <p style="margin-left: 20px;">☆ オープニングチーム、こうもりの登場シーンは舞台空間の実寸に合わせて練習します。効果音に合わせて主人公にゆっくり近づくシーン、あわてて逃げるシーン、からかうシーンなどを練習します。</p> <p style="margin-left: 20px;">☆ エンディングの歌は、事前に郵送する楽譜やCDで音楽の時間や給食時の校内放送などで覚えてもらい、当日は踊りを中心に練習します。</p> <p>⑤ こうもりや海賊の帽子の作り方のヒントを指導します。</p> <p>⑥ 最後に、お互いの練習の成果を見合います。本番に向けて良きライバルとしてスイッチが入るようです。</p> <p style="margin-top: 10px;">*短い時間なので、出演する子供達が本番で表現する事を楽しみに迎えることが出来るようなワークショップを心がけます。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ワークショップ実施形態の意図 | <p>子供たちは思春期の入り口にさしかかる頃、自我の目覚めと共に他者からの目を意識し始めます。そのことにより人前に立つ、または人前でしゃべる、ましてや人前で演じるということに相当なプレッシャーを感じる子供もいます。そこで、演劇とは「ごっこ遊び」や「まねっこあそび」の延長であり、今回の舞台表現は「遊びとして楽しんで演じてほしい。」と伝えるためのワークを心がけます。</p> <p style="margin-top: 10px;">こうもりチームは上手(かみて)チーム、下手(しもて)チームに分かれ、リーダーの俳優を</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|------------------------------------|--|
| | <p>中心に演技を創っていきます。息のあった表現を追及してもらい、協調性を高めてもらいたいと考えます。</p> <p>ダンスチームは歌詞に沿って覚え易い、当て振りの振付を練習し、みんなで思いきり表現する楽しみを体験してもらいます。</p> <p>発表の時間は他のグループの表現をお互い見合い、自分たちの表現の振り返りをしてもらい、「観客に伝える表現」というものを再度意識してもらいます。このことにより友達の違った一面を感じ、自分の新たな可能性を発見してもらい、自他共に認め合う事でコミュニケーション能力の育成を図りたいと考えます。</p> <p>*29年度のフィードバックシートのある学校の意見に「3クラスの内、1クラスしか参加できなかったのも他の2クラスの児童のクラスの気持ちはどうだっただろう。」とおもんばかったの記述があったので、希望があれば担当先生方とよく相談して、ワークは全学年、出演は1クラスでの方向に改善したいと考えます。</p> |
| <p>特別支援学校での実施における工夫点</p> | <p>二回の体験場面は原則として実施できるように工夫しますが、各校、各子供たちにより被支援の状況が異なるので先生方と綿密な打ち合わせを行い、表現方法の可能性を探っていきます。例としては、全員で鳴り物を持ってリズムをとりながら歌い、先生方が車椅子に一人ずつ付いての車椅子ダンスを披露したこともあります。</p> |
| <p>実施可能時期 ◇はB区分申請 団体のみ</p> | <p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p> |

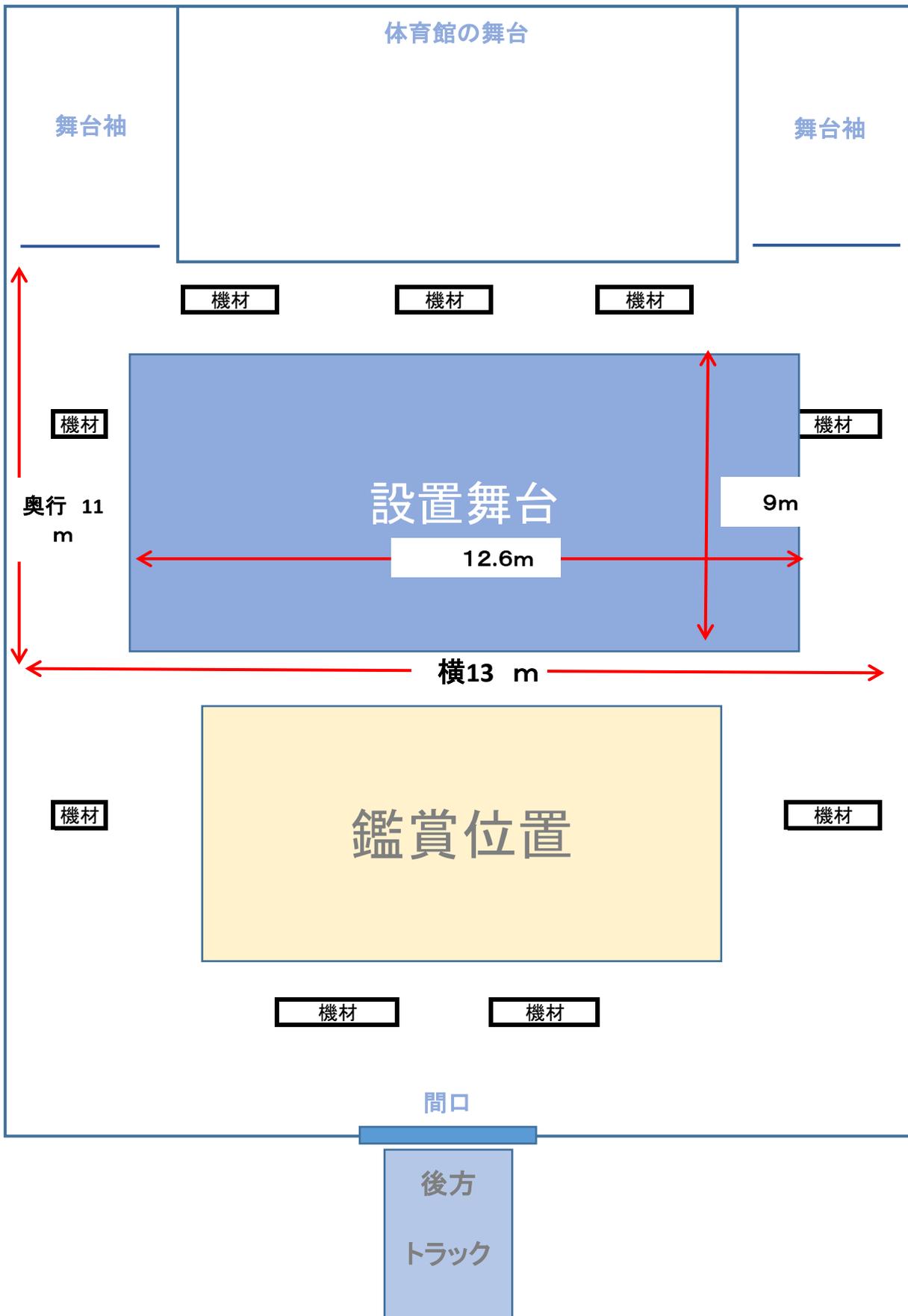
【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

| | | | | | | | | | |
|-------|---------|----|----|----|-------|-------------|---|----|-----|
| ID | H90 | 分野 | 演劇 | 種目 | 児童劇 | ブロック | H | 区分 | A区分 |
| 公演団体名 | 劇団風の子九州 | | | | 制作団体名 | 企業組合劇団風の子九州 | | | |

① 会場条件等についての確認

| 項目 | 応相談 | 必要条件等 | | | | | | | | |
|---------|---------|------------------------|----|-----------------|--|----------------------|-------------------------------|-----------------------------|----|--|
| 控室について | 可 | 必要数 * | 不要 | 条件 | 体育館ステージが控室として使用できない場合は1室必要です。 | | | | | |
| 搬入について | 不可 | 来校する車両の大きさと台数 * | | | マイクロバス 1台 | ワゴン車 1台 | | | | |
| | 不可 | 来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ | | | マイクロバス(長さ6.99、幅2.08、高さ2.63)m、バン(ワゴン車)(長さ5.38幅1.88、高さ2.28)m | | | | | |
| | 可 | 搬入車両の横づけの要否 * | | | 要 | | | | | |
| | 可 | 横づけができない場合の搬入可能距離 * | | | 問わない | | | | | |
| | 可 | 搬入経路の最低条件 | | | ・雨の場合、道具が濡れない経路が望ましい。 | | | | | |
| | | 理由 | | | 音響器材、照明機材、大道具等がある為。 | | | | | |
| | 可 | 設置階の制限 * | | | 問わないが、1階が望ましい。 | | | | | |
| | 不可 | 搬入間口について 単位:メートル | | 幅 | 1.8m | 高さ | 1.8m | | | |
| WSについて | 可 | 参加可能人数 | | | 40名程度まで | | | | | |
| | 可 | 学年の指定の有無 * | | | あり | 指定学年 * | 小学校4年生 | | | |
| | 可 | 所要時間の目安 単位:分 | | | 85分程度(途中休憩あり) | | | | | |
| 本公演について | | 会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間 | | | ※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安をご参照ください。 | | | | | |
| | 可 | 鑑賞可能人数 | | | 500名程度まで(上回る場合要相談) | | | | | |
| | 不可 | 舞台設置場所 * | | | フロアに設置 | | | | | |
| | 不可 | 舞台設置に必要な広さ 単位:メートル | | 幅 | 13m | 奥行 | 11m | 高さ | 5m | |
| | — | 体育館の舞台を使用する場合の条件 | | | 舞台袖スペースの確保 * | | | 舞台は控室として使用。使用不可の場合、控室1部屋必要。 | | |
| | — | | | | 舞台袖スペースの条件 * | | | 無 | | |
| | — | | | | 緞帳 * | 下がらない場合、控室として1部屋必要です | | バトン * | 不要 | |
| | 可 | 遮光(暗幕等)の要否 * | | | 要 | 理由 | 完全遮光でなくても公演可能。一部分でも構いません。要相談。 | | | |
| | — | ピアノの調律・移動の要否 | | 指定位置へのピアノの移動 * | | 不要 | ※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。 | | | |
| | — | | | ピアノの事前調律 * | | 不要 | | | | |
| | 可 | フロアを使用する場合の条件 | | バスケットゴールの設置状況 * | | 問わない | | | | |
| | 可 | 公演に必要な電源容量 | | | 60A | | ※主幹電源の必要容量 | | | |
| | その他特記事項 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |

会場図面(表記単位:メートル)



| | | | | |
|-------------------|------|------|----|------|
| 搬入間口について | 幅 | 1.8m | 高さ | 1.8m |
| 搬入車両の横づけの要否 | 要 | | | |
| 横づけができない場合の搬入可能距離 | 問わない | | | |

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

劇団に届いた子どもたち・先生からの感想

子どもたち

- ・ヒロのあそんでいるところがたのしそうでした。わたしもヒロとあそびたいとおもいました。わたしもくそうだまがほしいとおもいました。(1年 女子)
- ・こんなおもしろかったとはおもいませんでした。ついものになってしまっていて体そうずわりがくずれておかあさんずわりになってしまっていて先生に注意されました。(2年 男子)
- ・ぼくは、すごく鉄がかわいかったと思います。ぼくはあの場面がかわるのが好きです。そうそうのせいかはすごくおもしろかったです。まさかあのくそう玉がどろだんごだなんてしりませんでした。(3年 男子)
- ・おもしろかった場面は、いくつかあります。それは、みなさんが何かを言ったり、空想玉をとりにいったり、ひろの家でこけたりする場面がおもしろかったです。戦争の話に変わったとき、「戦争はげったいたくないな、食べ物はそまつにしたらいけないな」と思いました。(5年 女子)
- ・修学旅行準備中で少しつかれているけれどそのつかれがふきとぶくらしいの楽しい思い出となりました。一度入ったらもう抜けられないような劇の世界観がすごくおもしろくて、笑いすぎて、前の席にすわっていた5年生に「もう少し静かにして」と注意を受けたくらい腹をかかえて笑いました。(6年 男子)
- ・私が一番おもしろいな~と思ったのは、ヒロの性格です。たくさん笑っていたり、自分の世界にどんどん入っていったりするの、すごくおもしろかったです。犬の鉄も、リアルでかわいかったです。ステージがどくどくと、次から次へと本のページをめくるように変わっていくのが見ていてびっくりしました。(6年 女子)

先生

- ・事前にリーフレットやDVDは、いただいておりますが、やはり「百聞は一見にしかず」で、作品の魅力は、ストーリー、演じる方のパワー、舞台の設定、場面移動へのどれもこれも全校児童と職員を惹きつけるものでした。終了後、子どもたちから「めちゃくちゃ楽しかった」と声をかけられました。
- ・子どもの心理をつかまれ、楽しく面白く想像力豊かな物語でした。特に、海賊ごっこでまもるが変わっていく姿、その影響を与えるヒロのつながりがよかったし、お母さんがたをも変えていく強い心をもつようになったまもるに、未来を感じました。
- ・舞台装置の転換・笑いの要素・感動のシーン・心に訴える効果など、本当に魅力溢れる舞台でした。最高でした!

子どものいるところどこへでもとんでいく

劇団紹介

劇団風の子九州は、1985年劇団風の子より独立して誕生した、九州の福岡に本拠地を置く児童青少年演劇の専門職業劇団です。“子どものいるところ、どこへでもとんでいく”を合言葉に、九州・沖縄各地の街中や山間部の集落、点在する離島を駆け回ってきました。

90年からは国内だけでなく、韓国・中国・インドネシア・パキスタン・インド・オーストラリアなど、アジアを中心に海外公演にも出かけ、多くの人たちとの交流を深めてきています。

2002年からは、韓国の劇団サダリとの合同公演『マンナム』を創り上演してきました。アジテジ（国際児童青少年演劇協会）の国際フェスティバルinソウルでは日本代表としても参加しました。

2015年には、劇団創立30周年を迎えることができました。これからも地域で、“子どもたちと共に未来を創る劇団”として、従来の演劇様式にこだわらず、遊びや日常生活の中から、新しい創造と表現の世界を追求し広げていきたいと思っています。

◆日本児童・青少年演劇劇団協同組合加盟 ◆全国児童・青少年演劇協議会加盟 ◆アジテジ（国際児童青少年演劇協会）加盟



〒814-0002 福岡市早良区西新5丁目5-13
TEL 092-841-7889 FAX 092-841-7896
http://www.kazenoko-kyushu.or.jp
E-mail: info@kazenoko-kyushu.or.jp

おかげさまで
2015年 4月
30周年を
むかえました!!



KazenokoBus®

助成：平成27年度文化庁文化芸術振興費補助金（トップレベルの舞台芸術創造事業）
文化庁 平成30年度 文化芸術による子供の育成事業—巡回公演事業—採択作品

劇団 風の子九州 創立30周年記念作品

このゆびと〜まれ!

作・演出 / あさのゆみこ
音楽・効果 / 曲尾友克
美術 / 山本佐助
小峯三奈
制作 / 飯屋祐一

絵 / よしながこうたく

このゆびと〜まれ!

～あらすじ～

ヒロは、小学校4年生。仕事で帰りの遅いお母さんに代わって、近所のばあちゃんやじいちゃんに面倒をみてもらっています。ヒロの日課は、ばあちゃんの飼っている犬の散歩に出かけること。その散歩はヒロの大切な時間でした。そう、ヒロの大好きな空想の時間。あるときは洞窟探検、またあるときはヒーローヒロに大変身!

ある日、クラスで一番頭のいいマモルの様子がおかしいと思ったヒロは、マモルを空想の世界に誘います。喜ぶヒロに戸惑うマモル。さあこの二人、空想の世界でどうなっちゃうの?



あれ? マモル どうしたのかな?



僕のくつは 汚れない...



何して遊ぶ?



スエ子の 駄菓子屋は いつもにぎやか ♪♪



子どもたちの遊びの中にわきおこる想像力 それはまさに生きる力!

いざ、無限島へ出発だ!
マモルの空想珠を取り戻せ!

あっ!あれは、
コンドルン!?

みんなと
遊んだこと
ないから
わかんない...

ナ、ナンダ...!
あの怪物は~!!



みつけた!ほくの空想珠!

上演にあたって

子どもたちは、空想の世界を遊ぶことや、冒険が大好きです! 時には空を飛んだり、悪者を倒すヒーローになったり、お姫様になったり、海を自由に航海したり...

子どもたちのイマジネーションは無限です。かつて私たち大人が子どもだった頃と同じように...

子どもたちは、現実と空想を行ったり来たりしながらゆっくりと成長していきます。友達と空想をめくらしながら遊び、より楽しく遊ぶためにルールを作りながら相手とのコミュニケーションを一生懸命計ろうとします。その事は、自分を知り、他人を理解する事にもつながり、人間形成の上でも大きな影響をもたらしていくのだと思います。しかし、現代の子どもたちにおいて、想像や空想をめぐる空間やその時間に浸る機会は、どれだけ保障されているのでしょうか?

このお芝居は、主人公ヒロの空想力が大活躍します。観ている子どもたちも主人公と一緒に空想の世界を思いっきり遊び、明日への希望に胸を膨らませてもらえたらと思います。

PVはこちらから!



■表紙の絵 よしなが こうたく

福岡在住の絵本作家。代表作に『給食番長』(好学社)、『ほくだってウルトラマン』(講談社)などがある。

作・演出 あさのゆみこ

VI 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目 (いずれかに○をつけて下さい。)

| | |
|--------|---------------------------|
| 【音 楽】 | 合唱, オーケストラ等, 音楽劇 |
| 【演 劇】 | 児童劇, 演劇 , ミュージカル |
| 【舞 踊】 | バレエ, 現代舞踊 |
| 【伝統芸能】 | 歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸 |

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ

A区分とB区分の両方

C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり

なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

| | | | |
|-----------------------|---|---|--------------|
| ふりがな | かぶしがいしゃげきだんはいしょう | | |
| 制作団体名 | 株式会社劇団俳小 | | |
| 代表者職・氏名 | 代表取締役 齋藤 真 | | |
| 制作団体所在地 (最寄り駅・バス停) | 〒170-0013 東京都豊島区東池袋 2-7-3 東都大塚コーポ B1(JR 山手線大塚駅 徒歩 8 分) | | |
| 電話番号 | 03-3987-1787 | F A X 番号 | 03-3987-5187 |
| ふりがな | げきだんはいしょう | | |
| 公演団体名 | 劇団俳小 | | |
| 代表者職・氏名 | 代表 齋藤 真 | | |
| 公演団体所在地 (最寄り駅・バス停) | 〒170-0013 東京都豊島区東池袋 2-7-3 東都大塚コーポ B1(JR 山手線大塚駅 徒歩 8 分) | | |
| 制作団体 設立年月 | 年月 | | |
| 制作団体 組織 | 役 職 員 | 団体構成員及び加入条件等 | |
| | 代表取締役 齋藤 真 専務取締役 勝山 了介 常務取締役 大川原 直太 監査役 成田 真利子 | (1) 団体構成員 個人 42 名(劇団員 23 名、研究生 19 名) (2) 主な構成員 俳優 齋藤真、勝山了介、大川原直太 (3) 加入条件 劇団俳小入団試験後、選定 | |
| 事務体制の担当 | 専任 ・ 他の業務と兼任 | 本事業担当者名 | 大川原 直太 |
| 経理処理等の 監査担当の有無 | 有 ・ 無 | 経理責任者名 | 成田 真利子 |

| | | | |
|---------------------------|--|--|--|
| 制作団体沿革 | <p>昭和46年、早野寿郎・小沢昭一等が中心となって活動していた劇団俳優小劇場が解散し、演出家・早野寿郎が主催者となり、昭和49年、劇団俳小を創立。ヨーロッパ・アメリカ演劇から、日本の古典、新作、あるいは詩や小説をそのまま舞台に載せる等、一定の演劇理念にとらわれない幅広い演劇活動を続けながら、舞台芸術の原点を探る演劇創造集団として再出発した。</p> <p>昭和51年「あの人は帰ってこなかった」で文化庁・芸術祭優秀賞。平成6年には、ジェームス三木作・演出による「上杉鷹山」が、地方行政(米沢市)との協力による公演形式で全国的話題となる。他、『橋からの眺め』、『五稜郭』、『どさ回りのハムレット』、『悲喜劇～自殺者』、『金閣炎上』などで、池袋演劇祭大賞をはじめとする各賞を受賞。自主公演、小中高を中心とした学校公演、アメリカ、ヨーロッパ、ロシアなどでの海外公演など、幅広く精力的に活動している。</p> | | |
| 学校等における公演実績 | <p>「わが町」(200 ステージ以上)、「カチカチ山」(500 ステージ以上)、「椎の木の暦」(650 ステージ以上)、「どさ回りのハムレット」(60 ステージ)、「ら抜き殺意」(60 ステージ)、「トキワ荘の夏」(110 ステージ以上)など劇団設立当初より、全国の小学、中学、高校を中心に学校公演を行い続けている。</p> | | |
| 特別支援学校における公演実績 | <p>とくにはありませんが、多くの学校公演(特に小学校)で特別支援学級の生徒さんにも観て頂いています。</p> | | |
| 参考資料の有無 | A | 申請する演目のチラシパンフレット等 | <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 |
| 申請する演目の DVD または WEB 公開資料 | | <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 | |
| ※公開資料有の場合 URL | | | |
| ※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード | | ID: PW: | |
| A の提出が困難な場合 | 今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料 | | 有 ・ 無 |
| | ※公開資料有の場合 URL | | |
| | ※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード | | ID: PW: |

公演・ワークショップの内容

【公演団体名

劇団俳小】

| | | | |
|-------------------------------|---|--|--|
| 対象 | 小学生(<u>低学年</u> ・ <u>中学年</u> ・ <u>高学年</u>) ・ <u>中学生</u> | | |
| 企画名 | トキワ荘の夏 | | |
| 本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付 | 「トキワ荘の夏」 作・演出/竹内一郎 作 曲/平岩佐和子 公演時間(100分、休憩有り) | | |
| 著作権 | 制作団体が所有 | <input type="radio"/> 制作団体以外が所有する事項が含まれる | <input type="radio"/> (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無 |
| 演目概要 | <p>日本発の文化で、今や世界中の若者に影響を与え続けているMANGA。フランスやブラジルの子どもたちは、日本の総理大臣の名前は知らなくても、『ドラゴンボール』や『美少女戦士セーラームーン』は知っています。第二次世界大戦直後に、手塚治虫という天才が出現し、その後も日本漫画界をけん引し、その発展に大きく寄与しています。手塚は、昭和30年前後、「トキワ荘」というアパートに住んでいました。そこに漫画家を夢見る若者が日本中から集まってきました。藤子・F・不二雄、藤子不二雄A、寺田ヒロオ、赤塚不二夫、水野英子、石ノ森章太郎……。漫画創世記の天才たちの、梁山泊のようなアパートになっていました。</p> <p>本作品は、「トキワ荘」を舞台に、漫画家、編集者、小説家など、新しい文化創造に挑む若者たちの群像劇です。人間ドラマを通じて、日本文化の中に、何故マンガという新しい文化が芽生え、発展していったかが、皮膚感でわかります。作・演出を担当したのは、竹内一郎。著書『手塚治虫＝ストーリーマンガの起源』で、サントリー学芸賞(文学・芸術)を受賞し、マンガ文化に造詣の深い演劇人です。本作品は、実話を下敷きにしたフィクションです。</p> | | |
| 演目選択理由 | <p>日本経済は近年沈滞気味です。日本全体が、元気を失っているともいえます。しかし、日本には世界に誇るべき魅力のある文化があります。日本のマンガは、世界中に影響を与えています。漫画を原作としたアニメは、日本が世界最大の生産国です。今やアキバは、世界中の若者の憧れの街であるといっても過言ではありません。</p> <p>日本が世界に誇れる文化を生み出したことを、書物ではなく、演劇というライブで感得できるのは、意義のあることと考え、本作品を選定しました。</p> <p>本作品が描く昭和30年代は日本に活気がありました。新しいものを創る機運に満ち満ちていました。マンガをただ賛美するのではなく、マンガ雑誌の売り上げ減に苦しむ編集者、漫画を軽視する新進の小説家などの、考え方・感じ方をぶつけ合う中で、自分でイメージを創る能力を育まなくなるといっても過言ではありません。</p> <p>本作品は、見れば元気が出る演劇です。登場人物の一人一人に、夢があり、悩みがあり、友情があり、挫折があります。学習指導要領の中にある「他人と協調して思いやる心」「感動する心」「豊かな人間性」などの、「生きる力」を育む力のある作品です。</p> <p>本作品で紹介される日本の漫画家たちが開発した、様々な技法を通じて、絵画への興味を誘うこともでき、身の回りにあるマンガを新鮮な目で見るできるようになります。</p> | | |
| 児童・生徒の共演、参加又は体験の形態 | <p>基本的に生徒全員が参加できるような形態をとり、「みんなでものを造る事」の楽しさ、感動を経験して頂こうと思っています。</p> <p>6人程度の児童・生徒には「トキワ荘」の見学者となって舞台に出演してもらいます。舞台上で「絵描き歌(オリジナル曲)」を歌いながら、漫画家に扮した俳優達に、漫画の描き方を教えてもらいます。生徒達は歌っているうちに、人間や動物の簡単なデッサンが出来るようになります。</p> <p>又、生徒全員にフィナーレの歌を歌ってもらい、舞台上の俳優と一緒に「トキワ荘の夏」という芝居の感動的なフィナーレを造りだしてもらいたいと思っています。先生方にも参加して頂く事</p> | | |

| | | | |
|----------------------|--|------------------|--------------------------------------|
| | <p>もあり、舞台に参加した児童・生徒ばかりではなく、客席全員が参加する形式をとり、演劇が文字や言葉だけではなく、音楽や絵画も入った総合芸術であるということを実感して頂きたいと思っています。</p> <p>尚、「本公演」までの練習の仕方は「事前打ち合せ」で各学校に合った練習方法を先生方と話し合います（お昼休みに「絵描き歌」「フィナーレの歌」等を流してもらうなど・・・）。</p> | | |
| 出 演 者 | 別紙参照 | | |
| 公演出演予定者数 (1公演あたり) | <p>出 演 者: 13名 <u>ス タ ッ フ: 7名</u> 合 計: 20名</p> | 機 材 等 運 搬 方 法 | 積 載 量 2tワイドロング 車 長 6.5m 台 数 1台 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|----------------------------|-----|---------------|-----|--|----|-----|-----|-----|----|----|---|--------|-------------------|-----|---------------|-----|
| <p>公演に当たっての 会 場 条 件</p> | <p>実施条件等確認書①をご確認ください。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安</p> | <p>前日仕込み(有・(無)) 会場設営の所要時間(3時間程度)</p> <table border="1" data-bbox="391 571 1431 689"> <tr> <td>到着</td> <td>仕込み</td> <td>本公演</td> <td>内休憩</td> <td>撤去</td> <td>退出</td> </tr> <tr> <td>時</td> <td>8時～11時</td> <td>13時30分～ 15時15分</td> <td>10分</td> <td>15時30分 17時</td> <td>17時</td> </tr> </table> <p>※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね休憩込み100分程度です。 「搬入、仕込み」「バラシ、搬出」も希望があれば、「もの造り」の楽しさを理解してもらうため、生徒さん達に見学してもらったり、手伝ってもらったりします。特に仕込み後、照明の当たったセットが出来た体育館はいつもの体育館ではなく、全く異次元の劇的空間に変化し、生徒さん達も先生方も驚き、新鮮な感動を受ける筈です。</p> | | | | | | 到着 | 仕込み | 本公演 | 内休憩 | 撤去 | 退出 | 時 | 8時～11時 | 13時30分～ 15時15分 | 10分 | 15時30分 17時 | 17時 |
| 到着 | 仕込み | 本公演 | 内休憩 | 撤去 | 退出 | | | | | | | | | | | | | |
| 時 | 8時～11時 | 13時30分～ 15時15分 | 10分 | 15時30分 17時 | 17時 | | | | | | | | | | | | | |
| <p>児 童 ・ 生 徒 の参加可能人数</p> | <p>ワークショップ</p> | <p>最大 1,000 名程度(全校生徒可)</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p></p> | <p>本公演</p> | <p>最大 1,000 名程度(全校生徒可)</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>ワークショッ プ 実 施 形 態 及 び 内 容</p> | <p>ワークショップで一番大事なことは「見る」「聞く」「感じる」…つまり五感を鋭くする訓練によって想像力、創造力、感受性を豊かにし、コミュニケーション能力を発達させ、社会性が身に付くようにすることです。</p> <p>まず、学校と「事前打ち合せ」をし、それぞれの学校の状況を把握し、「ワークショップ」では学校、先生方の意見が反映されるようにワークショップの実施形態を柔軟に微調整するようにします。</p> <p>ワークショップ当日は指導者4人(芸術監督兼俳優1名、俳優3名)で生徒さん達にワークショップを行います。</p> <p>最初に全校生徒の皆さんに、「トキワ荘の夏」の内容、作品の背景、ワークショップの内容、本番当日の参加の意図や趣旨などの〈解説〉をしてから、体操・発声などの基礎的訓練を行い、「フィナーレの歌」の練習をしてもらいます。次に喜怒哀楽を表現する漫画の基礎的なデッサンと漫画の吹き出し(セリフを囲む枠)の練習、つまり「絵を描く」ためのワークショップを行います。</p> <p>こうして生徒さん達はコミュニケーションは言語だけではなく、「非言語コミュニケーション」もあるのだという事に気づいていくことになります。</p> <p>つまり、「歌を歌う」「絵を描く」等のワークショップで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉にメロディがつく事で記憶が強化される。 ・言語情報だけより、それに絵画情報が加わることで伝達力が高まる。 ・実際に自分で歌いながら手を動かして絵を描く事で伝達力が高まる。 <p>等といった効果が生まれるのです。</p> <p>舞台に参加する生徒さん達は各学校で6人程選んで頂き、彼等に「セリフ」や言葉の意味を理解してもらい、「舞台上での動き」の練習もしてもらいます。参加する生徒さん達のワークショップでのシーンは次の二ヶ所です。</p> <p>①「トキワ荘」を近所の子供たちが見学に訪れ、主人公である木塚修身が漫画の描き方を教えるシーン</p> <p>②藤本博文、愛甲郁夫が近所のラーメン屋「松葉」で店員等に絵の書き方を教えるシーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初の45分(全校生徒の参加) 解説と基礎的訓練(体操、発声等)、「フィナーレの歌」の練習 ・次の45分(舞台で演技する6人の参加) 「絵描き歌」を歌いながら「絵を描く」ワークショップ、「セリフ」「舞台上の動き」のワークショップというタイムテーブルで進行していきます。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------------------|---|
| | <p>(注)ワークショップの全校生徒の参加については各学校の状況で1学年だけとかその他の場合も考えられると思いますので、その点も学校側との話し合いで、柔軟に対処したいと思っています。</p> <p>又、舞台に参加する生徒さん達でのワークショップでは、参加する生徒以外でも希望者がいれば見学することも参加することも可能です。</p> |
| ワークショップ 実施形態の意図 | <p>ワークショップでは、「歌を歌う」「絵を描く」という二つの自己表現力を養うことを狙いとしています。結果として、非言語コミュニケーションの重要性に気付くこととなります。また、舞台上がっている児童・生徒だけでなく、客席にいる全ての人が〈参加者〉であり、〈主体者〉であることを実感できる演出形態をとっています。</p> <p>歌を歌うことの狙い ただ、カエルの絵を描くよりも、「棒が一本あったとさ」で始まる絵描き歌を歌いながら、絵を描いた体験によって、その記憶を強化されることは、誰もが知っています。また、演劇でありながら、音楽で習うコーラスの魅力を感じ得ることにもなります。</p> <p>絵を描くことの狙い 実際に、自分の手を動かして絵を描くことで、参加意識が高まる。簡単な、デッサンの基礎に目を向けることもできます。自分の作品が、数点完成するので、達成感という喜びもあります。</p> <p>非言語コミュニケーションの重要性に気付く 言語情報だけより、言語＋非言語情報の方が伝達力が高いことを、実際に簡単なマンガを描いてみることで実感します。つまり、コミュニケーション能力がより発達することになるのです。劇団俳小は、これまでも「本物の舞台芸術体験事業」などで成果を上げてきました。今後も、舞台芸術の本質を見誤らぬ範囲で、生徒・児童の変化には対応しつつ、演目の選定を行って行きたいと考えています。</p> |
| 特別支援学校での実施における工夫点 | <p>基本的にワークショップも本番も前記の通りできます。しかし事前の先生方との話し合いをより詳細にしたいと思います。希望があれば何度か学校を訪れ、先生方だけでなく、生徒さんも含めた話し合いで、本事業への理解を求めると共に、この事業への要望を聞き、その実現のために努力をしたいと思っています。そして生徒さん一人一人が「舞台」や「もの造り」をより身近に感じられるように、俳優・スタッフとの交流をより深めるための、生徒さんの状況に応じた方法も考えたいと思っています。</p> |
| 実施可能時期 ◇はB区分申請 団体のみ | <p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p> |

H31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書
別紙①

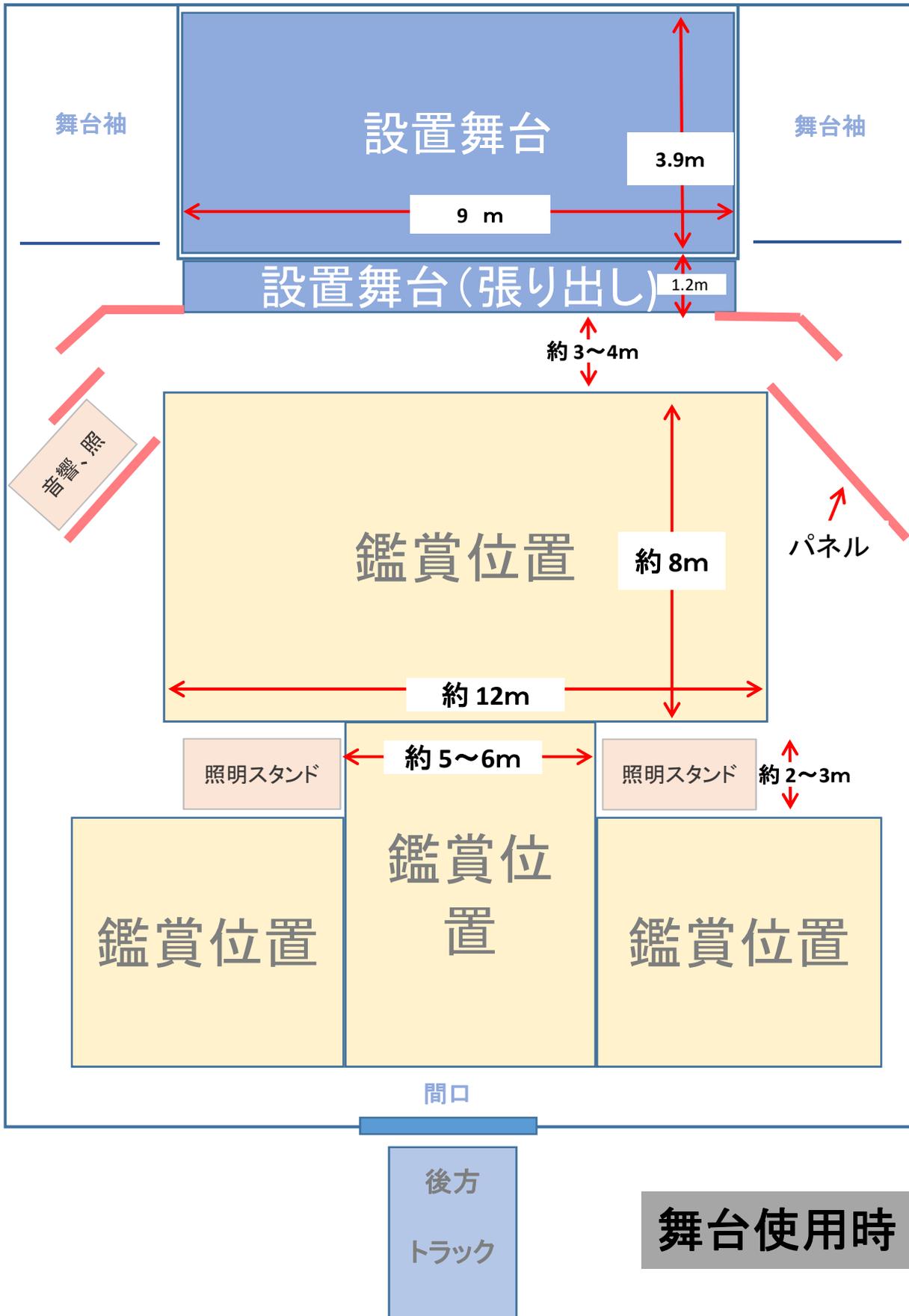
| キャスティング表 | | | |
|----------|--------|-------|-----|
| | 役名 | キャスト | ランク |
| 1 | 木塚修身 | 大川原直太 | A |
| 2 | 秋森良太郎 | 佐京翔也 | B |
| 3 | 赤坂不二郎 | 橘颯 | C |
| 4 | 寺本文雄 | 手塚耕一 | A |
| 5 | 藤本博文 | 大久保卓洋 | E |
| 6 | 愛甲郁夫 | 宮崎佑介 | C |
| 7 | 岡達彦 | 廣瀬大智 | C |
| 8 | 大瀧浩一 | 駒形亘昭 | B |
| 9 | 内山啓 | 勝山了介 | A |
| 10 | 島本賢 | 北郷良 | D |
| 11 | 秋森恵美 | 西本さおり | A |
| 12 | 水島洋子 | 成澤奈穂 | B |
| 13 | 佐々木あけみ | 小池のぞみ | C |
| | 佐伯順一 | | |

【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

| | | | | | | | | | |
|-------|------|----|----|-------|----------|------|---|----|-----|
| ID | H91 | 分野 | 演劇 | 種目 | 演劇 | ブロック | H | 区分 | A区分 |
| 公演団体名 | 劇団俳小 | | | 制作団体名 | 株式会社劇団俳小 | | | | |

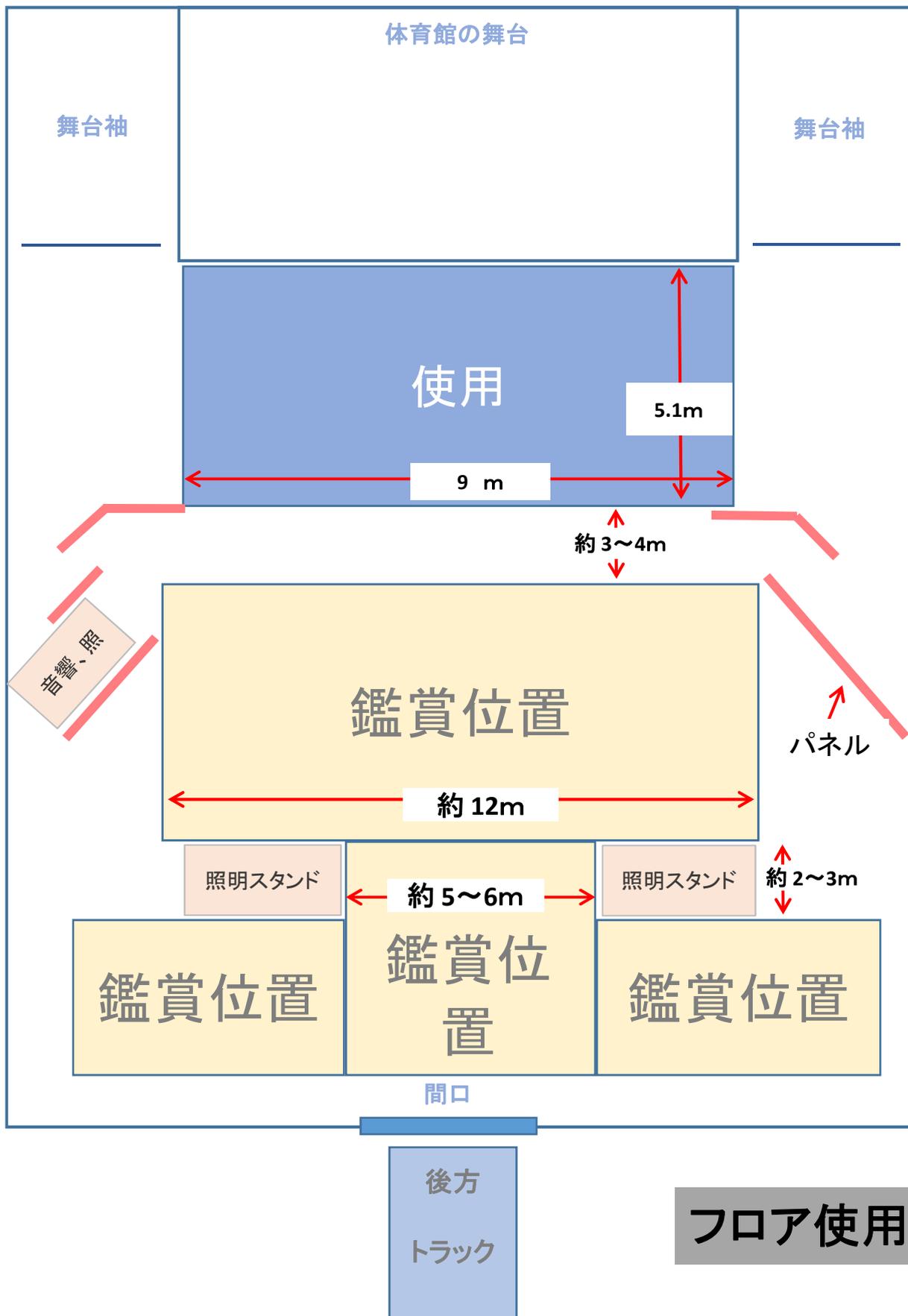
① 会場条件等についての確認

| 項目 | 応相談 | 必要条件等 | | | | | | | | |
|---------|--|-------------------------------|----|-----------------|---|------------------------|------------|-------------|------|--|
| 控室について | 可 | 必要数 * | 1室 | 条件 | 着替えスペース用の仕切りパーテーション等があれば嬉しいです。 | | | | | |
| 搬入について | 不可 | 来校する車両の大きさと台数 * | | | 2トラック 1台 | 中型バス 1台 | | | | |
| | 不可 | 来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ | | | 2トラック | | | | | |
| | 可 | 搬入車両の横づけの要否 * | | | 不要 | | | | | |
| | 可 | 横づけができない場合の搬入可能距離 * | | | 100m以内 | | | | | |
| | 可 | 搬入経路の最低条件 | | | 特に無し | | | | | |
| | / | 理由 | | | | | | | | |
| | — | 設置階の制限 * | | | 問わない | | | | | |
| | 不可 | 搬入間口について 単位:メートル | | 幅 | 0.9m | 高さ | 1.8m | | | |
| WSについて | 可 | 参加可能人数 | | | 最大1000人程度(全校生徒可) | | | | | |
| | 可 | 学年の指定の有無 * | | | なし | 指定学年 * | なし | | | |
| | 可 | 所要時間の目安 単位:分 | | | 90分程度 | | | | | |
| 本公演について | / | 会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間 | | | ※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。 | | | | | |
| | 可 | 鑑賞可能人数 | | | 最大1000人程度(全校生徒可) | | | | | |
| | 可 | 舞台設置場所 * | | | ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能 | | | | | |
| | 可 | 舞台設置に必要な広さ 単位:メートル | | 幅 | 9m | 奥行 | 5.1m | 高さ | 指定なし | |
| | 可 | 体育館の舞台を使用する場合の条件 | | | 舞台袖スペースの確保 * | | | 要 | | |
| | 可 | | | | 舞台袖スペースの条件 * | | | ステージまで通れる状態 | | |
| | 可 | | | | 緞帳 * | 不要 | | バトン * | 要 | |
| | 可 | 遮光(暗幕等)の要否 * | | | 要 | 理由 | 演出効果を高めるため | | | |
| | — | ピアノの調律・移動の要否 | | 指定位置へのピアノの移動 * | 不要 | ※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。 | | | | |
| | — | | | ピアノの事前調律 * | | 不要 | | | | |
| | 可 | フロアを使用する場合の条件 | | バスケットゴールの設置状況 * | | 格納されていれば可 | | | | |
| | 可 | 公演に必要な電源容量 | | | 60A | ※主幹電源の必要容量 | | | | |
| | その他特記事項 | | | | | | | | | |
| | 可 | 音響・照明ブースは分電盤の位置によって左右反対になります。 | | | | | | | | |
| 可 | 鑑賞位置にあるスタンドは事前打合せ等で調整可能です。 | | | | | | | | | |
| 可 | 体育館の舞台は奥行き3.9mあれば可。舞台張り出し有り(張り出し用資材は団体側で用意します) | | | | | | | | | |



| | | | | |
|-------------------|--------|------|----|------|
| 搬入間口について | 幅 | 0.9m | 高さ | 1.8m |
| 搬入車両の横づけの要否 | 不要 | | | |
| 横づけができない場合の搬入可能距離 | 100m以内 | | | |

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



| | | | | |
|----------|-------------------|------|--------|------|
| 搬入間口について | 幅 | 0.9m | 高さ | 1.8m |
| | 搬入車両の横づけの要否 | | 不要 | |
| | 横づけができない場合の搬入可能距離 | | 100m以内 | |

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

| 開催月日 | 開催地 | 実施地 | 実施校 | 実施校以外の地元主催者 |
|-----------|----------|-------|----------|---------------------|
| 10月2日(火) | 埼玉県熊谷市 | 熊谷市 | 立田市田小学校 | 埼玉県教育委員会 |
| 10月3日(水) | 栃木県佐野市 | 佐野市 | 立田沼小学校 | 栃木県教育委員会/佐野市教育委員会 |
| 10月4日(木) | 福島県伊達市 | 伊達市 | 立伊達東小学校 | 福島県/伊達市教育委員会 |
| 10月5日(金) | 山形県東村山郡 | 中山町 | 立中山中学校 | 山形県教育委員会/中山町教育委員会 |
| 10月9日(火) | 福島県いわき市 | いわき市 | 立大浦小学校 | 福島県/いわき市 |
| 10月10日(水) | 福島県田村郡 | 三春町 | 立三春小学校 | 福島県/三春町教育委員会 |
| 10月11日(木) | 栃木県栃木市 | 栃木市 | 立小野寺南小学校 | 栃木県教育委員会/栃木市教育委員会 |
| 10月12日(金) | 栃木県那須塩原市 | 那須塩原市 | 立黒磯小学校 | 栃木県教育委員会/那須塩原市教育委員会 |
| 10月16日(火) | 福島県石川郡 | 古殿町 | 立古殿中学校 | 福島県/古殿町教育委員会 |
| 10月18日(木) | 福島県郡山市 | 郡山市 | 立高瀬中学校 | 福島県/郡山市 |
| 10月19日(金) | 福島県いわき市 | いわき市 | 立湯本第三中学校 | 福島県/いわき市 |
| 10月22日(月) | 福島県二本松市 | 二本松市 | 立石井小学校 | 福島県/二本松市教育委員会 |
| 10月23日(火) | 群馬県館林市 | 館林市 | 立第四小学校 | 群馬県/群馬県教育委員会 |
| 10月24日(水) | 群馬県館林市 | 館林市 | 立第八小学校 | 群馬県/群馬県教育委員会 |
| 10月25日(木) | 群馬県邑楽郡 | 明和町 | 立明和東小学校 | 群馬県/群馬県教育委員会 |
| 10月26日(金) | 群馬県桐生市 | 桐生市 | 立東小学校 | 群馬県/群馬県教育委員会 |
| 10月29日(月) | 群馬県太田市 | 太田市 | 立綿打小学校 | 群馬県/群馬県教育委員会 |
| 10月30日(火) | 埼玉県滑川町 | 滑川町 | 立宮前小学校 | 埼玉県教育委員会 |
| 11月1日(木) | 埼玉県上尾市 | 上尾市 | 立今泉小学校 | 埼玉県教育委員会 |
| 11月2日(金) | 栃木県栃木市 | 栃木市 | 立国府北小学校 | 栃木県教育委員会/栃木市教育委員会 |

○知っていますか？ ～10月1日は「国際音楽の日」です～○

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。
日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

劇団 俳小 げきだんはいしやう

昭和49(1974)年1月、早野寿郎(故人)・小沢昭一(故人)等が中心となって活動していた劇団俳優小劇場が、現在の「劇団俳小」としてスタートした。ヨーロッパ・アメリカ演劇から、日本の古典、新作、あるいは詩や小説をそのまま舞台にのせたりと、一定の演劇理念にとらわれない幅広い演劇活動を続けながら、舞台芸術の原点を探る演劇創造集団として定評がある。

昭和51(1976)年、『あの人は帰ってこなかった』(早野寿郎演出)で文化庁・芸術祭優秀賞を受賞。平成2(1990)年、藤田傳、作・演出による『檻の中の国境』がNHKのニュースになり、話題に上る。平成7(1995)年、ジェームス三木、作・演出『上杉鷹山』を地方行政(山形県米沢市)との共同制作を行うことで注目を浴びる。平成16(2004)年、ロシア・マーリュイ劇場の主任演出家ウラジーミル・ベイリス氏を招聘して、『悲喜劇―自殺者―』(原作・エルドマン)を上演し、大成功を収める。また、『橋からの眺め』、『五稜郭』、『どさ回りのハムレット』、『金閣炎上』などで、池袋演劇祭の数々の賞を受賞する。

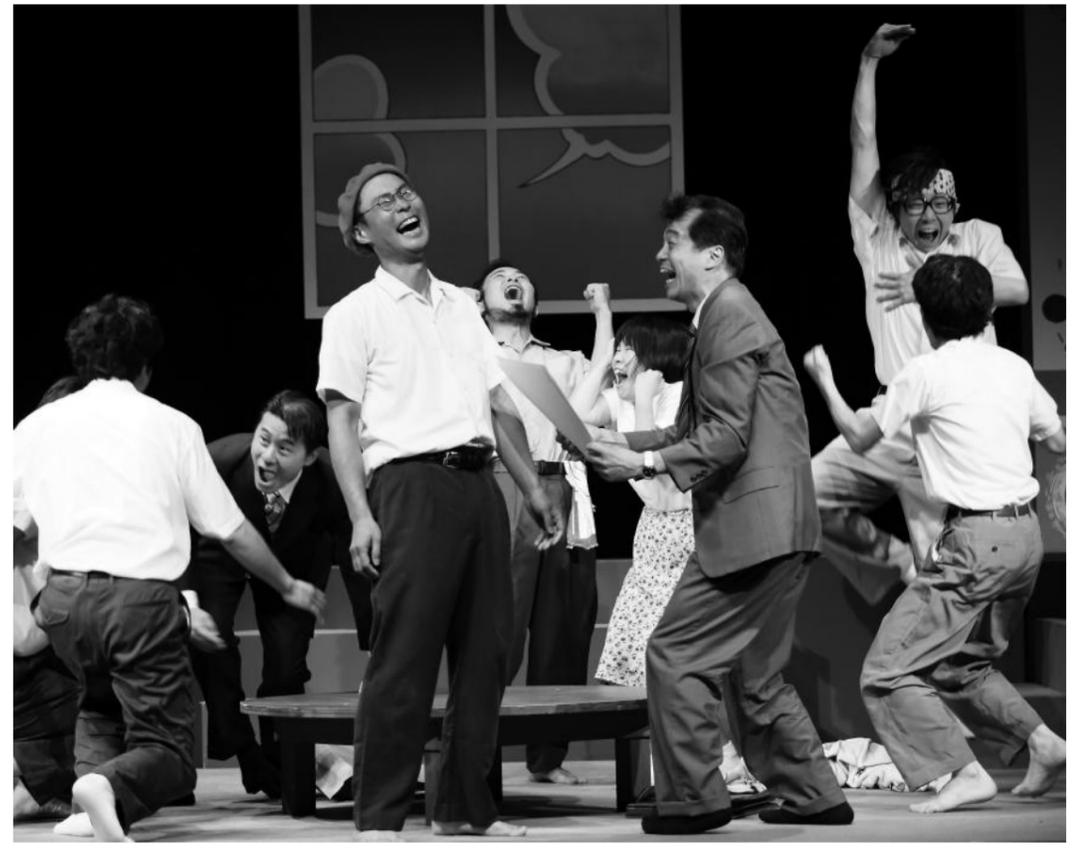
創立以来、全国の小中学校、高校を対象とした学校公演を実施し、次代を担う子どもの文化芸術体験事業(旧・ふれあい教室、旧・本物の舞台芸術体験事業)は平成11年以降、ほぼ毎年参加している。

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-7-3 東都大塚コーポB1
Tel. (03) 3987-1787 Fax. (03) 3987-5187 E-mail info@haishou.co.jp URL http://haishou.co.jp

へいせい ねんど
平成30年度
ぶんか げいじゆつ こども いくせい じぎやう
文化芸術による子供の育成事業
— じゆんかいこうえん じぎやう
巡回公演事業 —

トキワ荘の夏

えんげき げきだんはいしやうこうえん
＜演劇＞劇団 俳小 公演



○文化芸術による子供の育成事業 — 巡回公演事業 —

わが国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



げきだんはいしょうこうえん
劇団 俳小 公演

えん げき
演 劇

トキワ荘の夏

<登場人物>

あきもり りょうた ろう さきょう しょうや
秋森 良太郎..... 佐京 翔也

モデル・石ノ森章太郎。新進気鋭の漫画家としてトキワ荘に引っ越してくる。

あきもり えみ にしもと
秋森 恵美..... 西本 さおり

あきもりりょうた ろう あね びょうじゃく からだ こ そう まんが か けんしんてき はたら
秋森良太郎の姉。病弱な身体を粉にして、トキワ荘の漫画家たちのために献身的に働く。

きづか おさみ おおかわら なおた
木塚 修身..... 大川原 直太

モデル・手塚治虫。漫画家たちの憧れの存在。スランプでなかなか漫画が描けない。

あかさか ふ じろう たちばな はやて
赤坂 不二郎..... 橘 颯

モデル・赤塚不二夫。秋森良太郎の幼馴染で、彼の一番の理解者。

てらもと ふみお てづか こういち
寺本 文緒..... 手塚 耕一

モデル・寺田ヒロオ。黙々とかつての手法で漫画を描き続けている。

みずしま ようこ なるさわ なほ
水島 洋子..... 成澤 奈穂

モデル・水野栄子。秋森良太郎の漫画を酷評する。

ふじもと ひろふみ いたくら しょうたろう
藤本 博文..... 板倉 章太郎

モデル・藤子・F・不二雄。愛甲郁夫とコンビを組んで漫画を描いている。

あいこう いくお みやざき ゆうすけ
愛甲 郁夫..... 宮崎 佑介

モデル・藤子不二雄(A)。藤本博文とコンビを組んで漫画を描いている。

おか たつひこ ひろせ だいち
岡 達彦..... 廣瀬 大智

わかて まんが か じぶん か まんが みとめ まんが か みち あきら
若手の漫画家。自分の描いた漫画がなかなか認められず、漫画家の道を諦める。

うちやま けい かつやま りょうすけ
内山 啓..... 勝山 了介

モデル・「漫画少年」編集長、加藤謙一。木塚修身を見出したことに誇りを持っている。

しまもと けん ほん ごう りょう
島本 賢..... 北郷 良

うちやまけい けいえい まんが ざっし へんしゅうしゃ きづかおさみ わかて まんが か おうえん
内山啓が経営する漫画雑誌の編集者。木塚修身よりも若手漫画家たちを応援している。

おおたき こういち こまがた のぶあき
大瀧浩一..... 駒形 亘昭

トキワ荘に住んでいる小説家。漫画を低俗なものだと見下している。

さ さ き こいけ
佐々木 あけみ..... 小池 のぞみ

トキワ荘の近所にあるラーメン松葉で働いている。女優を目指して上京してきた。

ながい こいけ
永井 たけし..... 小池 のぞみ

あきもりりょうた ろう あこが そう き わかて まんが か
秋森良太郎に憧れてトキワ荘にやって来た若手漫画家。

マンガの聖地「トキワ荘」を舞台に、

わか ひ まんが か ゆめ きぼう えが つづ
若き日の漫画家たちは『夢』と『希望』を描き続けていた!!

あらすじ



しょうわ ねん どうきょうと としまくしいなまち
昭和30年、東京都豊島区椎名町にある

おんぼろアパート「トキワ荘」。そこに集

まった漫画家たちの織りなす輝かしくも

ほろ苦い青春の1ページ。

「トキワ荘」には、寺本文緒(モデル・寺

田ヒロオ)、藤本博文(モデル・藤子・F・不

二雄)、愛甲郁夫(モデル・藤子不二雄

①)、そして、木塚修身(モデル・手塚治虫)

といった漫画界のそうそうたる面々が住み、日夜、漫画を描き続けていた。そこへ、赤坂不二郎(モデル・赤

塚不二夫)と一緒に、新進気鋭の漫画家・秋森良太郎(モデル・石ノ森章太郎)が引っ越してくる。

秋森が始めた新連載の少年漫画は、予想以上の大ヒット。一方、木塚はスランプ気味。ついには、漫画雑

誌の発売日を遅らせる事態に。そのため、廃刊の事態にまで陥ってしまう。

漫画雑誌の廃刊に落胆するトキワ荘の住人たち。自暴自棄になり創作意欲も消え失せてしまうのだが

.....。

夢や希望を抱きながらも、ときには焦り、苦しみながら作品づくりに没頭した若き日の漫画家たち。トキワ

荘で過ごした彼らの成長を瑞々しく描く。

<スタッフ>

ざく えんしゅつ たけ うち いち ろう
作・演出..... 竹内 一郎

ぶ たい びじゅつ うち やま つとむ
舞台美術..... 内山 勉

しょうめい たけ い たかし
照明プラン..... 竹井 崇

おんきょう い ば しげ あき
音響プラン..... 射場 重明

おんがく かしょうし どう ひらいわ さ わ こ
音楽／歌唱指導..... 平岩 佐和子

いしょう い からし ひろ こ
衣装デザイン..... 五十嵐 博子

えんしゅつじょしゅ かつ やま りょう すけ
演出助手..... 勝山 了介

えんしゅつほ かつ やま りょう すけ
演出補..... 勝山 了介

ぶ たいかんたく てづか こう いち
舞台監督..... 手塚 耕一



VI 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目 (いずれかに○をつけて下さい。)

| | |
|--------|---|
| 【音 楽】 | 合唱, オーケストラ等, 音楽劇 |
| 【演 劇】 | 児童劇, 演劇, <input checked="" type="checkbox"/> ミュージカル |
| 【舞 踊】 | バレエ, 現代舞踊 |
| 【伝統芸能】 | 歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸 |

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

(1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能

(2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能

(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能

(4) その他()

芸術文化団体の概要

| | | | |
|-----------------------|--|--|--------------|
| ふりがな | かぶしがいいしゃ おーるすたっふ | | |
| 制作団体名 | 株式会社 オールスタッフ | | |
| 代表者職・氏名 | 代表取締役 土屋 由美 | | |
| 制作団体所在地 (最寄り駅・バス停) | 〒111-0051 東京都台東区蔵前2-4-5 K-FRONTビル 8F (最寄り駅 都営浅草線・大江戸線 蔵前駅) | | |
| 電話番号 | 03-5823-1056 | F A X 番号 | 03-5823-1054 |
| ふりがな | みゅーじかるかんぱにー いっつふおーりーず | | |
| 公演団体名 | ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズ | | |
| 代表者職・氏名 | 代表取締役 土屋 由美 | | |
| 公演団体所在地 (最寄り駅・バス停) | 〒111-0051 東京都台東区蔵前2-4-5 K-FRONTビル 8F (最寄り駅 都営浅草線・大江戸線 蔵前駅) | | |
| 制作団体 設立年月 | 1962年 5月 | | |
| 制作団体 組織 | 役 職 員 | 団体構成員及び加入条件等 | |
| | 代表取締役 土屋由美 取締役 吉田健二 取締役 土屋友紀子 取締役 中島康江 監査役 横山彩 | 制作部:土屋友紀子・吉田健二・中島康江・松本峻汰 演技部:イッツフォーリーズ 茂木沙月・井上一馬・森隆二・明羽美姫 藤森裕美・米谷美穂 他 約50名 文芸部:吉田さとり(作曲家)・坂口阿紀(演出家) 河本章宏(演出家) | |

| | | | |
|-------------------|--|---------|----------------|
| 事務体制の担当 | <input checked="" type="checkbox"/> 専任 ・ 他の業務と兼任 | 本事業担当者名 | 吉田 健二 松本 峻汰 |
| 経理処理等の 監査担当の有無 | 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 | 経理責任者名 | 土屋由美 |

| | | | |
|----------------|---|-------------------------|-------|
| 制作団体沿革 | <p>1962年作曲家「いずみたく」が音楽及び舞台制作の集団として発足。同時に多くの歌手(佐良直美、由紀さおり、ピンキーとキラーズ)等を養成。「いずみたく」自身は<恋の季節><手のひらを太陽に><見上げてごらん夜の星を>等、数々の楽曲を作曲。その後、日本のオリジナルミュージカルの創作、作曲活動に専念。ミュージカル劇団フォーリーズ(後に改名・イツフフォーリーズ)を旗揚げし、数々のミュージカル作品を世に送り出す。「船長」「洪水の前」「おれたちは天使じゃない」他。「いずみたく」亡き後も、その意志を受け継ぎ、現在は、児童青少年、学校、一般と幅広い年齢層に向けてのミュージカルを全国で公演する。近年の上演作品「天切り松～人情闇がたり～」「野菊の墓」「ルドルフとイッパイアッテナ」「青空の休暇」「霧のむこうのふしぎな町」「見上げてごらん夜の星を」「小さい“つ”が消えた日」「ゲゲゲの鬼太郎」「死神」「秋に咲く桜のような」「遠ざかるネバーランド」「じいじのふしぎなレストラン」他。</p> | | |
| 学校等における公演実績 | <p>1. 親と子どものミュージカル「ルドルフとイッパイアッテナ」 府中市教育委員会、新宿区教育委員会、調布市教育委員会、他の小学校芸術鑑賞教室</p> <p>2. ファンタジーミュージカル「霧のむこうのふしぎな町」 東海村教育委員会、増穂町教育委員会、文京区教育委員会、日立教育委員会 新潟市中学校国語研究会 他の小・中学校芸術鑑賞教室</p> <p>3. ミュージカル「おれたちは天使じゃない」 山形・長野・浜松・北九州 他高等学校合同芸術鑑賞行事 桐蔭学園など近郊の高校鑑賞</p> <p>4. ファンタジー「ねこはしる」 金沢市小学校演劇鑑賞教室、増穂町教育委員会、文京区教育委員会</p> <p>5. ミュージカル「フェアブル昆虫記」 金沢市小学校演劇鑑賞教室、袖ヶ浦市教育委員会、他の小学校芸術鑑賞教室</p> <p>6. 文化庁本物の舞台芸術体験事業・(子どものための優れた～・文化芸術による子供の育成事業) H20年度ミュージカル「フェアブル昆虫記」、H21年度ミュージカル「野菊の墓」 H22・23年度ミュージカル「霧のむこうのふしぎな町」 H25・26・27年度 ミュージカル「フェアブル昆虫記」 H28・29年度 ミュージカル「ルドルフとイッパイアッテナ」</p> | | |
| 特別支援学校における公演実績 | <p>ミュージカル「おれたちは天使じゃない」 浜松高等学校演劇教室養護学校 ミュージカルリーディング「野菊の墓」 福島県立郡山養護学校(平成16年度本物の舞台芸術体験事業) ミュージカル「フェアブル昆虫記」 山口県立豊浦総合支援学校(平成20年度本物の舞台芸術体験事業) 三重県立城山特別支援学校(平成25年度次代を担う子どもの文化芸術体験事業) 奈良県立二階堂養護学校(平成25年度次代を担う子どもの文化芸術体験事業) 埼玉県立春日部特別支援学校(平成26年度文化芸術による子供の育成事業・巡回公演) ファンタジーミュージカル「霧のむこうのふしぎな町」 北海道白糠養護学校(平成23年度子どものための優れた舞台芸術体験事業) ミュージカル「ルドルフとイッパイアッテナ」 千葉県立銚子特別支援学校(平成28年度文化芸術による子供の育成事業) 福井県立奥越特別支援学校(平成29年度文化芸術による子供の育成事業)</p> | | |
| 参考資料の有無 | A | 申請する演目のチラシパンフレット等 | 有 ・ 無 |
| | | 申請する演目のDVD または WEB 公開資料 | 有 ・ 無 |

| | | | |
|--|-------------------------|---|--|
| | | ※公開資料有の場合 URL | 一幕 https://youtu.be/c25pPIVhtEQ 二幕 https://youtu.be/Unf6DSj_Ckl |
| | | ※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード | ID: PW: |
| | A の 提出が 困難な 場合 | 今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料 | 有 ・ 無 |
| | | ※公開資料有の場合 URL | |
| | | ※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード | ID: PW: |

公演・ワークショップの内容 【公演団体名 ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズ】

| | | | |
|-------------------------------|---|------------------------|--|
| 対象 | 小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生 | | |
| 企画名 | ミュージカル「小さい“つ”が消えた日」 | | |
| 本公演演目 原作／作曲 脚本 演出／振付 | ミュージカル「小さい“つ”が消えた日」 原作:ステファノ・フォン・ロー(三修社刊) 脚本・作詞・演出:前嶋のの 音楽:大竹創作 美術:根来美咲(青年座) 人形美術・製作:鹿島佳子、高椋士門(木蔭つの木) 振付:三枝宏次 歌唱指導:坂口阿紀 衣裳:天野桃子 照明:千田実(千田オフィス) 音響:返町吉保(キャンベット) 舞台監督:岩戸堅一(アートシーン) 公演時間・休憩 10分含む(110分) | | |
| 著作権 | 制作団体が 所有 | 制作団体以外が所有する事 項が含まれる | ㊦ (制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無 |
| 演目概要 | <p><作品について></p> <p>本作品の原作者、ステファノ・フォン・ローは、1976年ドイツ・クローンベルク生まれ。1987年に来日し、上智大学比較文学部比較文学科を首席で卒業。その後、ケンブリッジ大学、ハーバード大学、東京大学で、経済学、哲学、社会学などを修めました。日本語・ドイツ語・英語・フランス語・イタリア語を堪能に使いこなし、現在は、フランクフルトの日系証券会社に勤務し、ドイツ・ケーニヒシュタインに在住しています。その語学堪能の彼が、日本語の五十音を登場人物として、日本語で物語を書いたものです。五十音の文字たちが擬人化され、五十音村の登場人物としてお話が展開されます。一つ一つの文字の大切さをユーモアと優しさを込めて描かれた物語は、子どもだけでなく、大人へのメッセージも込められた作品です。この原作を元に、イツフォーリーズが、劇団企画公演としてミュージカル化、2013年に初演を迎え、その後、何度かの再演を経て、多くの子ども劇場やファミリー向けの鑑賞行事として、上演して来た作品です。</p> <p><あらすじ> 文字にもたましいが宿っています。五十音村の住人は今日も元気に仕事をしています。自信家の“あ”さん、笑えばなしの“は”さん、歌の大好きな“う”さん、頼りがいのある“た”さんに、資産家の“し”さん。それぞれの個性豊かな文字たちが自慢話を始めていると、無口な小さい“つ”の話になり、音がない小さい“つ”は文字ではない、とみんなにばかにされてしまいました。小さい“つ”は、悲しい気持ちになり、家を飛び出してしまいます。そこでひとりぼっちになった小さい“つ”が出会ったものは…。 “き・み・が・ひ・つ・よ・う”心が傷ついたとき、そのようなメッセージが届いたら、あなたはどうしますか？</p> | | |
| 演目選択理由 | <p>この作品の中で大きく分けて2つの物語の要素が、わかりやすく、見ている子供達に訴えかける要素があること。</p> <p>一つ目は、五十音村を飛び出した、小さい“つ”が体験する物語。小さい“つ”は自分自身が音を発しない文字であることで、五十音村のみんなから、仲間はずれにされ、自分はどうしたらよいか悩み、そして旅立つ。しかしそこで、もっと広い世界を体験する中で、少しずつ本当の自分を取り戻すこと。</p> <p>二つ目は、小さい“つ”がいなくなった後の物語。五十音村に残された文字たちの間では、小さい“つ”がいなくなった事でバランスが崩れ、五十音村に危機が</p> | | |

| | | | |
|----------------------|--|-------------|-----------------------------|
| | 訪れる。その危機を乗り越え、なんとか仲間(ちいさい“つ”)に帰ってきてもらおうと必死になること。 つまり、学校生活における「個」と「集団」というテーマに対して、やさしく、暖かく表現している作品だからです。 | | |
| 児童・生徒の共演，参加又は体験の形態 | 1 第1幕、開演して12分後、五十音村の文字の紹介のシーンで、五十音の一員として出演してもらいます。(参加児童数・約20名・歌・ダンス・芝居)これから始まる物語をイメージさせるショーナンバーです。 2 第2幕、物語の最後で盛り上がる、五十音の文字全員が温泉に行くシーンに、五十音村の一員として出演してもらいます。(参加児童数・約30名・歌・ダンス)明るく楽しいショーナンバーです 3 カーテンコール、劇団出演者と一緒に、2シーンに出演した全員で、観てくれた仲間へ感謝の気持ちを込めてのおじぎと「♪おかえり」というテーマ曲を歌います。 | | |
| 出演者 | 中年ステファノ・おじいさん・“こ”さん・“そ”さん 役 浅川仁志(予定) 少年ステファノ・小さい“つ”役 明羽美姫(予定) “た”さん・“き”さん 役 藤森裕美(予定) “し”さん・“な”さん・“み”さん 役 勝部祐子(予定) “あ”さん・“か”さん・“つ”さん 役 加藤木風舞(予定) | | |
| 公演出演予定者数 (1公演あたり) | 出演者: 5名 スタッフ: 8名 合計: 13名 | 機材等 運搬方法 | 積載量 4 t 車長 9 m 台数 1 台 |

【公演団体名 ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズ】

| | | | | | | |
|--|---|-----------------------------|------------|-----|------------|--------|
| 公演に当たっての 会場条件 | 実施条件等確認書①をご確認ください。 | | | | | |
| 会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安 | 前日仕込み(有・ <input checked="" type="checkbox"/>) 会場設営の所要時間(6 時間程度) | | | | | |
| | 到着 | 仕込み | 本公演 | 内休憩 | 撤去 | 退出 |
| | 7時45分 | 8時～14時 | 14時～15時50分 | 10分 | 16時～17時30分 | 17時30分 |
| ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。 尚、ツアー初日の学校及び、午前中開演の学校の場合、前日仕込みが必要です。 | | | | | | |
| 児童・生徒 の参加可能人数 | ワークショップ | 基本的には本公演参加の約50名(それ以上1学年でも可) | | | | |
| | 本公演 | 鑑賞数 約500名 | | | | |
| ワークショップ 実施形態 及び内容 | <p>ミュージカルに必要な歌・ダンス・芝居、もちろん全てに挑戦してもらいますが、何より楽しく演じる事を目標にします。五十音の文字を意識して、参加場面を講師と共に考えながら、文字が連なり言葉を作っていくことをイメージしていきます。歌やダンスという楽しみ方だけでなく、参加する生徒さんが、一つの意味ある場面を作り出していく面白さを伝えます。その学校の生徒たちによるオリジナルの世界感が重要です。</p> <p>講師は5名、1日100分(2時限 プラス休憩時間)で行いますが、できれば、事前に歌詞や音楽を聴いておいてほしいと思っております。</p> <p>「♪我ら文字だけ言葉をつくれ」のダンスシーンに参加20名、「♪きょうはやすみだ温泉だ」のダンスシーンに参加30名</p> <p>最後に2つのシーンに参加した全員で、テーマ曲「♪おかえり」を合唱する。</p> <p>性別、学年は問いません。</p> <p>ワークショップ当日はゲームを交えて身体を全員で動かす。この中でなりきりゲームと称して様々なキャラクターになりきる(芝居)。その後テーマソングの歌唱指導(歌)。参加するチーム事に分かれて振付の練習(ダンス)。最後に本番に見立て、エリアを区切って場当たり及び実際に音楽に合わせて入退場含め練習を行う。</p> <p>その後、本番日当日に、本番前、約1時間を使って、本番の舞台セット、照明、音響の中で、生徒参加部分の最終舞台稽古を行います。</p> | | | | | |
| ワークショップ 実施形態の意図 | <p>ワークショップの一番の目的は、参加者が心を開く事、作品のテーマを考える事です。</p> <p>講師が子供たちとコミュニケーションを取りながら、彼らが表現をしやすいワークショップ環境を作ります。そして、五十音の文字を演じる事で、自分たちが小さい“つ”に対して、どのような思いを持つか考える事を、作品のテーマに沿うように導きます。</p> <p>シーン作りでは、一人一人の演じる文字がお互いを意識しながら言葉を作り、お互いの芝居の上での関係を作っていきます。最終的にそれぞれのオリジナルな参加シーンを創り上げることが目的です。</p> <p>更にはプロのミュージカル俳優と一緒に出演することによって、新しい自分を発見し、また、自分たちが表現する事で、自分たちの考えたメッセージが観客に伝わるという事を、実感してほしいと考えています。</p> | | | | | |

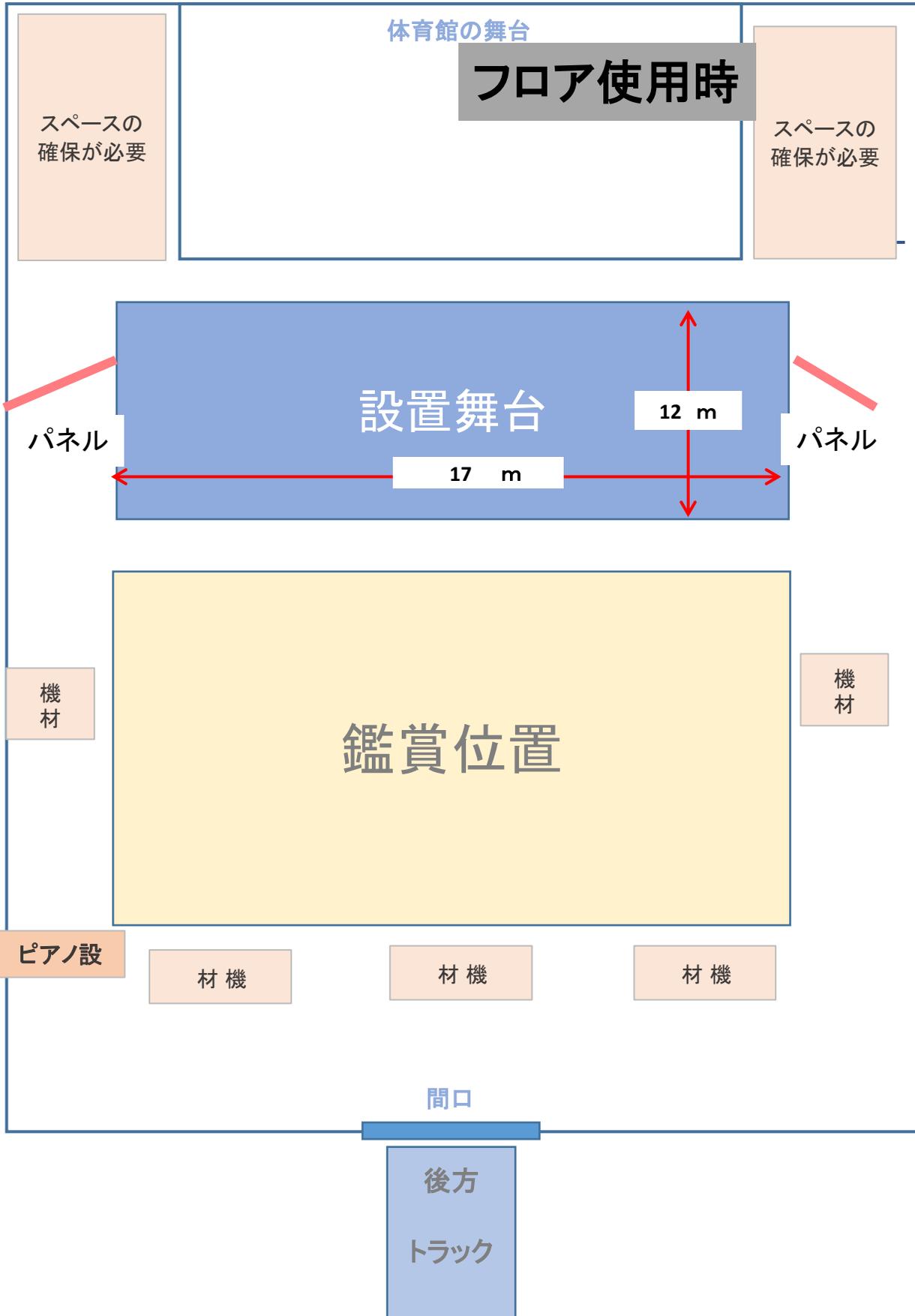
| | |
|------------------------------------|---|
| <p>特別支援学校での実施における工夫点</p> | <p>彼らの出来る事、望んでいる事に合わせ、動きを調整し、とにかく表現することを楽しんでもらうようにする。音楽は、子どもたちの感性を刺激するものであることから、彼らとその音楽を楽しんで、何かを表現したいと思うように指導する。(特別支援学校に関しては事前の打ち合わせがかなり必要だと思いますので、子どもたちの情報や、授業の現状を事前に理解できるよう、学校とコミュニケーションを綿密に取ります。) 数少ない観劇の機会を丁寧に作ってあげたいと考えています。</p> |
| <p>実施可能時期 ◇はB区分申請 団体のみ</p> | <p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p> |

【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

| | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|----|----|-------|--------------|------|---|----|-----|
| ID | H92 | 分野 | 演劇 | 種目 | ミュージカル | ブロック | H | 区分 | A区分 |
| 公演団体名 | ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズ | | | 制作団体名 | 株式会社 オールスタッフ | | | | |

① 会場条件等についての確認

| 項目 | 応相談 | 必要条件等 | | | | | | | | |
|---------|--|------------------------|----|-----|--|--------|-----------------------------------|-------------------|------------------|--|
| 控室について | 可 | 必要数 * | 1室 | 条件 | キャスト及びスタッフの休憩場 1室 その他体育館ステージを楽屋として使用させていただきたい。 | | | | | |
| 搬入について | 不可 | 来校する車両の大きさと台数 * | | | 4tトラック | 1台 | | | | |
| | 不可 | 来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ | | | 4tトラック | | | | | |
| | 可 | 搬入車両の横づけの要否 * | | | 要 | | | | | |
| | 可 | 横づけができない場合の搬入可能距離 * | | | 30m以内 | | | | | |
| | 可 | 搬入経路の最低条件 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・体育館が1Fにある場所の搬入が望ましい。 | | | | | |
| | | 理由 | | | 大道具、照明、音響機材を運ぶため | | | | | |
| | 可 | 設置階の制限 * | | | <ul style="list-style-type: none"> ・出来る限りフラットが好ましい ・2F以上の場合、お手伝いをお願いすることもあります。 | | | | | |
| 不可 | 搬入間口について 単位:メートル | 幅 | 2m | 高さ | 2m | | | | | |
| WSIについて | 可 | 参加可能人数 | | | 50名程度まで | | | | | |
| | 可 | 学年の指定の有無 * | | | なし | 指定学年 * | なし | | | |
| | 可 | 所要時間の目安 単位:分 | | | 100分 | | | | | |
| 本公演について | | 会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間 | | | ※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安をご参照ください。 | | | | | |
| | 可 | 鑑賞可能人数 | | | フロアに舞台を仕込むことを必須条件とし500名程度まで | | | | | |
| | 不可 | 舞台設置場所 * | | | フロア | | | | | |
| | 可 | 舞台設置に必要な広さ 単位:メートル | 幅 | 17m | 奥行 | 12m | 高さ | 特になし | | |
| | 可 | 舞台袖スペースの確保 * | | | 要 | | | | | |
| | 可 | 体育館の舞台を使用する場合の条件 | | | 舞台袖スペースの条件 * | | | 楽屋として使用できるスペースを確保 | | |
| | — | 緞帳 * | | | 要 | | バトン * | | 不要 | |
| | 可 | 遮光(暗幕等)の要否 * | | | 要 | | 理由 | | 演出の都合上出来る限り暗くしたい | |
| | 不可 | 指定位置へのピアノの移動 * | | | 要 | | ステージ上にある分には問題なし。舞台設置に支障なければ、移動不要。 | | | |
| | — | ピアノの調律・移動の要否 | | | ピアノの事前調律 * | | | 不要 | | |
| | 可 | フロアを使用する場合の条件 | | | バスケットゴールの設置状況 * | | | 格納されていれば可 | | |
| | 可 | 公演に必要な電源容量 | | | 220A | | ※主幹電源の必要容量 | | | |
| | その他特記事項 | | | | | | | | | |
| 可 | ツアー初日の学校及び、午前中開演の学校の場合、前日仕込みが必要です。 | | | | | | | | | |
| 可 | 電源容量は、220 A 以上 舞台袖まで延長、通常は50KVAの以上の発電機を手配します。 | | | | | | | | | |
| 可 | 朝8時より1時間、終演後1時間の大道具、小道具、照明、音響機材などの搬入、搬出を生徒さんと一緒に作業をしたい(可能であれば) | | | | | | | | | |



| | | | | |
|-------------------|---|-------|----|----|
| 搬入間口について | 幅 | 2m | 高さ | 2m |
| 搬入車両の横づけの要否 | | 要 | | |
| 横づけができない場合の搬入可能距離 | | 30m以内 | | |

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



ミュージカル
小さい

つが消えた日

～五十音村を飛び出した小さい“つ”の大冒険～

原作…ステファノ・フォン・ロー (三修社刊)

脚本・演出…前嶋のの 音楽・演奏…大竹創作



イラスト
合同会社第プロ



今回の作品には大きなふたつのラインがある。五十音村を飛び出した小さい「つ」の旅の物語と、残された文字たちの集団としての物語だ。小さい「つ」が心に傷を負った瞬間から、この二つのラインが別れて流れ出す。

「空気を読めない」という言葉がある。幼稚園で、学校で、遊び仲間の中で、職場で、母親たちの間で、劇団で。集団には必ず、その集団の空気が流れている。様々な集団の中で、自分はもしたら自分らしくいられるのか。子どもだって大人だって、昔からずっとこの事を無意識に思い悩んでいる。そしてこの集団の空気が、ある時強い権力を持ち、誰かをひどく傷つける事がある。

小さい「つ」は旅をすすめる中で、世界は広いという事に気づく。言葉を持たないものたちとの出会いが、少年の心を落ち着かせる。一方五十音村の文字たちは、小さい「つ」がいなくなった事でバランスを崩し、集団として崩壊しかかる。一文字に託された役割の重さを知り、なんとか仲間を取り戻そうと必死になる。そして、少年にメッセージを送る。少年がこのメッセージをどう受け取るのか。そこが二つのラインが合流する瞬間だ。

「この作品を劇団でやりたい。」そう私に熱いボールを投げしてくれたのは、プロデューサーの勝部さんだった。イツフォーリーズという劇団に出会って、私はミュージカルを創作する楽しさを改めて感じた。若手からベテランまで、まるで五十音村の文字たちのように個性豊かな面々が、同じように作品創りに情熱を注いでいる。わっせ、わっせ、わっせ、わっせ、そんな声が聞こえてくるような稽古場だった。あの時、勝部さんから投げられたボールが火の玉のように膨らんで、ひとつのミュージカルとなり、お客様にお届けする日が来た。

ステファノおじさんが子どもの頃に聞いた五十音村のおはなしを、どうぞお楽しみ下さい。

(脚本・演出 前嶋のの～初演プログラムより～)

原作
ステファノ・フォン・ロー



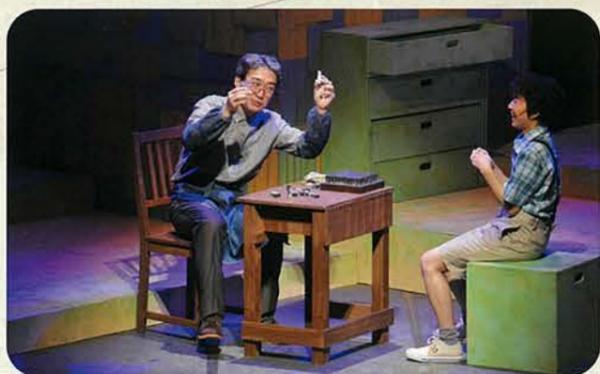
前嶋のの

国立音楽大学卒業。大学在学中より舞台の作・演出、作曲を多数手掛ける。2008年「ギョウワシイ演劇コンクール」にて最優秀賞受賞。

ものがたり

文字にもたましいが宿っています。五十音村の住人は今日も元気に仕事をしています。自信家の“あ”さん、笑っぱなしの“は”さん、歌の大好きな“う”さん、頼りがいある“た”さんに、資産家の“し”さん。それぞれの個性豊かな文字たちが自慢話を始めていると、無口な小さい“つ”の話になりました。音がない小さい“つ”は文字ではない、とみんなにばかにされてしまいました。小さい“つ”は、かなしい気持ちになって、家を飛び出してしまいます。ひとりぼっちになった小さい“つ”が出会ったものは…。「き・み・が・ひ・つ・よ・う」心が傷ついたとき、そんなメッセージが届いたら…あなたは どうしますか？

ドイツ人作家のステファノ・フォン・ローが日本語で書いた、ひとりひとりの人間にむけた愛の物語。2013年、イツフォーリーズの俳優が企画し、総勢30名余の劇団メンバーで初演。好評を博した「小さい“つ”が消えた日」を、出演者5名でリニューアル再演！5人で五十音?! どうなっちゃうの？



ミュージカルナンバー

第1幕

- 人生を楽しむ秘訣
- 文字には魂が宿っている
- 我ら文字だぜ 言葉をつくれ
- 五十音村の仲間たち
- ① あさんの自慢話
- ② はひふへほと笑っちゃう
- ③ たさんはとっても頼もしい
- ④ しさんの資産はずごいんです
- ⑤ こさんは最古参
- いつものパーティ
- 孤独
- どこへ向かう
- どうなとんじゃ

第2幕

- 楽しい冒険
- どこにいるの
- 楽しい冒険パートII
- A 蜂に追われて
- B 船を漕ぎ出す
- 小さい“つ”への手紙
- きみがひつよう
- おかえり
- いつものパーティ・パートII
- きょうは休みだ温泉だ
- 人生を楽しむ秘訣・パートII



音楽 大竹創作



脚本・演出を担当した前嶋のの氏と同じく国立音楽大学卒業。大竹氏は2003年頃より自身が楽しむためのバンド『乙三』のリーダーとして活動を開始し、ボーカル、ピアノを担当。ストリートライブなどで注目を浴び、2006年avex traxよりメジャーデビュー。乙三の「あした会おうね」がNHK「みんなのうた」で取り上げられたほか、SMAP、KinKi Kids、山下智久などへの楽曲提供も多い。イツフォーリーズでは劇団公演の「牡丹さんの不思議な毎日」「あさはなび」の音楽を担当している。



舞台写真 2016年8月六行会ホールにて(撮影 日高仁)

「おかえり」

作詞…前嶋のの
作曲…大竹創作

おかえり おかえり
まっていたよ
おかえり おかえり
ずっと きみのこと
大切なきみがいなくて さびしかった
とてもつらかった
大切なきみがここにいる それだけで
こんなに嬉しい

消せない^{あやま}過ちを 僕らはずっと忘れない
消える事の無い痛みを ポケットにしまっておくんだ
おかえり おかえり
まっていたよ
おかえり おかえり
ここがきみの家



VI 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目 (いずれかに○をつけて下さい。)

| | |
|--------|---|
| 【音 楽】 | 合唱, オーケストラ等, 音楽劇 |
| 【演 劇】 | 児童劇, 演劇, ミュージカル |
| 【舞 踊】 | <input checked="" type="checkbox"/> バレエ, 現代舞踊 |
| 【伝統芸能】 | 歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸 |

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

| | | | |
|-----------------------|---|----------|---|
| ふりがな 制作団体名 | こうえきざいだんほうじんとうきょうしていばれえだん ----- 公益財団法人東京シティ・バレエ団 | | |
| 代表者職・氏名 | 代表理事 依知川悦子 | | |
| 制作団体所在地 (最寄り駅・バス停) | 〒135-0004 東京都江東区森下1-6-14 レックス森下303号室 (都営新宿線・大江戸線「森下」駅) | | |
| 電話番号 | 03-5638-2720 | F A X 番号 | 03-3634-8845 |
| ふりがな 公演団体名 | とうきょうしていばれえだん ----- 東京シティ・バレエ団 | | |
| 代表者職・氏名 | 理事長 安達悦子 | | |
| 公演団体所在地 (最寄り駅・バス停) | 〒135-0004 東京都江東区森下1-6-14 レックス森下303号室 (都営新宿線・大江戸線「森下」駅) | | |
| 制作団体 設立年月 | 1968年 6月 | | |
| 制作団体 組織 | 役 職 員 | | 団体構成員及び加入条件等 |
| | 代表理事: 依知川悦子 理事: 金井利久, 中島伸欣, 小林洋壱 評議員: 石井清子, 橋本洋, 渡邊洋子, 鳥海壮宜, 長谷川孝男, 監事: 石井紀男 | | 団体構成員: 130名 加入条件: バレエ団員としての実力を認められた者 |
| 事務体制の担当 | <input checked="" type="checkbox"/> 専任 | 他の業務と兼任 | 本事業担当者名 山本千絵 |
| 経理処理等の 監査担当の有無 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 | 無 | 経理責任者名 山本千絵 |

| | | | |
|-----------------------|--|--|---|
| <p>制作団体沿革</p> | <p>1968年、合議制によるという理念の下、創立。以降、この精神を大切に、古典バレエと創作バレエ(オリジナルバレエ)を両輪のごとく上演し続けている。1994年より日本バレエ界において初めて東京都江東区と芸術提携を結ぶ。これにより、ティアラこうとう(江東公会堂)において、毎年4演目(古典バレエ、創作バレエ、ティアラこうとうオリジナル企画「オーケストラ with バレエ」、オーディションで選ばれた子どもたちのとの共演が話題の「くるみ割り人形」)を提携公演として、低廉な料金で質の高いバレエ公演を企画・実施している。その他、江東区主催事業として、小学校を訪問しての「アウトリーチ事業」、同じく芸術提携団体である東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団との「オーケストラ&バレエ体験」などのエデュケーションプログラムも意欲的に実施し、地域への貢献にも力を入れている。その他、全国子ども劇場や海外公演、学校主催芸術鑑賞教室等も実施している。</p> <p>2009年一般財団法人設立。2016年7月1日より公益財団法人に移行する。</p> | | |
| <p>学校等における公演実績</p> | <p>1984年 都立深川高校記念行事にて「レ・シルフィード」、八王子市・純心女子高校にて「パキータ」「白鳥の湖」第2幕(1987年)、「 Coppélia」(1991年)、東京都(主催)中高校生のためのバレエ鑑賞教室「Coppélia」(2003年)、「真夏の夜の夢」(2004年)、私立三輪田学園中学校・高等学校 芸術鑑賞教室「真夏の夜の夢」(2005年)「ジゼル」(2011年)「Coppélia」(2017年6月上演予定)</p> <p>平成14年度、15年度、17年度、20年度、21年度、文化庁本物の舞台芸術体験事業。平成22年度子どものための優れた舞台芸術体験事業。平成23年度24年度、25年度次代を担う子どもの文化芸術体験事業。平成26年度～29年度文化芸術による子供の育成事業。</p> <p>日生劇場国際ファミリーフェスティバル 2005年「真夏の夜の夢」、2011年「Coppélia」、2017年「Coppélia」</p> <p>2006年より「ティアラこうとうアウトリーチ事業」にて、毎年江東区内小学校3～6校を訪れ実施。</p> | | |
| <p>特別支援学校における公演実績</p> | <p>平成14年度文化庁本物の舞台芸術体験事業「Coppélia」佐賀県立ろう学校 平成20年度文化庁本物の舞台芸術体験事業「Coppélia」埼玉県立坂戸ろう学校、埼玉県立東松山養護学校 平成25年度次代を担う子どもの文化芸術体験事業「Coppélia」長崎県立佐世保特別支援学校 平成26年度文化芸術による子供の育成事業「Coppélia」岩手県立一関清明支援学校、札幌市立豊成養護学校、北海道平取養護学校静内ペテカリの園分校 平成29年度文化芸術による子供の育成事業「Coppélia」香川県立善通寺養護学校 Tiara Ballet Daysサテライト企画 東京都立城東特別支援学校ワークショップ</p> | | |
| <p>参考資料の有無</p> | <p>A</p> | <p>申請する演目のチラシパンフレット等</p> <p>申請する演目のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p> | <p>○有 ・ 無</p> <p>○有 ・ 無</p> <p>https://youtu.be/ygih4kdA2B0</p> <p>ID: PW:</p> <p>有 ・ 無</p> <p>ID: PW:</p> |
| | <p>Aの提出が困難な場合</p> | <p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p> | <p>有 ・ 無</p> <p>ID: PW:</p> |

公演・ワークショップの内容

【公演団体名

東京シティ・バレエ団】

| | | | |
|-------------------------------|---|-------------|---|
| 対象 | 小学生(低学年・中学年・高学年)・中学生 | | |
| 企画名 | ようこそ、バレエ「 Coppélia 」の世界へ | | |
| 本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付 | 第1部「バレエってなあに?～バレエを楽しもう!～」 第2部「Coppélia」より(Coppélia の仕事部屋) 第3部「Coppélia」より(鐘の祭り) ■作曲:レオ・ドリーブ ■原作:ホフマン ■原台本:ニュイッテル サン・レオン ■原振付:サン・レオン ■演出・振付:石井清子 ■演出助手:長谷川祐子、加藤浩子 ■衣裳:八重田喜美子、石井清子 ■照明:有限会社ハロ ■音響:株式会社シグマコミュニケーションズ ■大道具:ユニ・ワークショップ ■舞台監督:橋本洋、浅田光久 公演時間(休憩2回含め100分) | | |
| 著作権 | <input type="radio"/> | 制作団体が 所有 | 制作団体以外が所有する事 項が含まれる (制作団体以外が所有する 事項が含まれる場合) 許諾の有無 |
| 演目概要 | <p>「バレエ」という様式は、世界共通のものであり、ヨーロッパ、アメリカ、南米、アフリカ、アジア各国において広く文化として根付いているものです。</p> <p>第1部「バレエってなあに?～バレエを楽しもう!～」では、そのバレエの歴史や、バレエ用語、マイムをどの学年の方にも解りやすく解説し、クラシックバレエのレッスン風景を見学して頂きます。また、ワークショップに参加して頂いた皆さん(数名)には、ワークショップで体験して頂いた事をバレエダンサーと一緒に披露して頂きます。第2部は「Coppélia」から第2幕、第3部では、同演目の第3幕をご鑑賞いただきます。青年フランツが窓辺で見かけた美しい少女に心を奪われた事を知った恋人のスワニルダが、やきもちを焼いて、少女の家に忍び込みます。すると、その美しい少女は、Coppéliusという人形作りの老人が作った人形Coppéliaでした。てんやわんやの騒ぎの末に、フランツとスワニルダは仲直りをして、めでたく結婚する、という物語です。第2幕は、Coppéliusとスワニルダが繰り広げる楽しい物語に惹き込み、第3幕では、バレエの美しさをたっぷりとご覧頂きます。</p> | | |
| 演目選択理由 | <p>この作品は、世界中のバレエファンに愛される古典作品の一つです。</p> <p>明るく楽しい内容と、CM等で聴きなじみのある音楽により、バレエ鑑賞が初めての子どもでも物語に入っていくやすい演目のため、本演目を選択しました。実際の作品を鑑賞しながら、第1部で体験したバレエの要素が第2部の作品の中でどのように活かされ、踊りやマイムにより、ダンサーたちが何を表現しているかを感じて頂くことを目的とします。この「Coppélia」体験をとおして、バレエに身近に触れる事により、バレエの魅力的な世界への扉に導く事を目指します。</p> | | |
| 児童・生徒の共演、参加又は体験の形態 | <p>バレエは美しい音楽に合わせて言葉を使わずに踊りで表現します。お芝居のシーンでは「マイム」という動きが使われ、「Coppélia」という作品の中にはマイムがたくさん出てきます。第1部では、ワークショップでマイムを学んだ皆さんに舞台上でダンサーたちと実演してもらい、身体表現を体験して頂きます。そして、第3幕の幕開き部分では、市長・市長夫人・花をまく子どもとして、先生、児童生徒の皆さん数名に出演してもらい、ダンサーと一緒に舞台を盛り上げて頂きます。また、バレエは、音楽・衣裳・照明・大道具(美術)が揃う「総合芸術」です。一つの作品を創り上げるためには、多くの力と技術が必要となりますが、児童・生徒の皆さんには、舞台スタッフや出演者と一緒に機材や大道具の搬入や作品で使用する簡単な道具の組み立て、衣裳のアイロンがけ等を体験して頂きます。この体験を通して、体育館をステージへと変化させていく過程など、普段知る事の出来ない「総合芸術」の構造を知る事が出来ます。当団では、後方で鑑賞する子供たちも舞台が良く見えるように、客席の設営も行っております。緩やかな傾斜のある客席で鑑賞する事で、舞台に集中できる環境になっています。</p> | | |

| | | | |
|------------------------------|---|-----------------------|---|
| <p>出 演 者</p> | <p>(2018年8月現在) 解 説: 会田夏代 【第1部 クラシックバレエの練習風景】 平田沙織 小林あおい 榎本文 馬場彩 小林諒子 加瀬裕梨 石井日奈子 岡田晃明 吉野耆郎 吉岡真輝人 パ・ド・ドウ 飯塚絵莉 濱本泰然 マイム 新里茉利絵 吉留諒 【第2部《コッペリア》より】 「コッペリウスの仕事部屋」 お 話会田夏代 スワニルダ 清水愛恵 フランツ 福田建太 コッペリウス 春野雅彦 コッペリア 松本佳織 スワニルダの友人 河野麻子 大内麻莉 斎藤ジュン 植田穂乃香 庄田絢香 宮井茉名 中国人形 岡田晃明 ロココ人形 (A)小林あおい (B)浅井蘭奈 ムーア人形 (A)吉野耆郎 (B)吉岡真輝人 ジャックマール人形 加瀬裕梨 石井日奈子 【第3部「鐘の祭り」】 時のワルツ ソリスト 飯塚絵莉 大内麻莉 濱本泰然 吉野耆郎 コールド 小林あおい 斎藤ジュン 馬場彩 庄田絢香 浅井蘭奈 加瀬裕梨 石井日奈子 山崎茉穂 曙 植田穂乃香 祈り 平田沙織 河野麻子 榎本文 仕事 松本佳織 新里茉利絵 小林諒子 宮井茉名 戦い 岡田晃明 吉留諒 吉岡真輝人 平和 清水愛恵 福田建太</p> | | |
| <p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p> | <p>出 演 者: 27名 スタッ フ: 18名 合 計: 45名</p> | <p>機 材 等 運搬方法</p> | <p>積載量 4t 車 長 9m 台 数 2台</p> |

| | | | | | | |
|--------------------------------------|---|--------------|-------------------|------------|----------------|-----|
| 公演に当たっての 会場条件 | 実施条件等確認書①をご確認ください。 | | | | | |
| 会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安 | 前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間(2時間30分程度) | | | | | |
| | 到着 | 仕込み | 本公演 | 内休憩 | 撤去 | 退出 |
| | 8時 30分 | 8時30分～11時 | 13時30分～ 15時10分 | 10分 ×2回 | 15時30分～ 17時 | 17時 |
| ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。 | | | | | | |
| 児童・生徒 の参加可能人数 | ワークショップ | 120名(1学年程度) | | | | |
| | 本公演 | 実施会場の広さにより変動 | | | | |
| ワークショップ 実施形態 及び内容 | 前半は、ダンサーと一緒にストレッチをしたり、バレエダンサーの基本訓練の様子を、解説を交えながらご覧頂きます。また、実際にバレエの基本動作や、マイム(=身振り手振り)を指導し、体験してもらいます。マイムは本公演にて数名の生徒さんに実演していただきます。後半は、バレエ「 Coppélia 」より、解説を交えながら4曲の踊りをご覧頂きます。最後は、Coppéliaのコーダ(終曲)に合わせて簡単なステップを指導し、全員で踊ります。 (体を動かしますので、ワークショップには体操着での参加をお願い致します) | | | | | |
| ワークショップ 実施形態の意図 | バレエは、言葉のない「芝居」です。言葉でなく身体で自分の気持ちを表現する方法の一つにバレエ特有のマイムがありますが、この動きに感情をのせ、相手に自分の思いを伝える事を体験してもらいます。また、音楽に合わせて身体を動かす事の心地よさや、バレエのはじまり、衣裳の歴史、バレエの基本動作を体験することで、様々な角度からバレエ芸術および本公演への期待を膨らませることがねらいです。 | | | | | |
| 特別支援学校での 実施における 工夫点 | 過去には、解説部分を先生の手話通訳と共に進めたり、上演時間を調整する事で子供たちの身体への負担を出来る限り少なくする、観賞場所(客席)の設置方法を変更するなど、行って参りました。各校で状況が違うため、どんな事にも可能な限り対応できるよう、都度打合せをしながら進めて参ります。 | | | | | |
| 実施可能時期 ◇はB区分申請 団体のみ | 実施可能時期スケジュール表をご確認ください。 | | | | | |

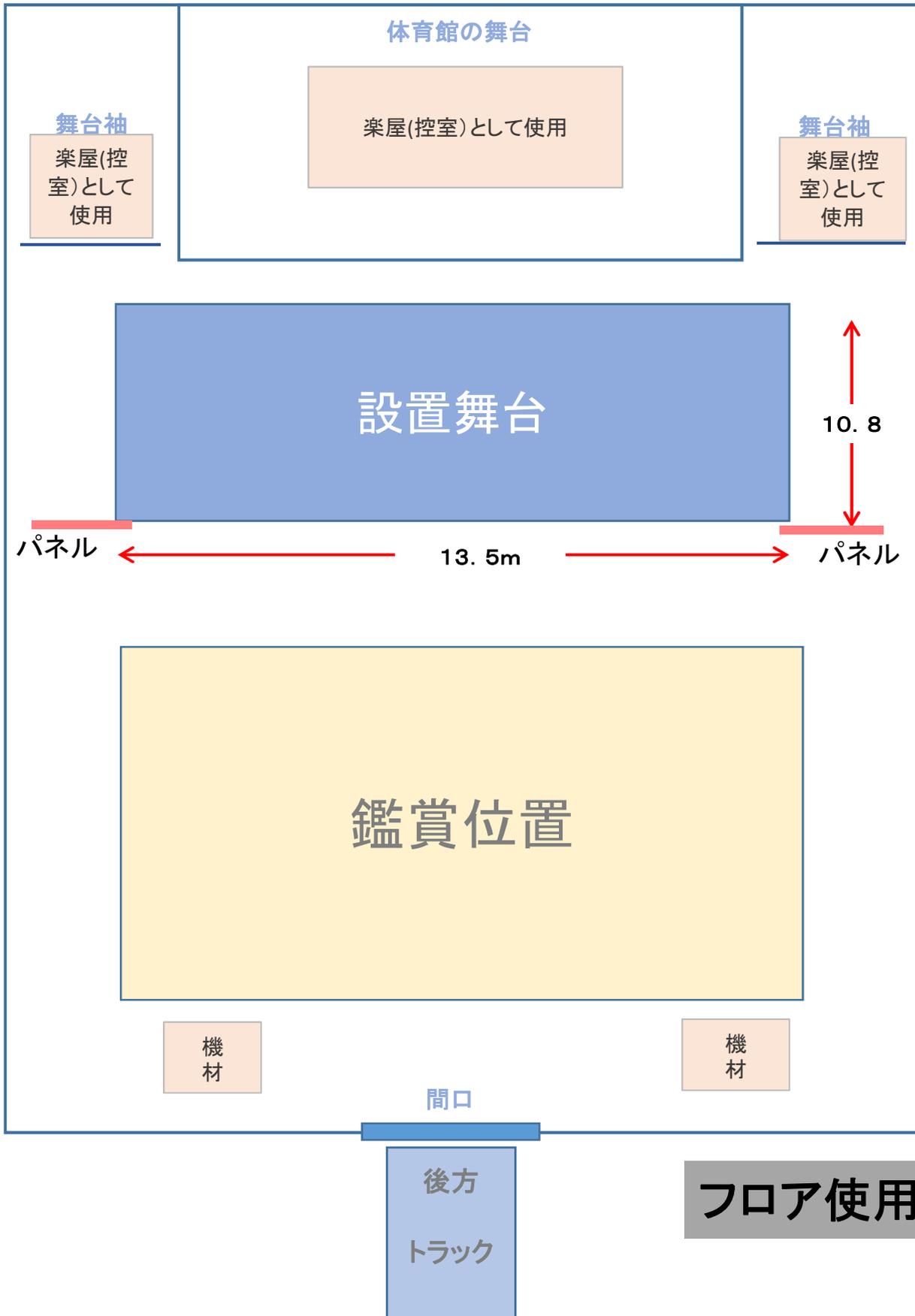
【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

| | | | | | | | | | |
|-------|------------|----|----|-------|------------------|------|---|----|-------|
| ID | H93 | 分野 | 舞踊 | 種目 | バレエ | ブロック | H | 区分 | B区分継続 |
| 公演団体名 | 東京シティ・バレエ団 | | | 制作団体名 | 公益財団法人東京シティ・バレエ団 | | | | |

① 会場条件等についての確認

| 項目 | 応相談 | 必要条件等 | | | | | | | | |
|---------|------------------------|------------------------|----|-----------------|---|------------------------|------------|----------------|------|--|
| 控室について | — | 必要数 * | 不要 | 条件 | — | | | | | |
| 搬入について | 不可 | 来校する車両の大きさと台数 * | | | 4tトラック 2台 | | 電源車 1台 | | | |
| | 不可 | 来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ | | | 4tトラック バン | | | | | |
| | 可 | 搬入車両の横づけの要否 * | | | 要 | | | | | |
| | 可 | 横づけができない場合の搬入可能距離 * | | | 10m以内 | | | | | |
| | 可 | 搬入経路の最低条件 | | | ・出来る限り階段の無い経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。 | | | | | |
| | | 理由 | | | 大道具、音響・照明機材の搬入をするため | | | | | |
| | 可 | 設置階の制限 * | | | エレベーターの設置等があれば2階以上も可 | | | | | |
| | 可 | 搬入間口について 単位:メートル | | 幅 | 1.8 | 高さ | 1.8 | | | |
| WSについて | 可 | 参加可能人数 | | | 120名程度が望ましい | | | | | |
| | 可 | 学年の指定の有無 * | | | あり | 指定学年 * | 中学年 | | | |
| | 可 | 所要時間の目安 単位:分 | | | 90分程度 | | | | | |
| 本公演について | | 会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間 | | | ※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。 | | | | | |
| | 可 | 鑑賞可能人数 | | | 500名程度だが体育館の広さにより増減あり | | | | | |
| | 不可 | 舞台設置場所 * | | | フロア | | | | | |
| | 可 | 舞台設置に必要な広さ 単位:メートル | | 幅 | 13.5 | 奥行 | 10.8 | 高さ | 指定なし | |
| | 可 | 体育館の舞台を使用する場合の条件 | | | 舞台袖スペースの確保 * | | 要 | | | |
| | 可 | | | | 舞台袖スペースの条件 * | | | 袖に荷物が無い状態が望ましい | | |
| | 可 | | | | 緞帳 * | 要 | | バトン * | 不要 | |
| | 可 | 遮光(暗幕等)の要否 * | | | 要 | 理由 | 照明効果を上げるため | | | |
| | — | ピアノの調律・移動の要否 | | 指定位置へのピアノの移動 * | 不要 | ※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。 | | | | |
| | — | | | ピアノの事前調律 * | | 不要 | | | | |
| | 可 | フロアを使用する場合の条件 | | バスケットゴールの設置状況 * | | 格納されていれば可 | | | | |
| | — | 公演に必要な電源容量 | | | 不要 | | ※主幹電源の必要容量 | | | |
| | その他特記事項 | | | | | | | | | |
| | 可 | 電源は電源車から取るため、容量は問いません。 | | | | | | | | |
| 可 | 鑑賞可能人数は体育館の面積により前後します。 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |

会場図面(表記単位:メートル)



フロア使用時

※詳細に関しましては、次のページをご確認ください。

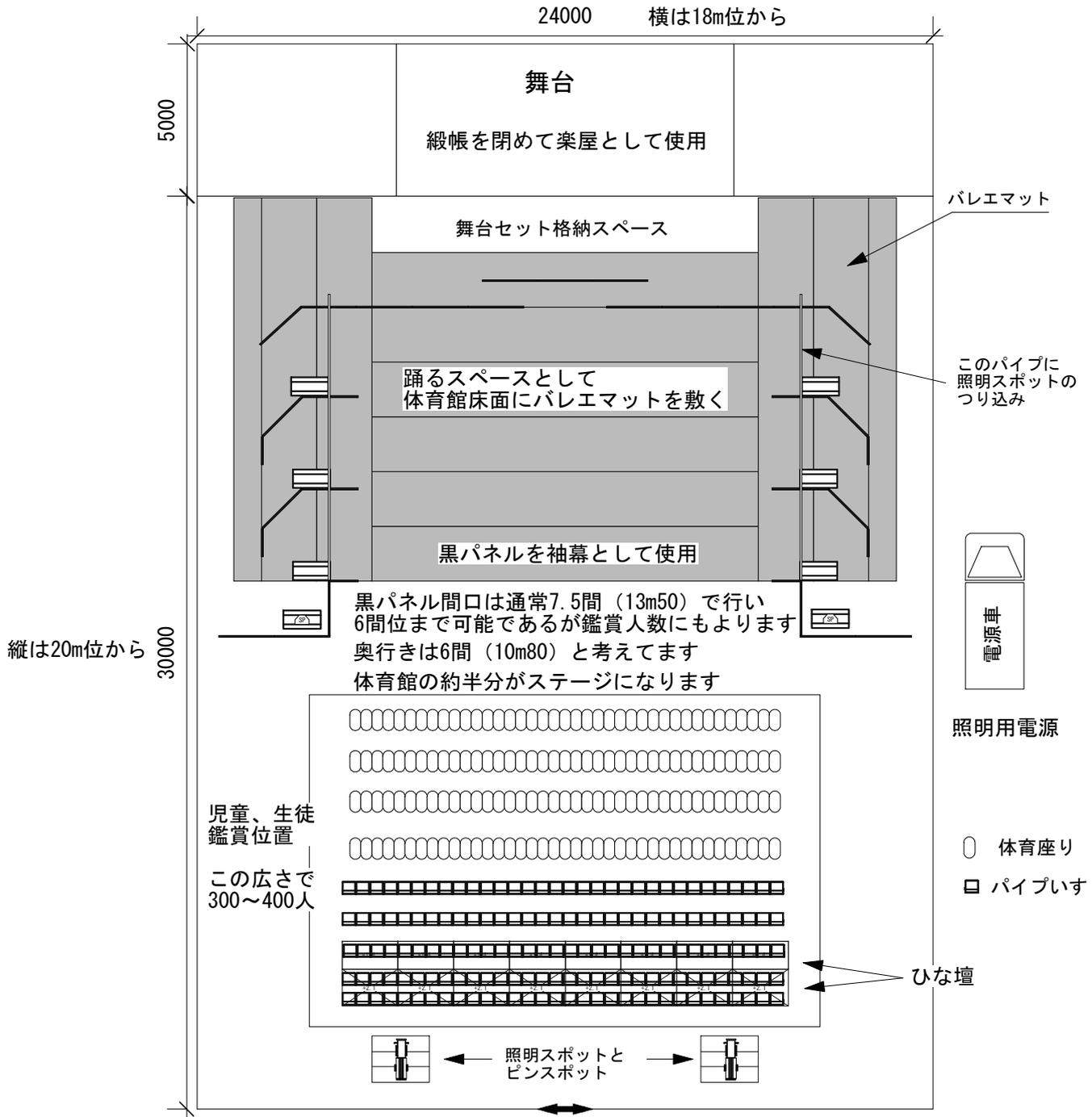
| | | | | |
|-------------------|---|--|----|--|
| 搬入間口について | 幅 | | 高さ | |
| 搬入車両の横づけの要否 | | | | |
| 横づけができない場合の搬入可能距離 | | | | |

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

制作団体名 公益財団法人 東京シティ・バレエ団

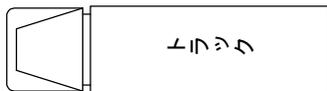
公演団体名 東京シティ・バレエ団

【会場使用図面】

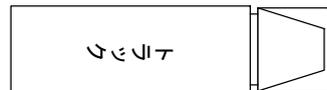


搬入に必要な最低限の広さ

縦 1.8m
横 1.8m



照明、音響4tトラック



大道具4tトラック

文化庁 文化芸術による子供の育成事業 ようこそ、バレエ「コッペリア」の世界へ

東京シティ・バレエ団



<バレエ コッペリア>

ある町に住む娘スワニルダと青年フランツの恋模様にも、
奇怪な老錬金術師コッペリウスと人形コッペリアを巧みに絡ませた魅力に満ちた作品。
踊りで物語が進んでいく面白さと、美しい踊りを楽しんで頂ける内容は、現在までに多くの
お客様にご好評頂き、初演以来 200 回以上上演している人気作品です。

バレエの舞台準備から自分たち
で協力してやっていて、バレエの
公演を見てみると、とても身近に
感じられました。(6年)

搬入・リハーサル

お手伝いの児童・生徒さんと共に、舞台設営に取り掛かります。
公演で使用する道具の飾り付けやセッティング、華やかな舞台衣装のアイロンがけ
なども体験してもらいます。
後ろの方までバレエを楽しんでいただけるよう、舞台スタッフが客席の設営を致します。



*第1部*バレエってなあに? ~バレエを楽しもう!~

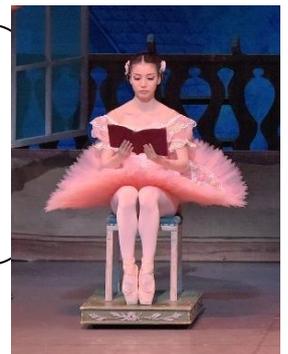
解説があったのでとても
わかりやすく、バレエにつ
いていろいろ知ることが
できました。(6年)

バレエの歴史や用語、練習風景を解説付きで鑑賞します。
マイムのコーナーでは、児童・生徒数名の方に出演者と一緒に
披露してもらいます。

*第2部*バレエ「コッペリア」より<コッペリウスの仕事部屋>

さいしょはぜんぶほんもの
のにぎょうみたいで、
すごかった。(1年)

スワニルダがコッペリウスの仕事部屋に忍び込む場面から
ご覧頂きます。
様々な道具や人形がライトに照らし出されると、
体育館に子ども達の歓声が響きます。



わたしはさいごにかんどうして
目がうるうるしました。(1年)

*第3部*バレエ「コッペリア」より第3幕<鐘の祭り>

優雅な「時のワルツ」や、力強い「戦いの踊り」など、
華やかな踊りの数々をご覧頂き、バレエの美しさをたっぷりと
ご覧いただけます。

VI 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目 (いずれかに○をつけて下さい。)

| | |
|--------|--|
| 【音 楽】 | 合唱, オーケストラ等, 音楽劇 |
| 【演 劇】 | 児童劇, 演劇, ミュージカル |
| 【舞 踊】 | バレエ, 現代舞踊 |
| 【伝統芸能】 | 歌舞伎 <input checked="" type="radio"/> 能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸 |

申請する区分に, ○を付してください。

 A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

| | | | |
|-----------------------|---|---|--------------|
| ふりがな 制作団体名 | いっばんざいだんほうじん のうがくどうかしょうかく ----- 一般財団法人 能楽堂嘉祥閣 | | |
| 代表者職・氏名 | 代表理事 井上周久 | | |
| 制作団体所在地 (最寄り駅・バス停) | 〒604-0866 京都府京都市中京区西方寺町 160-1 (最寄り駅:地下鉄丸太町駅) | | |
| 電話番号 | 075-222-0618 (緊急連絡先 080-6124-0398 吉田方) | F A X 番号 | 075-256-2883 |
| ふりがな 公演団体名 | いっばんざいだんほうじん のうがくどうかしょうかく ----- 一般財団法人 能楽堂嘉祥閣 | | |
| 代表者職・氏名 | 代表理事 井上周久 | | |
| 公演団体所在地 (最寄り駅・バス停) | 〒604-0866 京都府京都市中京区西方寺町 160-1 (最寄り駅:地下鉄丸太町駅) | | |
| 制作団体 設立年月 | 昭和 35 年 8 月 | | |
| 制作団体 組織 | 役 職 員 | 団体構成員及び加入条件等 | |
| | 代表理事:井上周久 業務執行理事:浦部好弘 | 構成員人数:155 人 加入条件:加入希望者のうち代表理事の承認を得た者 | |
| 事務体制の担当 | <input checked="" type="radio"/> 専任 ・ 他の業務と兼任 | 本事業担当者名 | 井上由記子、吉田麻衣 |

| | | | |
|-------------------|---------|--------|-----------|
| 経理処理等の 監査担当の有無 | (有) ・ 無 | 経理責任者名 | 井川正隆(税理士) |
|-------------------|---------|--------|-----------|

| | | | |
|-------------------------|--|---|------------|
| 制作団体沿革 | <p>・京観世 およそ400年程前・江戸時代、関西・特に京都では能の詞章「謡」がたいへん流行りました。その素謡を教える師範にあたった、岩井・浅野・菌・林・井上の五家を「京観世五軒家」と称し、昭和の時代まで隆盛を極めました。</p> <p>・井上家 当財団法人の理事長家である井上家は、菌家の高弟で、五代目・嘉助の子息は菌家の養嗣子となります。明治維新後、菌家が途絶えると井上家はその芸系を継ぎます。以後、能楽界において中心的な役割を担っています。</p> <p>当代、11代目井上裕久は、京都で活動している能楽師が加入する京都能楽会理事長を務め、また全国の能楽師が加入する能楽協会の本部理事も務め、京都は勿論のこと、全国にて能楽の普及および発展の為に活動しています。加えて、京都市観光協会理事として、能楽のみならず日本文化の存続と普及、国際交流に携わり、国立能楽堂の講師として、次世代の育成にも力を入れています。</p> <p>【一般財団法人 能楽堂嘉祥閣の沿革】 大正14年(1925年) 9代目井上嘉介により、旧嘉祥閣舞台を建設。 昭和35年(1960年)財団法人 松声会 設立。 昭和36年(1961年)第二次世界大戦の強制疎開によって失った舞台を、能楽堂「嘉祥閣」として再建。 平成25年(2013年)一般財団法人 能楽堂嘉祥閣に移行し、能楽の育成、普及および発展などを目指した事業を行う。</p> | | |
| 学校等における 公演実績 | <p>50年以上に亘り、年間複数回の公演と、学校へのワークショップ等多数実施。</p> <p>平成29年 嘉祥閣における公演会 5回、学校への能楽公演 4校</p> <p>平成30年 嘉祥閣における公演会 5回、学校への能楽公演 10校</p> | | |
| 特別支援学校に おける公演実績 | 平成29年 能楽公演1校。 | | |
| 参考資料の 有無 | A | 申請する演目のチラシパンフレット等 | (有) ・ 無 |
| | | 申請する演目のDVDまたはWEB公開資料 | (有) ・ 無 |
| | | ※公開資料有の場合 URL | DVDを提出します。 |
| | | ※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード | ID: PW: |
| | Aの 提出が 困難な 場合 | 今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料 | 有 ・ 無 |
| | | ※公開資料有の場合 URL | |
| ※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード | | ID: PW: | |

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 一般財団法人 能楽堂嘉祥閣】

| | | | | |
|---|--|--|---|--|
| 対象 | 小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年) ・ 中学生 | | | |
| 企画名 | 絵にかいてみよう 能の世界 | | | |
| <p>本公演演目</p> <p>原作／作曲 脚 本 演出／振付</p> | <p>能「鶴」と狂言「柿山伏」</p> <p>[1部] 1.始まりのご挨拶と話 6分 2.狂言「柿山伏」実演 17分 3.囃子「獅子」実演 3分 4.囃子のリズムに合わせて校歌斉唱 2分 5.囃子の説明 8分 6.小鼓体験 6分 7.狂言「三番三(さんばそう)」実演 3分 ～休憩 5分～ (学校の休憩時間にあわせて)</p> <p>[2部] 8.舞発表 2分 9.話 2分 10.能「鶴」実演 38分 11.終わりのご挨拶 3分 (公演時間:休憩時間を含め計95分)</p> |  |  |  |
| 著作権 | - 制作団体が所有 | | - 制作団体以外が所有する事項が含まれる | - (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無 |
| 演目概要 | <p>1.始まりのご挨拶 日本人が何千年の間大切にしてきた儒教・孔子の教えに基づき、「礼に始まり礼に終わる」を实践する意味で、まずは挨拶より始めます。</p> <p>その後、扇の最後の仕上げ(紙を折る)を全員で行い、学校側に選んでもらった扇の優秀作の発表を行います。</p> <p>その後、後の実演のイメージがわきやすいよう、狂言の実演演目である「柿山伏」の話をします。</p> | | | |
|  | | | | |

2. 狂言「柿山伏」の実演

[あらすじ]修行を終えて故郷に帰る山伏は、空腹のあまり途中にある柿の木に登って実を食べます。それを見つけ腹を立てた柿の木の持ち主は、山伏をからかい、それにより山伏は柿の木から飛び降りることになってしまいます。



体を痛めた山伏が今度は腹を立て、看病せよと祈り、逆襲に出ます。そして…。



3. 囃子「獅子」実演 能楽の中で一番といてもいいほど迫力のある「獅子」を実演し、その前に実演した狂言とはまた違った雰囲気を感じていただく。



4. 校歌 日本人は何千年に渡り、七五調の言葉を美しい詞としてきました。学校の校歌も七五調を重んじて作られている学校が多いです。その学校の校歌に囃子を入れて行うことにより、七五調を理解してもらい、日本語の持つ美しさに気付いてもらおうと思います。また子供たち全員に歌ってもらい、そのリズムに合わせて囃子を行うことで、囃子に親近感を持ってもらいます。

5. 囃子の説明 能楽の中で使用する楽器“囃子”。笛・小鼓・大鼓・太鼓について、どのような素材が使われ、どのような仕組みなのか、またその使用方法や演奏方法、それぞれの特徴などについて説明します。



6.小鼓体験 児童・生徒全員に“エア－小鼓”にて、小鼓の構え方、打ち方を教え、演奏の真似を行ってもらいます。



7.狂言「三番三」実演 先の“6.小鼓体験”を児童・生徒全員で行いつつ、他の囃子も加わり、狂言「三番三」の一部を紋付袴姿で実際に演じます。児童一人一人が演者の一員となり、全員で鼓を打っている中、他の囃子も加わり、狂言「三番三」を演じる事により、狂言や囃子をより身近に感じてもらい親しんでいただきます。



【 狂言「三番三」 とは】

能「翁」で翁の祝言の舞に続けて狂言方が舞う舞。内容は魂振鎮魂をして五穀豊穡を祈り、感謝をささげるものである。



8.舞発表 代表者数名は舞台上がってもらい、他の児童・生徒は自分の場所で、ワークショップの時に行った舞体験を再び行ってもらう。

9.話 ワークショップで既にあらすじのコミック版を配り解説を行っていますが、再度児童・生徒達に能「鶴」について興味を持ってもらう為、話をします。

また、実演を行う際、謡の共演のタイミングや姿勢なども説明します。

10. 能「鶴」 実演

[あらすじ] 三熊野に参詣した僧(ワキ)が、都に上がる途中、蘆屋の里にて一夜を明かしていると、うつほ舟に乗った者(前シテ)が現れたので、名を訪ねると、頼政の矢先にかかって死んだ鶴の亡魂と答え、その時の事を語り、弔いを乞い、消え失せる。一中入一僧が読経していると、鶴(後シテ)が現れ、頼政に退治された事を語り、なお回向を乞い、消え失せる。

※後述のワークショップ実施形態及びワークショップ説明内に、あらすじを詳しく説明したコミック版を載せております。(実際にワークショップの際に配布する資料です。)



舞台上で実際に演者が謡う台詞を書いた“詞章”を、実演時に資料としてみなさんにお配りします。行う演目の詞章は、通常流儀によって言葉が変わります。例えば、観世流ですと、ワキ方・狂言方は流儀が違うので、詞章を見ても実際に演じる時には多少言葉が違うという問題が起こるのですが、今回資料として配布する別紙の詞章は、すべての台詞をそれぞれの流儀の言葉に直して作成してあるため、別紙を観ながら舞台をみる児童・生徒たちが、その時々のシーンを演じているのか理解しやすく、現代劇により近い感覚で楽しみながらご覧いただく事ができます。





11. 終わりのご挨拶 公演の最後に児童・生徒たちの感想を聞き、質問に答える時間を設け、終演とします。

演目選択理由

狂言「柿山伏」…狂言を代表する演目の一つで、小学校の教科書にも掲載されており、ストーリーも簡潔で分かりやすいため。

能「鶴」…平家物語や源平盛衰記などに登場する、日本を代表する妖怪・もののけの一種である鶴。

古くは「ゲゲゲの鬼太郎」や「仮面ライダー」、最近では「BLEACH」や「刀剣乱舞」といった人気のマンガやアニメなどの中で、キャラクターや劇中に登場する刀のモチーフになるなど、身近なところでその姿を見ることが出来ます。

また、近年子供達にとっても馴染みのある「妖怪ウォッチ」(※参考:関西地方の A 小学校にて 604 人中 581 人が“妖怪ウォッチを知っている”とのアンケート結果)においても鶴をモチーフにしたキャラクター妖怪「ぬえ」が登場し、同じくアンケートによると全体の 62% の児童が実際にこの「ぬえ」を知っているとの結果でした。

このように多くの子供達がよく知る「鶴」が登場する演目を題材にすることで、子供達が今楽しんでいる事柄にもルーツがあり、日本文化と深い関わりがあるという事を知ってもらい、より親近感を持って能の舞台を見てもらうことを一番のねらいとします。

また、この演目のクライマックスには派手な型があり、子供達にも楽しんで見ていただけます。なお、半能という形でクライマックスのみをご覧ください事も出来ますが、観世流においては現行曲 210 曲中 70% の 147 曲が、前場面と後場面に分かれており、同じ演者が早着替えにより違う衣装を着て演ずる姿を見てもらう為、あえて半能ではなく、前場面と後場面の両方を見ていただける形の実演に致しました。

児童・生徒の共演，参加又は体験の形態

- ・囃子のリズムに合わせて校歌斉唱(全員)
- ・小鼓体験(全員)
- ・狂言「三番三」実演時の小鼓(全員)

| | | | |
|----------------------|---|---------------|---|
| | <p>・舞発表(全員)</p> <p>・能「鶴」実演時の謡(全員) ……ワークショップ時に稽古した謡を覚えてもらい、皆様にお配りした扇を持って、実演時には実際に演者と一緒に謡う。</p> <p>以上の通り、一部の人だけではなく、全員が体験・共演・参加する事の出来る形態で公演を行い、全員が能楽について触れて、より身近なものとして感じてもらい楽しんでもらう。</p> | | |
| 出 演 者 | <p>シテ方:<u>井上裕久(井上周久)</u>、<u>佐伯紀久子</u>、<u>勝部延和(田中延和)</u>、<u>吉浪壽晃</u>、<u>浅井通昭</u>、<u>寺澤幸祐</u>、<u>浦部幸裕</u>、<u>味方團</u>、<u>松井美樹(木村美樹)</u>、<u>吉田篤史</u>、<u>松野浩行</u>、<u>宮本茂樹</u>、<u>鷺尾世志子(橋本世志子)</u>、<u>河村和貴</u>、<u>河村浩太郎</u>、<u>藤井丈雄(勇海 丈雄)</u>、<u>樹下千慧</u>、<u>浦田親良</u>、<u>寺澤拓海</u> より 9 名</p> <p>ワキ方:<u>岡充</u>、<u>原陸</u> より 1 名</p> <p>笛方:<u>森田保美(西村保美)</u>、<u>左鴻泰弘</u> より 1 名 小鼓方:<u>久田陽春子(寺澤陽春子)</u>、<u>林大和</u>、<u>林大輝</u> より 1 名 大鼓方:<u>石井保彦(増井保彦)</u>、<u>渡部諭</u> より 1 名 太鼓方:<u>井上敬介</u>、<u>中田弘美</u> より 1 名</p> <p>狂言方:<u>茂山千五郎(茂山正邦)</u>、<u>茂山茂</u>、<u>茂山逸平</u>、<u>茂山童司</u>、<u>島田洋海</u>、<u>井口竜也</u>、<u>鈴木実</u>、<u>山下守之</u> より 2 名</p> <p>※____は重要無形文化財保持者(総合認定)であり、その他出演者も、能楽界の第一線で活躍している経験豊かな能楽師です。</p> | | |
| 公演出演予定者数 (1公演あたり) | <p>出 演 者: 16 名 スタッフ: 0 名 合 計: 16 名</p> | 機 材 等 運搬方法 | <p>積載量 0.75 t 車 長 4.285 m 台 数 1 台</p> |

| | | | | | | |
|--|---|--------------|-------------|-----|-------------|-------|
| 公演に当たっての会場条件 | 実施条件等確認書①をご確認ください。 | | | | | |
| 会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安 | 前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間(1 時間程度) | | | | | |
| | 到着 | 仕込み | 本公演 | 内休憩 | 撤去 | 退出 |
| | 12:30 | 12:30～ 13:30 | 13:30～15:05 | 5 分 | 15:05～16:00 | 16:00 |
| ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。 | | | | | | |
| 児童・生徒の参加可能人数 | ワークショップ | 1～1,500 人 | | | | |
| | 本公演 | 1～1,500 人 | | | | |
| ワークショップ実施形態及び内容 | <p>1.能の話 10 分</p> <p>2.コミック版「鶴」解説 10 分</p> <p>3.扇の作製 25 分</p> <p>～休憩 5 分～(学校の休憩時間に合わせて)</p> <p>4.舞体験 25 分</p> <p>5.謡体験「鶴」 20 分 (実施時間:休憩時間を含め計 95 分)</p> <p>=====</p> <p>扇を自分で作成する事で、感性・創造性を育み、子供達の個性や能力を発見し、さらに同じグループの児童同士で助け合う事で、コミュニケーションの活性化を図ります。</p> <p>また、本公演当日に優秀作の発表を行う事は他者理解を深めることに繋がります。</p> <p>さらに、本物の舞台である本公演を間近に見て体験する事によって、日本の未来を担う子供達に CD の音源や DVD の映像などでは得られない感性を伸ばしていただき、想像力・思考力や創造力を豊かにしてまいります。</p> <p>ワークショップでの解説で能と狂言の違いなどを知ってもらった上で、本公演時にそれぞれの実演を行う事によって、今後の学校教育の指導の中で役立てていただきたいです。同じく、挨拶や「礼に始まり礼に終わる」という言葉をご理解いただき、教育現場においても役立てていただきたいと思ます。</p> <p>そして何より、能楽師の能力への関心を高め、能楽に触れる事を通して日本文化の豊かさを改めて知り、日本人であることに誇りを持ち、ゆくゆくは未来の日本文化を支える力になりたい、と思ってもらえるように、本事業に取り組んでいきます。</p> <p>=====</p> <p>1.能の話 子供達に能楽について知ってもらう為、まずは簡単に能について、歴史も含めて話をします。</p> | | | | | |
|  | | | | | | |

2.コミック版「鶴」解説 本公演で実演する能「鶴」のあらすじをコミカライズし、子供用に編集したものを児童・生徒に配布し、使われている難しい言葉を説明しながら、皆に読んでもらう。普通にあらすじを配るよりも理解が増し、より親しみやすくなります。
 ※実際に配布する“コミック版「鶴」”は以下にサンプルを掲載します。

【「鶴」あらすじコミックサンプル①】



| | | | | | |
|---|--|---|--|--|-------------|
|  <p>●源頼政（みなものよりまさ） 弓の達人。 鶴退治で有名。</p> |  <p>●間狂言 里人 芦屋の里人。旅の僧を心配してくれる。</p> |  <p>●ワキ 旅僧 全国を修行して回っている旅の僧。</p> |  <p>●後シテ 鶴 顔は猿、手足は虎、尾は蛇の妖怪。源頼政に退治された。</p> |  <p>●シテ（主人公） 前シテ 舟人 夜な夜な舟に乗って現れる。正体は鶴の亡霊。</p> | <p>登場人物</p> |
|---|--|---|--|--|-------------|

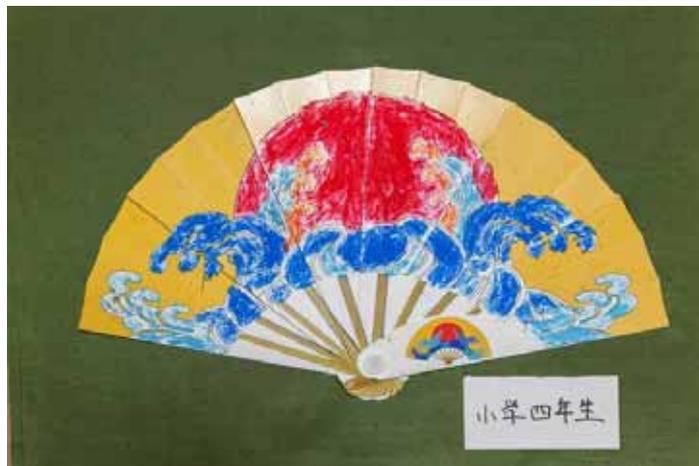


【「鶴」あらすじコミックサンプル②】



3.扇の作成

・児童・生徒全員に配布した白紙の扇に、色鉛筆やクレヨンなどで、線画の太陽や波に色を塗り、余白に自分の名前を書いてもらう。



・本公演までに鶴を想像、または調べてもらい、鶴の絵を描いてもらう。



- ・本公演時に、折り線に従って扇に折り目を付け、最後の仕上げをしてもらう。
- ・事前に優秀作を先生方に選んでおいてもらい本公演時に全員の前で発表する。



4. 舞体験

- ・児童・生徒全員に自作の扇を持ってもらい、まずは扇の開け方・閉め方を知ってもらう。



・児童・生徒全員に構えを覚えてもらい、能の歩き方である“すり足”を覚えてもらう。



・児童・生徒全員に本公演で行う型(別紙本公演資料詞章の2ページ目・終りの2行の部分)を稽古して覚えてもらう。



※なお、本公演時にも舞体験を少し行い、実演・能「鶴」の時に、覚えた型を見てもらう。

5. 謡体験「鶴」

- ・児童全員に扇を持ち、構え方・謡い方を知ってもらう。
- ・本公演時の実演・能「鶴」の謡の一部を稽古して覚えてもらう。
- ・本公演時まで覚えてもらい実演を行う際一緒に謡ってもらう。



鶴ぬえ

さてひー をともし、 よくみれば。
 かしらー はさる おはくちなわ。
 あしてー はとらの、 ごとくにて。
 なくこえぬえにー、 にたりけりんー。
 おそろしー なんも
 おろか なるうー かた ちー、 なりけりー。

さて火を灯しよく見れば。
 頭は猿尾は蛇。
 足手は虎の如くにて。
 泣く聲鶴に似たりけり。
 恐ろしなども
 疎かなる形なりけり。

はるかにてらせー。やまー のはのお。
 はるかにてらせーえ。
 やー まのはのー つきとー ともにー。
 かー いげくんもー いりにけり
 かー い げつ とー と もにー、 いりにけりー。

遥かに照らせ。山の端の。
 遥かに照らせ。山の端の
 月と共に。
 海月も入りにけり。
 海月と共に入りにけり。

| | |
|------------------------------------|--|
| <p>ワークショップ 実施形態の意図</p> | <p>本事業におけるワークショップは、能楽への“気づきのプログラム”として非常に重要なプログラムだと考えます(また本公演とワークショップは互いに“連動”したものであり、本公演では、能楽の鑑賞体験だけでなく、ワークショップの成果を組み入れた構成とします)。能楽の一番の分かりづらさは、当時の「言葉遣い」と「立ち居振る舞い」。この2つの要素を、現代の子供たちに馴染み深い方法で学習・体験してもらうことは、能楽への気づきとして、子供たちの創造力を刺激し、子供たちなりの能楽観の醸成に役立つと考えます。</p> <p>(1) 能楽のルールを知る 能や狂言には、現代の表現の仕方とは違う所作(ルール)があります。この能楽特有のルールについて知ることが、能楽理解の第一歩。</p> <p>(2) コミックで作品世界を知る テキストに加え、絵やオノマトペ的な表現も可能なコミックは、総合芸術である能楽作品の世界感を直観的に理解させる教材として最適です。 また、引き続いて行う扇の作成において、子供達が扇に描く「鶴」を想像するヒントにもしてもらいたいです。</p> <p>(3) オリジナルの扇を作ってみる 扇は、日本独自の文化で1,300年以上の歴史があります。ですが昨今、持ち方や開き方が分からない人が多数いらっしゃいます。児童全員に扇を持ってもらい、持ち方や開き方を覚えてもらい、扇という日本の生んだ文化を知ってもらおうと思います。</p> <p>また、扇(本公演時、能「鶴」でシテ(主役)が持つ、負修羅扇-浪に太陽が沈む扇-)に自分で色をつける事により、能の扇についても勉強してもらいます。 さらに、鶴の絵を描くにあたり、“頭は猿、尾は蛇、足手は虎”という日本を代表する妖怪を自分で描くことで、色々と自分で想像してみたり、また高学年ならば鶴について調べたりすることで、児童の想像力や探究心を養うことにつながります。 この扇を1本70円程度の安価で用意が出来、物が残る事によって一層子供達の心にこの事業の思い出が残り、未来に役立ちます。</p> <p>(4) 実際に能の舞を舞ってみる 本公演時に行う鶴の舞の型を稽古することによって、能の実演時には、より興味を持って舞台を鑑賞してもらい、日本の文化の豊かさを体感してもらいます。</p> <p>(5) 声に出して謡ってみる さらに謡を稽古し、本講演時に実際に一緒に謡うことで演者のひとりとして舞台をつくる一員となり、児童の芸術・芸能に必要な能力を高めることにつながります。</p> |
| <p>特別支援学校での実施における工夫点</p> | <p>通常学級と同じ内容での実施を基本としていますが、開催校の先生方と相談の上、能楽を楽しんでもらえるように、手取り足取りで体験時間をより長くするなどの工夫をさせていただきます。</p> |
| <p>実施可能時期 ◇はB区分申請 団体のみ</p> | <p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p> |

ぬえ

鶴

前シテ：舟人 後シテ：鶴 ワキ：旅僧 間狂言：里人

ワキ「是は諸国一見の、僧にて候。我この程は、三熊野に参り一七日参籠、申して

候。又これより西国修業と、志候。

急ぎ候程に。津の国芦屋の里に、着きて候。日の暮て候程に。宿を借り泊らば

やと、思ひ候。芦屋の在所の人の、渡り候か。」

間狂言「在所の者と御尋ねは。如何様なる御用にて候ぞ。」

ワキ「行暮れたる、修行者にて候。一夜の宿を、御貸し候え。」

間狂言「御宿は安き事にては候えども。此の所の大法にて。方々の様なる往来の御

僧に。宿貸す事固く禁制にて候間。あれに見えたる洲崎の御堂へ御上がりあつ

て。御泊まり候え。」 ワキ「あの御堂は方々に借るまでも、なく候。」

間狂言「ノウノウ御僧。その御堂へは夜な夜な化生の者が出ると申す間。心得て御

泊まり候え。」

ワキ「法力をもつて泊まる間、苦しからず候。」

間狂言「イヤ、ねそいことを申す御僧じゃ。」

ワキ「何と見申せども更に人間とは、見えず候。如何なる者ぞ名を、名のり候え。」

シテ「これは、近衛の院の御宇に。頼政が、矢先にかかり。命を失ひし鶴と申しし者の、

亡心にて候。その時の有様くわしく語つて、聞かせ申し候べし。跡を弔おて、賜

わり候え。」

ワキ「さては鶴の、亡心にて候か。その時の有様、御物語り候え。跡を弔おて、参ら

せ候べし。」

地謡「さては近衛の院の御在位の時。仁平の頃おい。主上夜な夜な御悩あり。」

シテ「矢取つて打ち番い。」

地謡「南無。八幡大菩薩と。心中に祈念して。よつ引きひよおと放つ矢に手応えして

はたと当る。得たりや。おとおと矢叫びして。落つる所を猪の早太つと寄り

て続けさまに。九刀ぞ刺いたりける。さて火を灯しよく見れば。頭は猿

尾は蛇。足手は虎の如くにて。鳴く聲鶴に似たりけり。恐ろしなんども

疎かなる形なりけり。げにや他生の縁ぞとて。」

シテ「時もこそあれ今宵しも。」 地謡「亡き世の人に合竹の。」

シテ「棹取り直しうつお舟。」 地謡「乗ると見えしが。」 シテ「夜の波に。」

地謡「浮きぬ沈みぬ見えつ隠れ絶え絶えの。いくえに聞くは鶴の聲。恐ろしや凄し

や。あら恐ろしや凄まじや。」 — 中入 —

間狂言「最前往来の御僧の。宿借りたき由申されて候が。此の所の大法にて候間。

洲崎の御堂を御教え申して候が。ちと御見舞い申さばやと存ずる。イヤ、夜前

の御僧は。未だこれに御候よ。」

ワキ「方々は最前宿貸し給わぬ、人にて候か。」

間狂言「尤も御宿は参らせたくは候えども。此の所の大法にて候間。是非に及ばず

候。」

ワキ「御見舞い、祝着申して候。まず近お、御入り候え。物をたずね申したき、事の

候。」

間狂言「畏まつて候。さて御尋ねなされたきとは、如何様なる御事にて候ぞ。」

ワキ「思し召し寄らざる、申し事にて候えども。今宵舟人の体にて不思議なる者来

たりて候間。いかなる者ぞと、尋ねて候え。古しえ、近衛の院の御宇に。頼政

が矢先にかかつて、身を亡せし。鶴と申すものの亡身なる由、申されその後。ま

たうつお舟に乗ると見て姿を、見失いて候よ。」

間狂言「言語道断。不思議なる事を仰せ候ものかな。さては夜な夜な御堂へ上がる

化生の者は。その鶴の亡心にて御座有ろうずると存じ候。左様に候わば。暫く

此の所に御逗留成され、鶴の跡をも。懇ろに弔うて御通りあれかしと存じ

候。」

ワキ「我等も、左様に存じ候間。有難き御経をもつて弔い、申そおずるにて候。」

間狂言「それは近頃にて候。又御用の事候わば。重ねて仰せ候え。」

ワキ「頼み申し候。」 間狂言「心得申して候。」

ワキ「御法の聲も浦波も。御法の聲も浦波も。みな實相の道廣き。法を受けよと夜

と共に。かの御経を。読誦するこの御経を読誦する。」

ワキ「一佛成道觀見法界。草木國土悉皆成佛。一佛成道觀見法界。草木國土悉

皆成佛。」

シテ「有情非情。皆俱成佛道。」

ワキ「頼むべし。」 シテ「頼むべしや。」

地謡「五十二類も我同性の。涅槃に引かれて。眞如の月の夜汐に浮かみつここれま

で来れり。ありがたや。」

ワキ「不思議やな目前に来たれる者を見れば。面は猿足手は虎。聞きしに変らぬ

変化の姿。あら恐ろしの事やな。」

シテ「さては悪心外道の変化となつて。佛法王法の障りとならんと。王城ちか

く遍満して。東三條の林頭に暫く飛行し。丑三つばかりの夜な夜なに。御

殿の上に飛び下れば。」

地謡「即ち御惱頻りにて。玉體を悩まして。怯え魂消らせ給お事も我が為す業よ

と怒りをなししに。思いも寄らざりし頼政が。矢先に当れば変身失せて。落々

磊々と。地に倒れて。忽ちに滅せし事。思えば頼政が矢先よりは。君の。天罰

と。当りけるよと今こそ思い知られたれ。その時。主上御感なつて。獅子王と

云う御劍の。頼政に下されけるを宇治の。大臣賜わりて。階を下り給おに

折節郭公訪れければ。大臣取りあえず。」

シテ「ほととぎす。名をも雲居に。揚ぐるかなと。仰せられければ。」

地謡「頼政。右の膝をついて。左の袖を廣げ月を少し目にかけて。弓張月の。いるにか

せてと。仕り御劍の賜わり。御前の。罷り帰れば。頼政は名を揚げて。我は。

名を流すうつお舟に。押し入れられて。淀川の。淀みつ流れつ行く末の。鶴殿同

じ蘆の屋の。浦曲の浮洲に流れ留つて。朽ちながらうつお舟の。月日も見えず。

冥きより冥き道にぞ入りにける。遙かに照らせ。山の端の遙かに照らせ。

山の端の月と共に。海月も入りにけり。海月と共に入りにけり。」

No.2 別紙メンバー表 (1/4)

【公演団体名：一般財団法人 能楽堂嘉祥閣】

| |
|--|
| <p>井上 裕久(井上 周久) (昭和 30 年生まれ)</p> <p>能楽師 シテ方観世流準職分</p> <p>重要無形文化財保持者(総合認定)</p> <p>(公益社団法人)能楽協会 理事</p> <p>(公益社団法人)京都観世会 専務理事</p> <p>(公益社団法人)京都市観光協会 理事</p> <p>(一般財団法人)能楽堂 嘉祥閣 代表理事</p> <p>(一般社団法人)京都能楽会 理事長</p> <p>国立能楽堂三役養成事業 講師</p> |
| <p>佐伯 紀久子 (昭和 21 年生まれ)</p> <p>能楽師 シテ方観世流準職分</p> <p>重要無形文化財保持者(総合認定)</p> |
| <p>勝部 延和(田中 延和) (昭和 23 年生まれ)</p> <p>能楽師 シテ方観世流準職分</p> <p>重要無形文化財保持者(総合認定)</p> |
| <p>吉浪 壽晃 (昭和40 年生まれ)</p> <p>能楽師 シテ方観世流準職分</p> <p>重要無形文化財保持者(総合認定)</p> <p>(公益社団法人)能楽協会京都支部 常議員</p> |
| <p>浅井 通昭 (昭和 39 年生まれ)</p> <p>能楽師 シテ方観世流準職分</p> <p>重要無形文化財保持者(総合認定)</p> <p>(一般社団法人)京都能楽会 理事</p> |
| <p>寺澤 幸祐 (昭和 44 年生まれ)</p> <p>能楽師 シテ方観世流準職分</p> <p>重要無形文化財保持者(総合認定)</p> <p>(公益社団法人)能楽協会大阪支部 常議員</p> |
| <p>浦部 幸裕 (昭和 42年生まれ)</p> <p>能楽師 シテ方観世流準職分</p> <p>重要無形文化財保持者(総合認定)</p> |
| <p>味方 團 (昭和 44 年生まれ)</p> <p>能楽師 シテ方観世流準職分</p> <p>重要無形文化財保持者(総合認定)</p> |
| <p>松井 美樹(木村 美紀) (昭和 44 年生まれ)</p> <p>能楽師 シテ方観世流準職分</p> |

No.2 別紙メンバー表 (2/4)

【公演団体名：一般財団法人 能楽堂嘉祥閣】

| |
|--|
| 吉田 篤史 (昭和 49 年生まれ) 能楽師 シテ方観世流準職分 重要無形文化財保持者(総合認定) |
| 松野 浩行 (昭和 49 年生まれ) 能楽師 シテ方観世流準職分 |
| 宮本 茂樹 (昭和 50 年生まれ) 能楽師 シテ方観世流準職分 |
| 鷲尾 世志子(橋本 世志子) (昭和 50 年生まれ) 能楽師 シテ方観世流準職分 |
| 河村 和貴 (昭和 54 年生まれ) 能楽師 シテ方観世流準職分 |
| 河村 浩太郎 (昭和 60 年生まれ) 能楽師 シテ方観世流準職分 |
| 藤井 丈雄(勇海 丈雄) (昭和 50 年生まれ) 能楽師 シテ方観世流師範 |
| 樹下 千慧 (昭和 62 年生まれ) 能楽師 シテ方観世流研修生 |
| 浦田 親良 (平成 8 年生まれ) 能楽師 シテ方観世流研修生 |
| 寺澤 拓海 (平成 11 年生まれ) 能楽師 シテ方観世流 大阪能楽養成会本科生 |
| 岡 充 (昭和 60 年生まれ) 能楽師 ワキ方高安流 |
| 原 陸 (平成 9 年生まれ) 能楽師 ワキ方高安流 |
| 森田 保美(西村 保美) (昭和 38 年生まれ) 能楽師 笛方森田流 重要無形文化財保持者(総合認定) (公益社団法人)能楽協会京都支部 常議員 (一般社団法人)京都能楽会 理事 |
| 左鴻 泰弘 (昭和 41 年生まれ) 能楽師 笛方森田流 重要無形文化財保持者(総合認定) |

No.2 別紙メンバー表 (3/4)

【公演団体名：一般財団法人 能楽堂嘉祥閣】

| |
|---|
| 久田 陽春子(寺澤 陽春子) (昭和 48 年生まれ) 能楽師 小鼓方大倉流 重要無形文化財保持者(総合認定) |
| 林 大和 (昭和 57 年生まれ) 能楽師 小鼓方幸流 |
| 林 大輝 (平成 59 年生まれ) 能楽師 小鼓方幸流 |
| 石井 保彦 (昭和 39 年生まれ) 能楽師 大鼓方石井流宗家 重要無形文化財保持者(総合認定) (一般社団法人)京都能楽会 理事 |
| 渡辺 諭 (昭和 54 年生まれ) 能楽師 大鼓方石井流 |
| 井上 敬介 (昭和 30 年生まれ) 能楽師 太鼓方観世流 重要無形文化財保持者(総合認定) (公益社団法人)能楽協会京都支部 常議員 |
| 中田 弘美 (昭和 35 年生まれ) 能楽師 太鼓方観世流 重要無形文化財保持者(総合認定) (公益社団法人)能楽協会大阪支部 常議員 |
| 茂山 千五郎(茂山正邦) (昭和 47 年生まれ) 能楽師 狂言方大蔵流 重要無形文化財保持者(総合認定) (公益社団)能楽協会京都支部 常議員 |
| 茂山 茂 (昭和 50 年生まれ) 能楽師 狂言方大蔵流 重要無形文化財保持者(総合認定) (一般社団法人)京都能楽会 理事 |
| 茂山 逸平 (昭和 54 年生まれ) 能楽師 狂言方大蔵流 |
| 茂山 童司 (昭和 58 年生まれ) 能楽師 狂言方大蔵流 |
| 島田 洋海 (昭和 51 年生まれ) 能楽師 狂言方大蔵流 |

No.2 別紙メンバー表 (4/4)

【公演団体名： 一般財団法人 能楽堂嘉祥閣】

| |
|----------------------------------|
| 井口 竜也 (昭和 51 年生まれ) 能楽師 狂言方大蔵流 |
| 鈴木 実 (昭和 53 年生まれ) 能楽師 狂言方大蔵流 |
| 山下 守之 (昭和 51 年生まれ) 能楽師 狂言方大蔵流 |

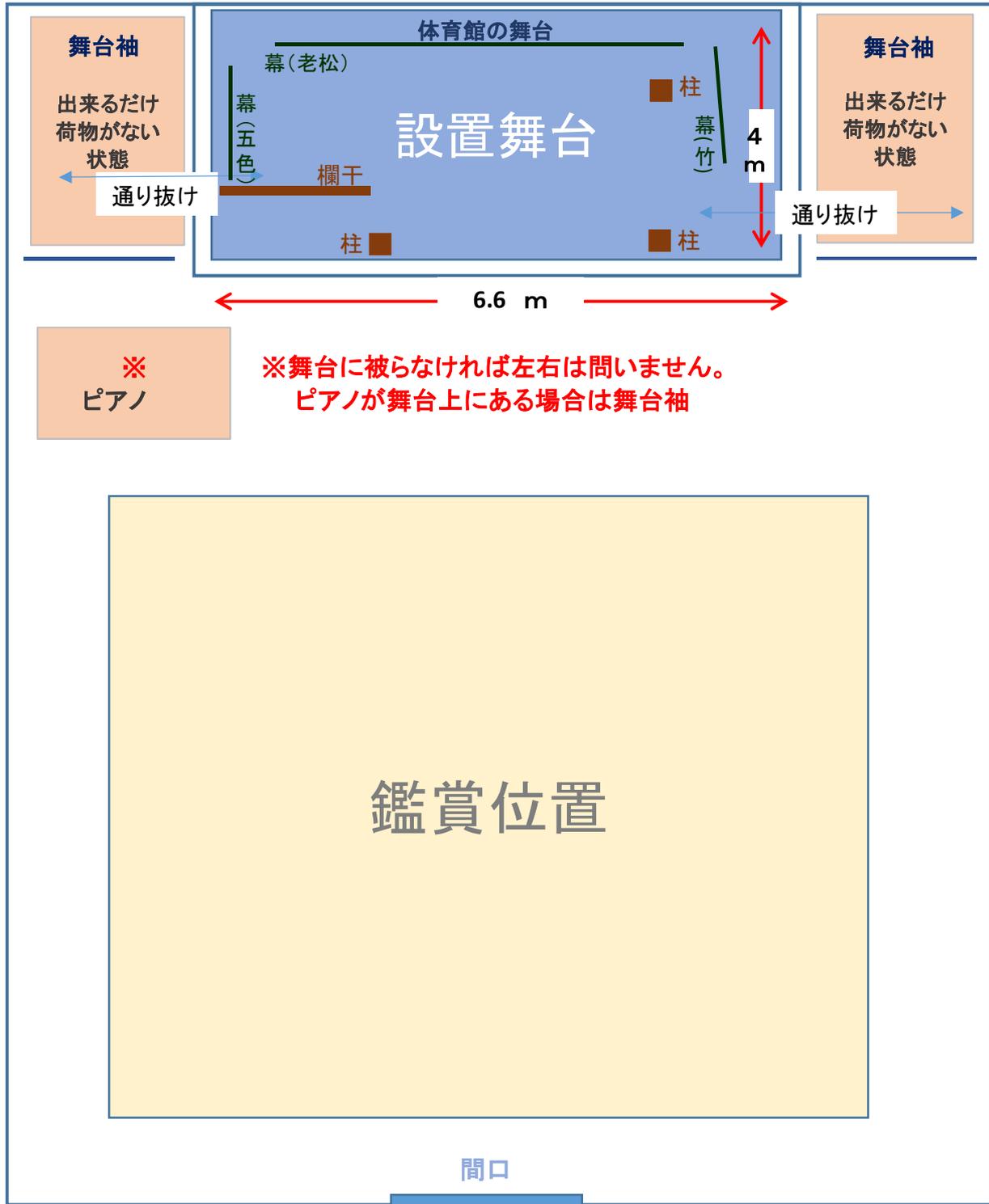
【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

| | | | | | | | | | |
|-------|---------------|----|------|----|--------|---------------|---|----|-----|
| ID | H94 | 分野 | 伝統芸能 | 種目 | 歌舞伎・能楽 | ブロック | H | 区分 | A区分 |
| 公演団体名 | 一般財団法人 能楽堂嘉祥閣 | | | | 制作団体名 | 一般財団法人 能楽堂嘉祥閣 | | | |

① 会場条件等についての確認

| 項目 | 応相談 | 必要条件等 | | | | | | | |
|---------|--|------------------------|----|-----------------|--|-----------------------|----------------------------------|-------|---------------------|
| 控室について | 不可 | 必要数 * | 1室 | 条件 | 演者16名が着替えられる部屋が必要です。 | | | | |
| 搬入について | 不可 | 来校する車両の大きさと台数 * | | | バン | 1台 | ※演者がレンタカー移動する場合は車両数が3台程度増える予定です。 | | |
| | 可 | 来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ | | | 積載量0.75t、車長4.285m | | | | |
| | 可 | 搬入車両の横づけの要否 * | | | 可能であればバン1台のみ横付けを希望します。 | | | | |
| | 可 | 横づけができない場合の搬入可能距離 * | | | 一般的な校内駐車場からの搬入移動は可能ですが出来るだけ会場に近い距離が望ましいです。 | | | | |
| | 可 | 搬入経路の最低条件 | | | 特になし | | | | |
| | / | 理由 | | | - | | | | |
| | - | 設置階の制限 * | | | 問わない | | | | |
| | | 搬入間口について 単位:メートル | | 幅 | 1.2m | 高さ | 1.8m | | |
| WSについて | 可 | 参加可能人数 | | | 1,500名程度まで | | | | |
| | 可 | 学年の指定の有無 * | | | なし | 指定学年 * | なし | | |
| | 可 | 所要時間の目安 単位:分 | | | 95分程度 | | | | |
| 本公演について | / | 会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間 | | | ※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安をご参照ください。 | | | | |
| | 可 | 鑑賞可能人数 | | | 1,500名程度まで | | | | |
| | 可 | 舞台設置場所 * | | | ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能 | | | | |
| | 可 | 舞台設置に必要な広さ 単位:メートル | | 幅 | 6.6m | 奥行 | 4m | 高さ | 指定なし |
| | 可 | 体育館の舞台を使用する場合の条件 | | | 舞台袖スペースの確保 * | | 要 | | |
| | 可 | | | | 舞台袖スペースの条件 * | | 袖に荷物が無い状態 | | |
| | 可 | | | | 緞帳 * | 不要 | | バトン * | 舞台使用の場合、可能であれば使用希望。 |
| | - | 遮光(暗幕等)の要否 * | | | 不要 | 理由 | | | |
| | 不可 | ピアノの調律・移動の要否 | | 指定位置へのピアノの移動 * | 要 | ※指定位置は会場設置図面に御確認ください。 | | | |
| | - | | | ピアノの事前調律 * | 不要 | | | | |
| | 可 | フロアを使用する場合の条件 | | バスケットゴールの設置状況 * | 特に制限なし | | | | |
| | - | 公演に必要な電源容量 | | | 不要 | ※主幹電源の必要容量 | | | |
| | その他特記事項 | | | | | | | | |
| 可 | ・ハンドマイクを1本使用出来ればありがたいです。 | | | | | | | | |
| 可 | ・舞台使用の場合、老松の幕を正面奥に設置するため、可能であればバトンの使用を希望します。 | | | | | | | | |
| 可 | ・フロア使用の場合、舞台袖の目隠し用にパーテーションがあればお借りしたいです。 | | | | | | | | |

会場図面(表記単位:メートル)

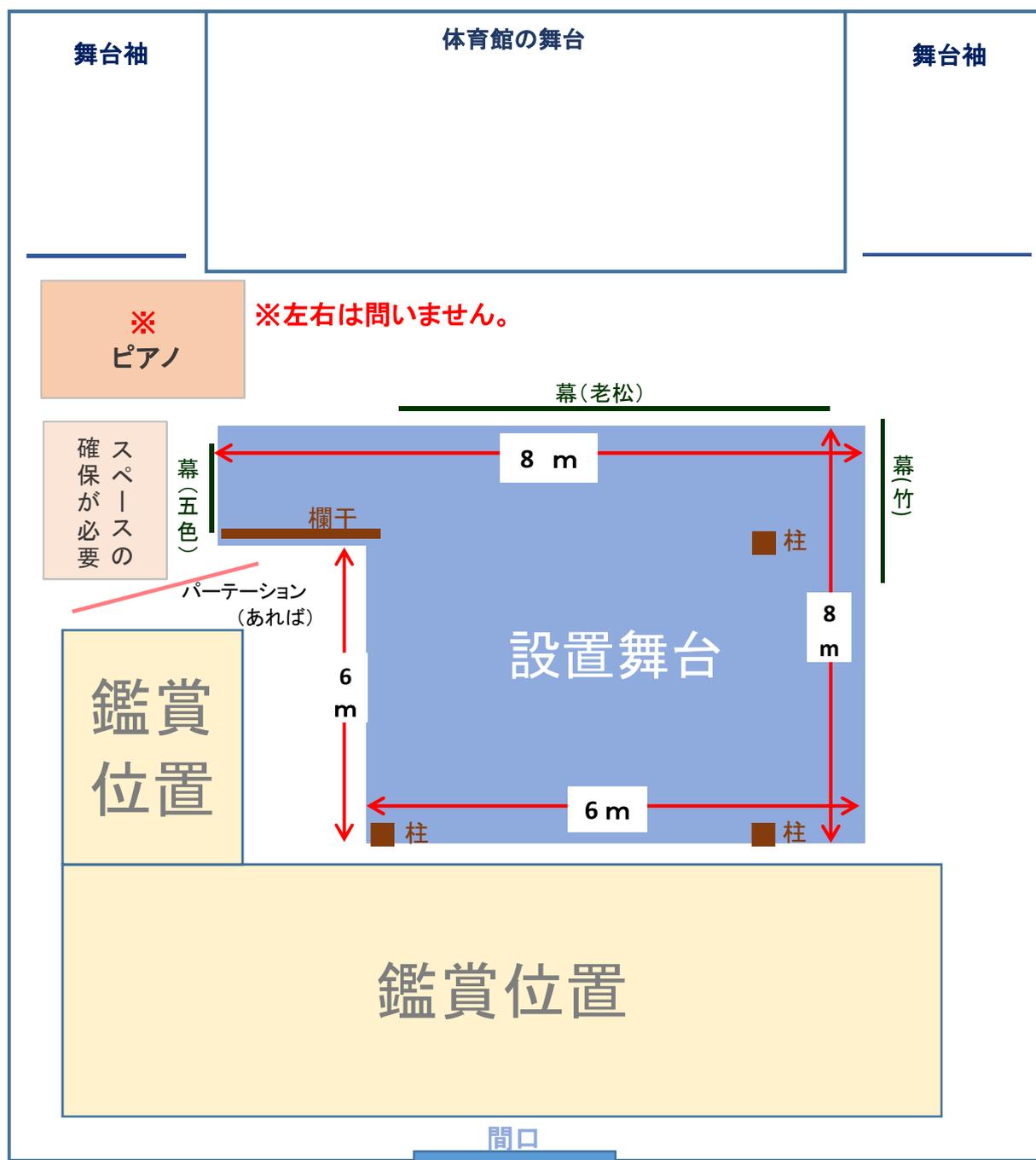


舞台使用時

| | | | | |
|-------------------|---------------------------------------|------|----|------|
| 搬入間口について | 幅 | 1.2m | 高さ | 1.8m |
| 搬入車両の横づけの要否 | 要(可能であれば) | | | |
| 横づけができない場合の搬入可能距離 | 一般的な校内駐車場からの搬入移動は可能ですが出来るだけ近い距離が望ましい。 | | | |

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

会場図面(表記単位:メートル)



フロア使用時

| | | | | |
|-------------------|---------------------------------------|------|----|------|
| 搬入間口について | 幅 | 1.2m | 高さ | 1.8m |
| 搬入車両の横づけの要否 | 要(可能であれば) | | | |
| 横づけができない場合の搬入可能距離 | 一般的な校内駐車場からの搬入移動は可能ですが出来るだけ近い距離が望ましい。 | | | |

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

え
絵にかいてみよう
のう
能の世界



いっばんざいだんほうじん のうがくどう かしょうかく
一般財団法人 能楽堂 嘉祥閣

ぶんかげいじゆつ こども いくせいじぎょう じゆんかいこうえんじぎょう
文化芸術による子供の育成事業- 巡回公演事業 -

わがくに いちりゅう ぶんかげいじゆつだんたいが、しょうがっこう ちゅうがっこうなど こうえん、こども、すく ぶたいげいじゆつ かんしょう きかい え
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得る
ことにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上
につなげることを目的としています。

じぜん ことども じつえんしどうまた かんしょうしどう おこな じつえん ことども さんか
事前のワークショップでは子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加し
てもらいます。

VI 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目 (いずれかに○をつけて下さい。)

- | | |
|--------|---|
| 【音 楽】 | 合唱, オーケストラ等, 音楽劇 |
| 【演 劇】 | 児童劇, 演劇, ミュージカル |
| 【舞 踊】 | バレエ, 現代舞踊 |
| 【伝統芸能】 | 歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, <input checked="" type="checkbox"/> 邦楽, 邦舞, 演芸 |

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

| | | | |
|-----------------------|--|---|--------------|
| ふりがな | かぶしきがいしゃ とうきょうこんさいつ | | |
| 制作団体名 | 株式会社 東京コンサーツ | | |
| 代表者職・氏名 | 代表取締役 飯塚幹夫 | | |
| 制作団体所在地 (最寄り駅・バス停) | 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 AVACOビル 2F (最寄り駅=東京メトロ東西線「早稲田」駅) | | |
| 電話番号 | 03-3200-9755 | F A X 番号 | 03-3200-9882 |
| ふりがな | いっばんしゃだんほうじん れいがくしゃ | | |
| 公演団体名 | 一般社団法人 伶楽舎 | | |
| 代表者職・氏名 | 代表理事・音楽監督 芝 祐靖 | | |
| 公演団体所在地 (最寄り駅・バス停) | 〒160-0012 東京都新宿区南元町 19-2 千日谷会堂内 (最寄り駅=JR 総武線「信濃町」駅) | | |
| 制作団体 設立年月 | 1969年 3月 | | |
| 制作団体 組織 | 役 職 員 | 団体構成員及び加入条件等 | |
| | 代表取締役社長:飯塚幹夫、 代表取締役副社長:尚 紀子 取締役:垣ヶ原靖博 監査役:荒井 眞 | スタッフ:一石鉄哉、斉藤智華子、水町 香、浅野 剛、田畑 千穂、平野貴俊、伊藤あみか、杉山幸代、山崎有香 他 | |
| 事務体制の担当 | <input checked="" type="checkbox"/> 専任 ・ 他の業務と兼任 | 本事業担当者名 | 尚 紀子、田畑千穂 |
| 経理処理等の 監査担当の有無 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 | 経理責任者名 | 村石政昭 |

| | | | |
|-----------------------------------|---|--|--|
| <p>制作団体沿革</p> | <p>昭和 44 年創立。以後、作曲家・音楽家のマネジメント・演奏会の企画制作を行う。</p> <p>歴代の所属アーティスト:武満徹、石井眞木、松村禎三、三善晃(以上作曲)、岩城宏之、若杉弘(以上指揮) 他</p> <p>現在の所属アーティスト:湯浅譲二、一柳慧、池辺晋一郎、新実徳英、猿谷紀郎、権代敦彦、望月京、杉山洋一、原田敬子、金子仁美、伊佐治直、岸野末利加、坂東祐大(以上作曲家)、伶楽舎(雅楽)、松居直美(オルガン)、篠崎史子/木村茉莉/篠崎和子(ハーブ)、青柳いづみこ(ピアノ)、安江佐和子(打楽器)、伊藤亜美(ヴァイオリン)、藤元高貴(ギター)、松井慶太/伊藤翔/キハラ良尚(指揮)、俵万智(歌人)、堤春恵(劇作家)、他</p> | | |
| <p>学校等における 公演実績</p> | <p>本事業以外における伶楽舎の実績</p> <p>平成 30 年度: 墨田区立中和小学校、杉並区立松渓中学校、荒川区立赤土小学校、四谷第六小学校、あきる野市立御堂中学校、荒川区立第三瑞光小学校 他(予定)</p> <p>平成 29 年度: 大宮開成中学高等学校(管絃、舞楽による「雅楽演奏会」)、目黒区立下目黒小学校、板橋区志村小学校、西東京市谷戸小学校、荒川区立大門小学校、青梅市立河辺小学校、中野区立鷺宮小学校、学芸大附属小学校、松木小学校、成瀬台中学校等、中野本郷小学校、小岩小学校、昭和音楽大学、福島市第三小学校</p> <p>平成 28 年度: 江戸川区立東小岩小学校、練馬区立北町小学校、東大和市立第一中学校等 14 校</p> <p>平成 27 年度: 北区清水小学校、さいたま市三橋小学校</p> <p>平成 26 年度: 北区王子第三小学校</p> <p>平成 25 年度以前: 北区滝野川第七小学校、文京区指ヶ谷小学校、トキワ松学園中・高等学校、日野市立大坂中学校、横浜女子中高等学校、江戸川女子中高等学校、他</p> | | |
| <p>特別支援学校に おける公演実績</p> | <p>本事業における伶楽舎の実績</p> <p>平成 29 年度: 港区港南中学校(特別支援学級)</p> <p>平成 27 年度: 北海道八雲養護学校、北海道白糠養護学校、北海道旭川養護学校、</p> <p>平成 24 年度: 大阪府立刀根山支援学校</p> <p>平成 22 年度: 福井県立福井東養護学校</p> <p>本事業以外における実績</p> | | |
| <p>参考資料の 有無</p> | <p>A</p> | <p>申請する演目のチラシパンフレット等</p> <p>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</p> | <p>有 ・ 無</p> <p>有 ・ 無</p> <p>ID: PW:</p> <p>有 ・ 無</p> <p>ID: PW:</p> |
| <p>A の 提出が 困難な 場合</p> | <p>A の 提出が 困難な 場合</p> | <p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</p> | <p>有 ・ 無</p> <p>ID: PW:</p> |

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 一般社団法人 伶楽舎】

| | | | |
|--------------------|---|-------------|--------------------------------|
| 対象 | 小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生 | | |
| 企画名 | 「伶楽舎 子どものための雅楽コンサート」 | | |
| 本公演演目 | <p>■第1部 雅楽ってなあに？</p> <p>雅楽古典曲 管絃「平調音取」「越天楽」、「陪臚」(中学校のみ)</p> <p>雅楽古典曲 舞楽「胡飲酒」</p> <p>原作/作曲 各学校の校歌[雅楽編曲版](小・中学校)、わらべうた(小学校のみ)</p> <p>脚本 本 ■第2部 日本昔ばなしと雅楽</p> <p>演出/振付 小学校＝語り付き創作雅楽作品「ポン太と神鳴りさま」(芝祐靖作曲・脚本)</p> <p>中学校＝語り付き創作雅楽作品「カラ坊風に乗る」(芝祐靖作曲・脚本) 公演時間(90 分)</p> | | |
| 著作権 | 無 | 制作団体が所有 | 有 制作団体以外が所有する事項が含まれる |
| | | | 有 (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無 |
| 演目概要 | <p>第1部 雅楽ってなあに？(45分)</p> <p>雅楽の楽器の音をきいてみよう(楽器紹介) 唱歌(しょうが)で「越天楽(えてんらく)」をうたってみよう 演奏をきいてみよう 舞楽をみよう 雅楽で他の曲もきいてみよう</p> <p>以上の5つのコーナーを通して、日本の伝統音楽「雅楽」がどのようなものかを知ってもらいます。楽器の名前や特徴を覚え、雅楽の代表的な「越天楽」のメロディーを覚えます。雅楽の勉強は「唱歌」を歌うことから始める、という雅楽独特の習得法も知ってもらいます。豪華な装束や面をつけた舞楽の動きの特徴を覚えてもらいます。</p> <p>休憩(5-10分)</p> <p>第2部 日本昔ばなしと雅楽(30分)</p> <p>「ポン太と神鳴りさま」=主人公が雲の上で雷さまに会う、というストーリー。</p> <p>「カラ坊風に乗る」=空を飛ぶことを夢見ていた男の子の冒険談。</p> | | |
| 演目選択理由 | <p>第1部 管絃の「越天楽」は、最もよく知られた雅楽古典曲で、小中学校の教科書にも取り入れられていることから選曲。初めて雅楽を聴く人に一番に知ってもらいたい曲。中学校公演では「越天楽」以外の曲も知ってもらうため、「越天楽」との違いが分かりやすい「陪臚」(ばいろ)も取り上げる。現代と古典との距離感を少しでも縮め雅楽に親しみを感じてもらうため、また、雅楽楽器の可能性を知ってもらうため、子どもたちがよく知っている校歌を雅楽楽器で演奏する。舞楽は動きのある一人舞を選択。これまで「還城楽」「陵王」を上演したが、幅広く演目を紹介するために平成31年度は「胡飲酒」を上演。</p> <p>第2部 雅楽の様式化された曲調やテンポは、現代の子どもたちが日常接している音楽とはかなり異なっているため、長時間、古典だけを聴くのでは飽きてしまう。そこで、第2部では物語の展開を楽しみながら、知らず知らずのうちに雅楽の響きに親しむことができるように創られた特別な雅楽作品を上演。古典の響きをベースに、効果音の全てまで雅楽楽器で表現した本作品は、子どもだけでなく雅楽を初めて聴く大人(保護者)にも雅楽入門に適した作品。</p> | | |
| 児童・生徒の共演,参加又は体験の形態 | <p>●ワークショップでは、洋楽で使われる五線譜ではなく雅楽の縦書きの楽譜を見ながら、雅楽の楽器の伝統的な習得法である「唱歌」を、拍子を取りながら一緒に歌う。雅楽のリズムパターンや打ち方を知るために打楽器の打ち方を指導者の動作を真似て一緒に行う。舞楽の舞の振付の1つか2つを実際に身体を動かして覚え、舞楽の舞の特徴を知る。管楽器3種と打楽器3種を実際の楽器で体験する。</p> <p>●本公演では、ワークショップで学んだ「唱歌」を復習し、「越天楽」のメロディーをしっかりと覚える。ワークショップで打楽器を体験した児童生徒の代表者が舞台にあがって、「越天楽」の演奏に参加する。わらべうたや校歌を雅楽楽器の伴奏で歌う。</p> | | |
| 出演者 | <p>笙3、箏3、龍笛3、琵琶2、箏2、鞆鼓、太鼓、鉦鼓、舞人、語り 計18名</p> <p>【出演予定メンバー】伊崎善之、石川 高、北村茉莉子、五月女愛、笹本武志、田口和美、田島和枝、田中康真、田淵勝彦、角田眞美、中村かほる、中村華子、中村仁美、野田美香、野田護元、平井裕子、三浦礼美、宮丸直子</p> | | |
| 公演出演予定者数(1公演あたり) | 出演者: 18名 スタッフ: 2名 合計: 20名 | 機材等 運搬方法 | 積載量 0.7 t 車長 4.7 m 台数 1台 |

| | | | | | | |
|--------------------------------------|---|-----------------------------------|---------|-------|---------|-----|
| 公演に当たっての会場条件 | 実施条件等確認書①をご確認ください。 | | | | | |
| 会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安 | 前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間(1.5~2 時間程度) | | | | | |
| | 到着 | 仕込み | 本公演 | 内休憩 | 撤去 | 退出 |
| | 10時 | 10時~12時 | 13時~15時 | 5-10分 | 15時~16時 | 16時 |
| ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。 | | | | | | |
| 児童・生徒の参加可能人数 | ワークショップ | 100名程度(楽器体験可能人数は100名程度ですが相談に応じます) | | | | |
| | 本公演 | 制限はありません | | | | |
| ワークショップ実施形態及び内容 | <p>●全員を対象として解説と体験 ①雅楽の歴史を短く説明する。楽器について説明する。②雅楽の学習の基本である「唱歌」のやり方を体験する。③打楽器の打ち方を指導者の動作を真似てやってみる。④舞の所作を体験する。</p> <p>●グループに分かれての体験 ⑤管楽器(笙・箏・龍笛)と打楽器(鞆鼓・太鼓・鉦鼓)のグループごとに楽器を体験する(楽器数に限りがあるため、体験できる人数は100名程度。ただし、他の児童生徒にも分かるように、皆に見せながら指導する) ⑥他の児童生徒の唱歌に合わせて、打楽器体験の代表者が打楽器を演奏する。</p> | | | | | |
| ワークショップ実施形態の意図 | 雅楽は、現代の子どもたちになじみのないジャンルであることから、まずは全員に向けて、雅楽の歴史や楽器の形・素材・響きについて説明する。情報量は小学校と中学校では多少異なるが、一方的な講義にならないよう、楽器の持ち方や演奏の仕方を説明する時には、子どもたちに真似をしてもらう。子どもたちが身体を動かす、声を出す、といった「動作」を説明の間に取り入れて、飽きさせない工夫をしている。楽器体験では、ただ音を出すのではなく、雅楽の作法も同時に教える。箏や龍笛は大人でも音を出すのが難しい楽器であるが、音が出た時の喜びを感じ、上手に演奏できるようになるまでには修練が必要であることも理解してもらいたい。 | | | | | |
| 特別支援学校での実施における工夫点 | 基本的には一般校と同じプログラム。ただし、ワークショップの楽器体験では、子どもたちの状況に応じて、通常床に座って演奏する打楽器を子どもたちの高さまで持ち上げて叩いてもらう、などの工夫をしている。舞の体験も、先生と相談しながら、それぞれの状態でできる範囲で参加してもらっている。 | | | | | |
| 実施可能時期 ◇はB区分申請団体のみ | 実施可能時期スケジュール表をご確認ください。 | | | | | |

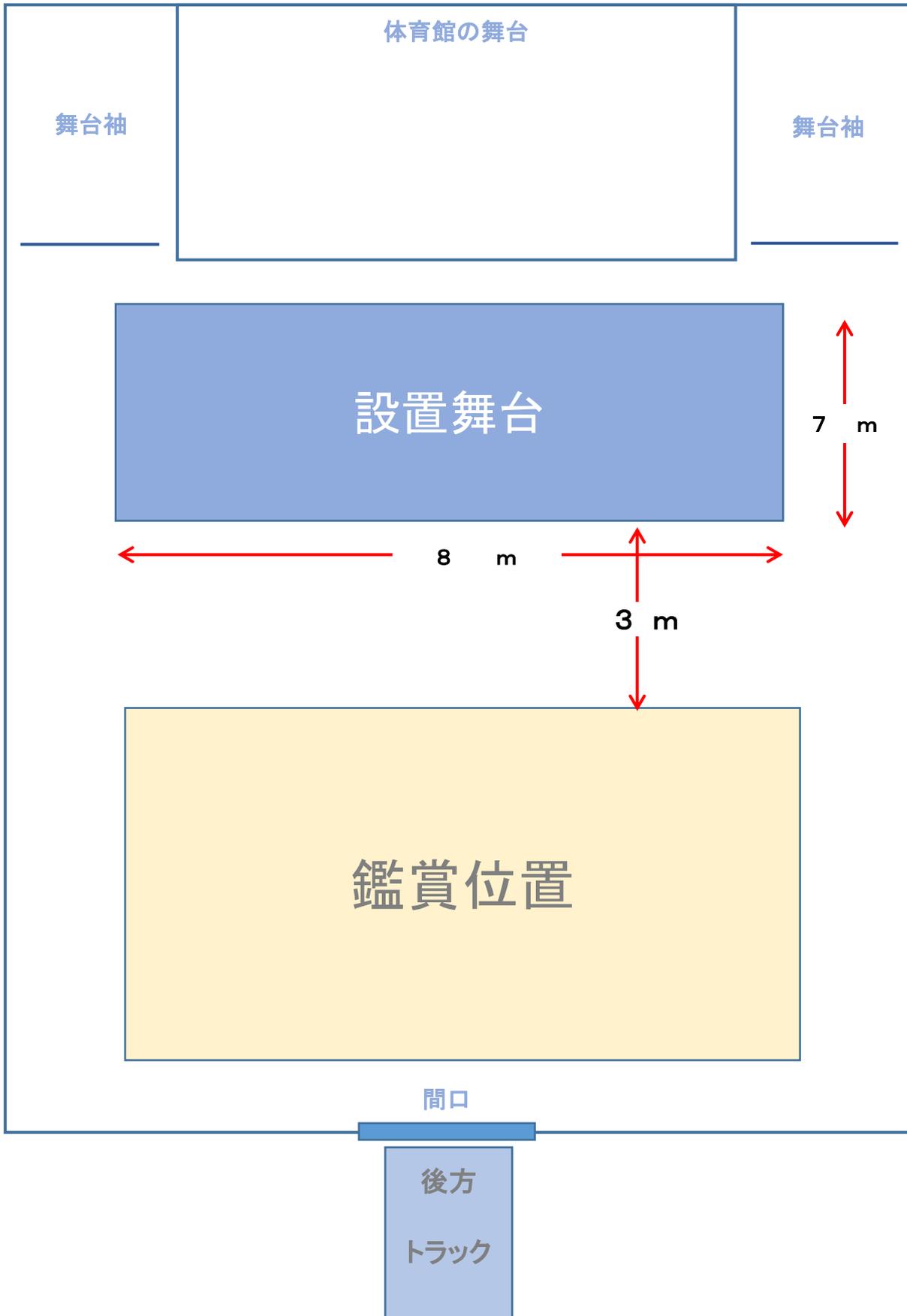
【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

| | | | | | | | | | |
|-------|------------|----|------|----|-------|--------------|---|----|-----|
| ID | H95 | 分野 | 伝統芸能 | 種目 | 邦楽 | ブロック | H | 区分 | A区分 |
| 公演団体名 | 一般社団法人 伶楽舎 | | | | 制作団体名 | 株式会社 東京コンサーツ | | | |

① 会場条件等についての確認

| 項目 | 応相談 | 必要条件等 | | | | | | | | |
|---------|----------------------------------|---------------------------|----|-----------------|---|------------------------|------------|-----------------------|------|--|
| 控室について | 可 | 必要数 * | 3室 | 条件 | 着替え部屋ですので、カーテンか目張りを必要とします。 | | | | | |
| 搬入について | 不可 | 来校する車両の大きさと台数 * | | | 中型バス | 1台 | バン | 1台 | | |
| | 可 | 来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ | | | バン | | | | | |
| | 可 | 搬入車両の横づけの要否 * | | | 要 | | | | | |
| | 可 | 横づけができない場合の搬入可能距離 * | | | 問わない | | | | | |
| | 可 | 搬入経路の最低条件 | | | 大型乗用車が一台止められるスペースと、搬入経路に屋根があること。(仮設でも可) | | | | | |
| | | 理由 | | | 楽器搬入のため | | | | | |
| | 可 | 設置階の制限 * | | | 問わない | | | | | |
| | 可 | 搬入間口について 単位:メートル | | 幅 | 2m | 高さ | 2m | | | |
| WSIについて | 可 | 参加可能人数 | | | 100名程度まで | | | | | |
| | 可 | 学年の指定の有無 * | | | なし | 指定学年 * | なし | | | |
| | 可 | 所要時間の目安 単位:分 | | | 90分程度 | | | | | |
| 本公演について | | 会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間 | | | ※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。 | | | | | |
| | 可 | 鑑賞可能人数 | | | 特に制限無し | | | | | |
| | 可 | 舞台設置場所 * | | | ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能 | | | | | |
| | 可 | 舞台設置に必要な広さ 単位:メートル | | 幅 | 8m | 奥行 | 7m | 高さ | 指定なし | |
| | 可 | 体育館の舞台を使用する場合の条件 | | | 舞台袖スペースの確保 * | | | 要 | | |
| | 可 | | | | 舞台袖スペースの条件 * | | | 左右合わせて、18名程が待機できるスペース | | |
| | 可 | | | | 緞帳 * | 不要 | バトン * | 不要 | | |
| | 可 | 遮光(暗幕等)の要否 * | | | 不要 | 理由 | - | | | |
| | 可 | ピアノの調律・移動の要否 | | 指定位置へのピアノの移動 * | 不要 | ※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。 | | | | |
| | 可 | | | ピアノの事前調律 * | | 不要 | | | | |
| | 可 | フロアを使用する場合の条件 | | バスケットゴールの設置状況 * | | 問わない | | | | |
| | 可 | 公演に必要な電源容量 | | | 特に制限無し | | ※主幹電源の必要容量 | | | |
| | その他特記事項 | | | | | | | | | |
| | 可 | 来校するバスは、公演中、留め置き出来る事が望ましい | | | | | | | | |
| 可 | 控え室用の部屋は10名程度が入る広さならば、合計2部屋でも可能 | | | | | | | | | |
| 可 | 舞台設置に必要な広さ8m×7m以内でも公演可能。ご相談ください。 | | | | | | | | | |
| 可 | ピアノは端に寄せておいていただければ問題ございません。 | | | | | | | | | |

会場図面(表記単位:メートル)



| | | | | |
|-------------------|---|------|----|----|
| 搬入間口について | 幅 | 2m | 高さ | 2m |
| 搬入車両の横づけの要否 | | 要 | | |
| 横づけができない場合の搬入可能距離 | | 問わない | | |

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

● 伶楽舎の紹介

伶楽舎は日本の伝統音楽「雅楽」の演奏と研究のために1985年に創設された雅楽演奏団体です。音楽監督・芝祐晴（平成23年度文化功労者）のもと、現在約30名の演奏家たちが活動を行っています。伶楽舎は、昔から伝わる雅楽の古典曲以外にも、現代の作曲家が作曲した新しい雅楽作品や、長い年月の間に演奏法がわからなくなってしまった作品（廃絶曲）、また、正倉院に残されていた楽器を復元しての演奏など、古いものから新しいものまで、幅広く取り上げて演奏しています。日本を代表する作曲家・武満徹の雅楽作品「秋庭歌一具」の演奏では中島健蔵音楽賞特別賞を受賞、そのCDは文化庁芸術祭レコード部門（優秀賞（平成14年度））を受賞。「秋庭歌一具」と「露台乱舞（芝祐晴 復曲・構成）」を演奏した「第13回雅楽演奏会」で2016年度佐治敬三賞を受賞。他に、雅楽の古典曲や復元楽器の曲など多数CDに録音しています。また、伶楽舎の企画による自主演奏会では、新しい作品の初演や大曲の演奏などに積極的に取り組んでいるほか、解説を交えた親しみやすいコンサートや小・中・高校生を対象としたワークショップ、レクチャーコンサートなども行っています。国内各地の他、アメリカやヨーロッパなどからも招かれて何度も演奏しており、日本の雅楽を世界に広める役割を果たしています。

【平成30年度 文化芸術による子供の育成事業—巡回公演事業—出演者】

伊崎善之、石川 高、若尾裕子、五月女愛、笹本武志、ノ野護元、須崎時彦、鈴木絵理、田口和美、田島和枝、谷内信一、田淵勝彦、角田真美、東野珠実、中村かほる、中村華子、中村仁美、野田美香、平井裕子、三浦礼美、宮田まゆみ、宮丸直子、國本淑恵、畠田真美子、三澤ゆかり、五十嵐千絵

●平成30年度「文化芸術による子供の育成事業—巡回公演事業—」＜邦楽公演＞ 雅楽 実施日程

| 実施日 | 実施校 | 合同開催校 | 地元主催者 | プログラム |
|-----------|--------------|---------------------------|-------------------|-------|
| 10月22日(月) | 松江市立 川津小学校 | | 島根県教育委員会／松江市教育委員会 | A |
| 10月23日(火) | 鳥取市立 桜ヶ丘中学校 | | 鳥取県／鳥取市 | B |
| 10月30日(火) | 竹原市立 竹原小学校 | | 広島県／竹原市教育委員会 | A |
| 10月31日(水) | 広島市立 黄金山小学校 | | 広島市教育委員会 | A |
| 11月1日(木) | 広島市立 戸山小学校 | 広島市立 戸山小学校 | 広島市教育委員会 | B |
| 11月2日(金) | 島根県立 益田養護学校 | | 島根県教育委員会 | A |
| 11月5日(月) | 岩国市立 宇佐小学校 | 岩国市立 錦清流小学校 岩国市立 美川小学校 | 山口県教育委員会／岩国市教育委員会 | A |
| 11月6日(火) | 防府市立 佐波中学校 | | 山口県教育委員会／防府市教育委員会 | B |
| 11月8日(木) | 防府市立 向島小学校 | | 山口県教育委員会／防府市教育委員会 | A |
| 11月9日(金) | 宇部市立 川上中学校 | | 山口県教育委員会／宇部市教育委員会 | B |
| 11月19日(月) | 庄原市立 西城中学校 | 庄原市立 西城小学校 | 広島県／庄原市教育委員会 | B |
| 11月20日(火) | 新見市立 矢神小学校 | | 岡山県教育委員会 | A |
| 11月21日(水) | 美咲町立 中央中学校 | | 岡山県教育委員会 | B |
| 11月22日(木) | 美咲町立 旭小学校 | 美咲町立 旭中学校 | 岡山県教育委員会 | A |
| 11月26日(月) | 倉敷市立 北中学校 | | 岡山県教育委員会 | B |
| 11月27日(火) | 笠岡市立 神内小学校 | | 岡山県教育委員会 | A |
| 11月28日(水) | 高梁市立 川面小学校 | 高梁市立 中井小学校 高梁市立 上竹小学校 | 岡山県教育委員会 | A |
| 11月29日(木) | 吉備中央町立 大和小学校 | 吉備中央町立 上竹在小学校 | 岡山県教育委員会 | A |

知っていますか？～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

国際音楽の日

平成30年度
文化芸術による子供の育成事業—巡回公演事業—

雅楽「伶楽舎」
（邦楽公演）



「文化芸術による子供の育成事業—巡回公演事業—」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

文化庁

雅楽「伶楽舎」

<邦楽公演>

プログラム

第1部 雅楽ってなあに？

雅楽の楽器の音をきいてみよう

唱歌で「越天楽」をうたってみよう

演奏をきいてみよう — 「平調音取」「越天楽」、「陪臚」(プログラムBのみ)

舞楽をみよう — 「陵王」

雅楽で他の曲もきいてみよう — わらべうた(プログラムAのみ)

休憩 15分

第2部 日本昔ばなしと雅楽

ポン太と神鳴りさま [作曲・脚本=芝 祐靖] (プログラムA)

カラ坊 風に乗る [作曲・脚本=芝 祐靖] (プログラムB)

みなさんは「雅楽」をきいたことがありますか？

神社のお祭や結婚式のとときにきいたことがある、という人もいませんか。

「雅楽」は、千年以上もの長い間、ずっと日本に伝えられてきた音楽です。

もともとは5~9世紀ごろに中国や朝鮮半島から日本に伝えられた外国の音楽だったのですが、

しだいに日本に合うようにととのえられ、日本人が作った曲も加えられました。

平安時代の貴族たちは、雅楽を合奏するのが楽しみみのひとつでした。

今でも 宮中 や神社、お寺の儀式に必要な音楽として大切に演奏されています。

みなさんの聞きなれた音楽とはずいぶん違うのですが、

ぜひ、ひとつひとつの楽器の個性的な響きと、

ゆったりとした時間の流れを感じながら、聞いてみてください。

第二部では、昔ばなしと雅楽をあわせた曲を演奏します。

雅楽に親んでもらえるように、特別に作った楽しい曲で、

面白いお話と、生き生きとした雅楽の表現を、

どうぞたっぷりお楽しみ下さい。



雅楽の楽器

1)笙



2)篳篥



3)龍笛



5)箏



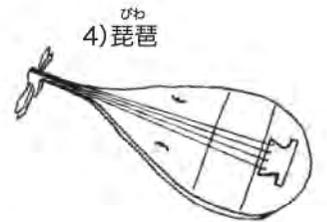
8)鉦鼓



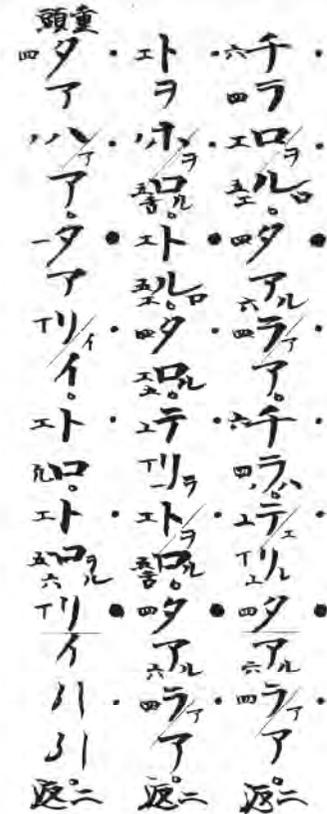
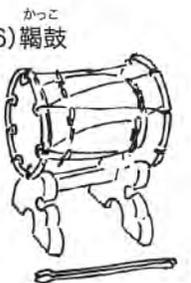
7)太鼓



4)琵琶



6)鞆鼓



越天楽

小曲
早四拍子
末二拍子如
拍子ハ
後度三

「雅楽の楽譜」

(筆筆の唱歌)

はやくはやく

はやくはやく

VI 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目 (いずれかに○をつけて下さい。)

| | |
|--------|---------------------------------|
| 【音 楽】 | 合唱, オーケストラ等, 音楽劇 |
| 【演 劇】 | 児童劇, 演劇, ミュージカル |
| 【舞 踊】 | バレエ, 現代舞踊 |
| 【伝統芸能】 | 歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞 演芸 |

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ **なし**

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

| | | | |
|-----------------------|----------------------------------|---|---------------|
| ふりがな | かぶしきがいしゃ ちゅら | | |
| 制作団体名 | 株式会社 CHURA | | |
| 代表者職・氏名 | 代表取締役 玉宮朝日 | | |
| 制作団体所在地 (最寄り駅・バス停) | 〒901-2223 沖縄県宜野湾市大山5-18-6 | | |
| 電話番号 | (098)942-2723 | F A X 番号 | (098)942-2724 |
| ふりがな | おきなわかぶげきだん ちゅら | | |
| 公演団体名 | 一般社団法人沖縄歌舞劇団 美 | | |
| 代表者職・氏名 | 代表理事 小嶺和佳子 | | |
| 公演団体所在地 (最寄り駅・バス停) | 〒904-0031 沖縄県沖縄市上地 2-14-19-2F | | |
| 制作団体 設立年月 | 2000年 4月 | | |
| 制作団体 組織 | 役 職 員 | 団体構成員及び加入条件等 | |
| | 代表取締役 玉宮朝日 監査役 小杉奈津子 | 制作部 2名、文芸部 5名、舞台部 20名 合計 27名 加入条件:定期的に琉球舞踊界の中で公募し、オーディションより選抜する。 | |
| 事務体制の担当 | 専任 ・ 他の業務と兼任 | 本事業担当者名 | 玉宮朝日 |
| 経理処理等の 監査担当の有無 | 有 ・ 無 | 経理責任者名 | 小杉奈津子 |

| | | | |
|----------------|---|---|------------|
| 制作団体沿革 | 2009年、株式会社 CHURA を設立以来、 精力的に伝統芸能の発信を続け 、世界5大陸41ヶ国76都市の海外公演を行い、国際共同制作公演も精力的に実施しています。国内においては日本全国の小・中・高等学校での学校公演及び一般公演を精力的に行い、国指定重要無形文化財である琉球舞踊の普及と創作活動を続けています。近年においては、国立劇場おきなわ大劇場にて歌舞劇「南島風土記」他、数々の作品を上演し、沖縄県内でも高い評価を頂いております。 | | |
| 学校等における公演実績 | 2001年より学校公演を開始、2018年までの18年間で529公演、約22万名の生徒にご鑑賞頂いた実績があります。 ※近年の実績は、下記の通りになります 平成27年1作品30公演 9,484名 平成28年1作品30公演 10,379名 平成29年2作品64公演 20,059名 平成30年3作品31公演 11,000名予定 | | |
| 特別支援学校における公演実績 | 名古屋市立南養護学校 大阪市立光陽特別支援学校 広島県立呉特別支援学校 | | |
| 参考資料の有無 | A | 申請する演目のチラシパンフレット等 | 有 ・ 無 |
| | | 申請する演目のDVDまたはWEB公開資料 | 有 ・ 無 |
| | | ※公開資料有の場合 URL | |
| | | ※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード | ID: PW: |
| | Aの提出が困難な場合 | 今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料 | 有 ・ 無 |
| | | ※公開資料有の場合 URL | |
| | | ※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード | ID: PW: |

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 沖縄歌舞劇団 美】

| | |
|-------|----------------------------|
| 対象 | 小学生(低学年・中学年・高学年)・中学生 |
| 企画名 | 太陽の花 ～沖縄の四季を沖縄の唄と踊りと太鼓で～ |
| 本公演演目 | 琉球舞踊・沖縄音楽(古典・民謡)・民族舞踊・太鼓演舞 |
| 原作/作曲 | 構成台本 玉宮朝日 |
| 脚本 | 演出・振付 小嶺和佳子 |
| 演出/振付 | 音楽 宜保和也 |
| | 公演時間(80 分) |

| | | | |
|-----|-------------------------------|--|--------------------------------|
| 著作権 | <input type="radio"/> 制作団体が所有 | <input type="radio"/> 制作団体以外が所有する事項が含まれる | 有 (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無 |
|-----|-------------------------------|--|--------------------------------|

演目概要

沖縄が琉球王国と呼ばれていた時代、その文化・芸術は、独自の感性で生まれ、様々な形で表現され、現在でも息づく芸能として、多くの人に継承されています。

本公演では、沖縄伝統芸能の代表格といえるプログラムをご覧ください。

見所ポイント 沖縄の芸能がオムニバスで楽しめる！



沖縄を代表する芸能の一つ「琉球舞踊」は別名「宮廷舞踊」とも呼ばれ、特別なお客をおもてなしする為に創作されました。

「踊り奉行」と呼ばれる那覇の役人は、踊りや衣装、演奏にも常に工夫と発展を行い、今日までその技が継承されています。自然に恵まれた沖縄独自の鮮やかな衣装に、静と動を活かす艶やかな舞い、三線・太鼓・胡弓を使い哀調を帯びた唄は、観る人の心を躍らせたことでしょう。

廃藩置県後、琉球舞踊は宮廷舞踊から下町や離島へと舞台を移し、優雅だった踊りは、庶民の生活や想いをテーマに身近で革新的な舞踊へと変化していきます。

同じく王朝時代から歴史を持つ、五穀豊穡や厄払いの意味合いを込めて演じられていた勇壮な獅子舞や、旧盆の最終日に祖先をあの世へ送り出す念仏踊りのエイサーのリズムや風貌は沖縄に行かなければ鑑賞する事の少ない芸能です。また、沖縄民謡の他、沖縄本島でも耳にすることの少ない八重山の伝統民謡なども紹介します。今回の公演ではこれら沖縄・八重山諸島の生きた芸能もご覧頂きます。

見所ポイント 分かりやすい解説つき！



琉球舞踊の歴史や意味、衣装や見所、物語の内容についてわかりやすく説明をします。

見所ポイント 生演奏を楽しめる！



三線・笛・太鼓の伴奏を生で見る、聴くことができます。

伝統的な音楽から、皆さんに馴染みのある曲まで幅広く演奏いたします。

見所ポイント 子ども達との楽しい共演！

衣装やメイク、小道具などを実際に身につけ、沖縄のお盆のシーンを伝統芸能のエイサーを演武し、再現します。



プログラム

1. 四つ竹（ヨツダケ：古典女踊り）



祝儀舞踊の代表作。南国沖縄を象徴する赤い花、青い空と波打つ白い高波をモチーフにした「花笠（はながさ）」をかぶり、伝統の染色技法で作られた「紅型（びんがた）」を身にまといます。手には四枚の竹を持ち、カスタネットのように打ち鳴らし、歓迎の喜びを表現します。

冬：出会い

～男女が出会い、恋に落ちる～

2. 加那ヨ一天川（カナーヨーアマカー：雑踊り）



愛し合う男女の愛の印である花染め（ティーサージ）。軽快なリズムにのって恋のしぐさを明るく表現した踊り。随所に技巧に富む自由奔放なフリがみられます。

春：祝い

～結婚式～

3. かぎやで風（カギヤデフウ：古典祝儀舞踊）



沖縄の結婚式の様子と祝宴の座開きとして踊られる祝儀舞踊をご覧ください。

4. 武の舞（ブノマイ：創作空手男踊り）



空手や武術を取り入れた琉球舞踊。サイやヌンチャクなどを使う武の舞は、ダイナミックでパワフルな優美な舞です。

5. 唄：沖縄の島唄や民謡を紹介

童神(民謡) 産まれて間もない赤子をあやす母親の温かく包容力にあふれる愛が描かれています。

夏：お盆

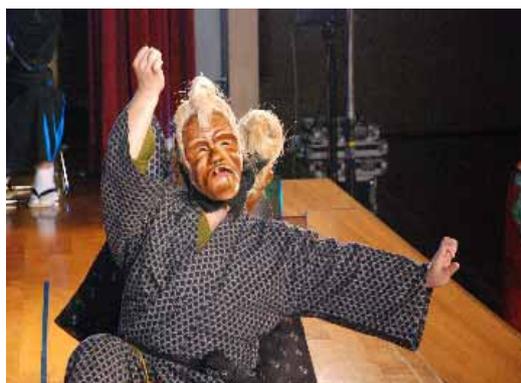
～お盆の時期がやってきて、あの世から祖先が降りてくる。～

5. 獅子舞（伝統芸能）



沖縄各地に伝わる獅子舞は、中国から伝わったものといわれ、百獣の王・獅子を舞う事によって、悪霊を祓い、五穀豊穡と繁栄を祈願します。頭側と胴体側、二人の演技者が息を合わせて操る獅子は、本物の生き物のようです。

6. アンガマー（八重山諸島伝統芸能）



あの世の先祖ウシュマイ(お爺)とウミー(お婆)が現世に現れて、家々を訪問。珍問答や踊りなどで祖先の霊を供養する石垣島独特の行事です。

7. エイサー（伝統芸能）・生徒と共演！



旧盆の最終日に祖先をあの世へ送り出す念仏踊り。毎年、旧盆が近くなると各地域の公民館などから、ドンドンと太鼓を打つ音が聞こえ、沖縄の夏の風物詩です。エイサーを観て感じる高揚感を沖縄の言葉では“チムドンドン”と表現し、太鼓の音やバチさばき、大太鼓や締め太鼓には沖縄の独自性があります。

共演した生徒たちの様子



8. 唄：沖縄の島唄や民謡を紹介

トゥバラーマ（八重山民謡）

唄の島、芸能の島と呼ばれる無形文化遺産にも指定されている八重山地方の名曲。



秋：農作物収穫

～収穫の時期。キツイ仕事を歌や踊りで元気に表現～

9. マミドーマー（八重山芸能：雑踊り）



沖縄県八重山諸島では、豊年祭の時に奉納される踊りです。クワや鎌(カマ)を手に、愉快でユーモラスに庶民の生活を再現した農耕踊りです。

10. カチャーシー（フィナーレ）



沖縄では、祭りや結婚式など祝い事の最後に、参加者全員でカチャーシーを踊り、皆で今日の良き日の喜びを分かち合います。

演目選択理由

芸能の息づく島、それが沖縄です。

沖縄では、全国の鑑賞予定の児童・生徒と同年齢の子ども達の多くが、小さな頃から伝統芸能や音楽に携わり、肌を感じています。

身近に太鼓を叩き、三線の音色を聞き、祭事ある地域コミュニティで人間関係を学び、表現する事で彼らの居場所が出来ています。

「芸能は子どもたちの心と人生を豊かにする」という事が、息づいています。

沖縄で彼らと同年齢の子供達が、興味を持つ演目を選びました。

そうすることで、日本全国と同じ年齢の子ども達が、芸能に興味を持ち、自主的に行動できる期待を込めて演目を選択しました。

児童・生徒の共演，参加又は体験の形態

ワークショップは全校生徒の参加が可能です！

1.共演・参加・体験演目(ワークショップを体験した児童・生徒の参加について)

- 1) 沖縄民謡「安里屋ユンタ」でお囃子(オハヤシ)の練習
- 2) 伝統芸能「エイサー」太鼓グループによる太鼓演舞
- 3) 伝統芸能「エイサー」チョンダラー役による自由に練り歩く演舞
- 4) 手踊りカチャーシー

本公演演目の「お盆」の再現シーンでは、ワークショップを体験した子ども達を中心に成って出演していただきます。

本番では、実施校児童・生徒・先生方(10～45名)まで実際に道具や衣装を身につけて、ご出演頂きます。

太鼓の種類を複数用意します。

男女、体格関係なく太鼓を持って踊ることが可能です。

三線の音色に合わせて、太鼓を打ち鳴らし、かけ声(囃子)をかけ合います。

躍動と一体感を感じられる伝統芸能となっています。

1-2.衣装・道具の体験内容

- 1) エイサーのハッピーを身につける。
- 2) 締め太鼓・パーランクー(小さな太鼓)を実際に持つ。
- 3) チョンダラー役は、実際に顔にメイクをし、衣装を着用して、クバ扇(沖縄の民具:クバの葉の扇)を持って、エイサーを踊る児童の周り・全校生徒の周りを練り歩く。



2.共演・参加・体験演目

手踊りカチャーシー(全校生徒の参加)

公演中、簡単な手踊りをレクチャーし参加して頂きます。

「お盆」のシーンと公演の最後の合計2回、リズムに乗って楽しく踊って頂きます。

基本的に沖縄のリズムに乗って自由に踊る踊りなので、初めての子ども達でも難しくなく喜んで踊っていただけます。

出演者 舞踊 小嶺和佳子 他7名
地謡・民謡 宜保和也 他3名

公演出演予定者数
(1公演あたり)

出演者: 12名
スタッフ: 3名
合計: 15名

機材等
運搬方法

積載量 2tトラック
車長 7m
台数 1台

| 公演に当たっての会場条件 | 実施条件等確認書①をご確認ください。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|--|---------------|---------------|----|---------|-----|--|----|-----|---------|-----|----|----|----|----|--------|---------------|---------------|----|---------|-----|
| 会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安 | 前日仕込み(有 無) 会場設営の所要時間(4 時間程度) <table border="1" data-bbox="416 573 1433 728"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み</th> <th>児童リハーサル</th> <th>本公演</th> <th>休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9時</td> <td>9時～13時</td> <td>12時40分～13時10分</td> <td>13時30分～14時50分</td> <td>ナシ</td> <td>15時～17時</td> <td>17時</td> </tr> </tbody> </table> ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。 | | | | | | | 到着 | 仕込み | 児童リハーサル | 本公演 | 休憩 | 撤去 | 退出 | 9時 | 9時～13時 | 12時40分～13時10分 | 13時30分～14時50分 | ナシ | 15時～17時 | 17時 |
| 到着 | 仕込み | 児童リハーサル | 本公演 | 休憩 | 撤去 | 退出 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9時 | 9時～13時 | 12時40分～13時10分 | 13時30分～14時50分 | ナシ | 15時～17時 | 17時 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 児童・生徒の参加可能人数 | ワークショップ | 何名でも可能 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 本公演 | 共演者数 44 名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ワークショップ実施形態及び内容 | <p>参加者全員で！エイサー(太鼓演舞)を踊ろう！</p> <p>ワークショップで学んだ演舞を、本公演では「お盆」のシーンで衣装やメイクを行い、共演します！</p> <p>振り付け師1名、踊り手5名で実施いたします。</p> <p>① 沖縄民謡の「安里屋ユンタ」に合わせて手本となる演舞を披露し、参加者全員で歌の掛け合いを行います。</p> <p>沖縄民謡「^{あさとや}安里屋ゆんた」を使用</p> <p>エイサーで使用する「安里屋ゆんた」という曲は、唄の掛け合いが可能です。曲に乗せて「サーユイユイ」と歌い、演舞を行いながら子ども達で掛け合いを行います。</p> <p>② 太鼓の種類を3種類用意し、指導者・踊り手がエイサーの指導を行います。伝統芸能「エイサー」の所作やリズムを、エイサーの定番曲に合わせて踊ります。あらかじめ準備して来た所作を子ども達にレクチャーします。子ども達でも分かりやすく覚えやすい、繰り返しのある振り付けを配慮します。始めは曲に乗せてすぐに踊る事が困難でも、回数を重ねる事で踊れるようになる楽しさを体験出来ます。</p> <p>エイサー (太鼓グループ:全生徒 参加可能) (手踊りグループ:全生徒 参加可能)</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|--------------------------------------|---|
| | <p>太鼓等の種類</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;"> パーランクー (小太鼓) 締め太鼓 大太鼓 チョンダラー </p> <p>参加者全員で！カチャーシーを踊ろう！</p> <p>○手踊りカチャーシー 手を挙げて左右に振るだけの簡単な手踊りです。 基本的に決まった形はなく、自由に踊る踊りなので、初めての子ども達でも踊る事ができます。</p> |
| <p>ワークショップ 実施形態の意図</p> | <p>おもてなしする為に誕生した琉球舞踊と違い、エイサーは旧盆の最終日(旧暦7月15日)に行われる、「祖先をあの世へ送り出す」念仏踊りですが、その歴史は琉球舞踊と同じ位、古い歴史を持ちます。</p> <p>祖先崇拜の強い沖縄では、お盆は大切な行事として盛大に行われます。青年男女がエイサーを踊りながら集落を練り歩き(道じゅねー)、各家の無病息災や家内安全、繁栄を祈り、祖先の霊を供養する為に行われます。</p> <p>祖先崇拜の衰退の徴候は、明治の末期から大正時代にかけて、人口の都市集中化と産業化によって、個人の意志ばかりが尊重される社会システムとなり、祖先を敬い尊ぶ感情は希薄になってしまいました。日本固有の「恩」の思想は顧みられなくなり、祖先崇拜も衰退していったと思われます。</p> <p>家庭崩壊の危機が叫ばれて久しい昨今、離婚は増大する一方で青少年の心の成長にも異変が生じています。いじめ、不登校、校内暴力、学級崩壊、凶悪な青少年犯罪の続発など深刻な問題に直面しており、今日ほど豊かな人間性や生きる力を育む教育が求められている時代はないでしょう。</p> <p>“自分の生命のもとを遡って恩意識を高めると、生きる力が湧いてくる。” 祖先や両親への報恩感謝の心を深めると、やがて徳となって表れ、個性が光り輝くようになるのではないのでしょうか。</p> <p>今回のワークショップでは、エイサーを学んだ後、本公演では、祖先を送迎するシーンで共演を行います。</p> <p>その中では、祖先である「おじいちゃん・おばあちゃん」を目で観られる工夫を行います。彼らが演舞したエイサーを観て喜び、あの世へ帰っていくシーンです。</p> <p>沖縄独特のリズムや唄を体験出来るだけではなく、今も盛んに受け継がれる本物の沖縄の生きた伝統文化を子ども達の実生活に置き換えて心に残る体験をして頂けたらと思います。</p> |
| <p>特別支援学校での 実施における工夫 点</p> | <p>特別支援学校で行う際には、より簡単な振り付けと音楽を用意してエイサーのワークショップを行います。</p> <p>カチャーシーは障害のある子どもに対してもリズムを感じ取って楽しんで参加頂けます。身体的に不自由さを持つ子どもでも、サンバというカスタネットに似た楽器や、小さな太鼓のパーランクなどを持ってもらい、参加して頂きます。</p> |

| | | |
|-------------------------------|---|--|
| |  | <p>エイサーへのワークショップ参加が厳しい場合はカチャーシーのウエイトを多くし、ワークショップでも生演奏の唄と踊りで楽しんで頂きます。</p> |
| <p>実施可能時期 ◇はB区分申請団体のみ</p> | <p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p> | |

【公演団体名 沖縄歌舞劇団 美】

メンバーリスト（予定）

舞踊：小嶺 和佳子

舞踊：比嘉 一恵

舞踊：新里 春加

舞踊：徳元 美幸

舞踊：仲嶺 麗子

舞踊：與那國 恵

舞踊：早田 恵美

舞踊：玉宮 朝日

演奏：宜保 和也

演奏：室井 恒慈郎

演奏：金城 安恵

演奏：大城 建太郎

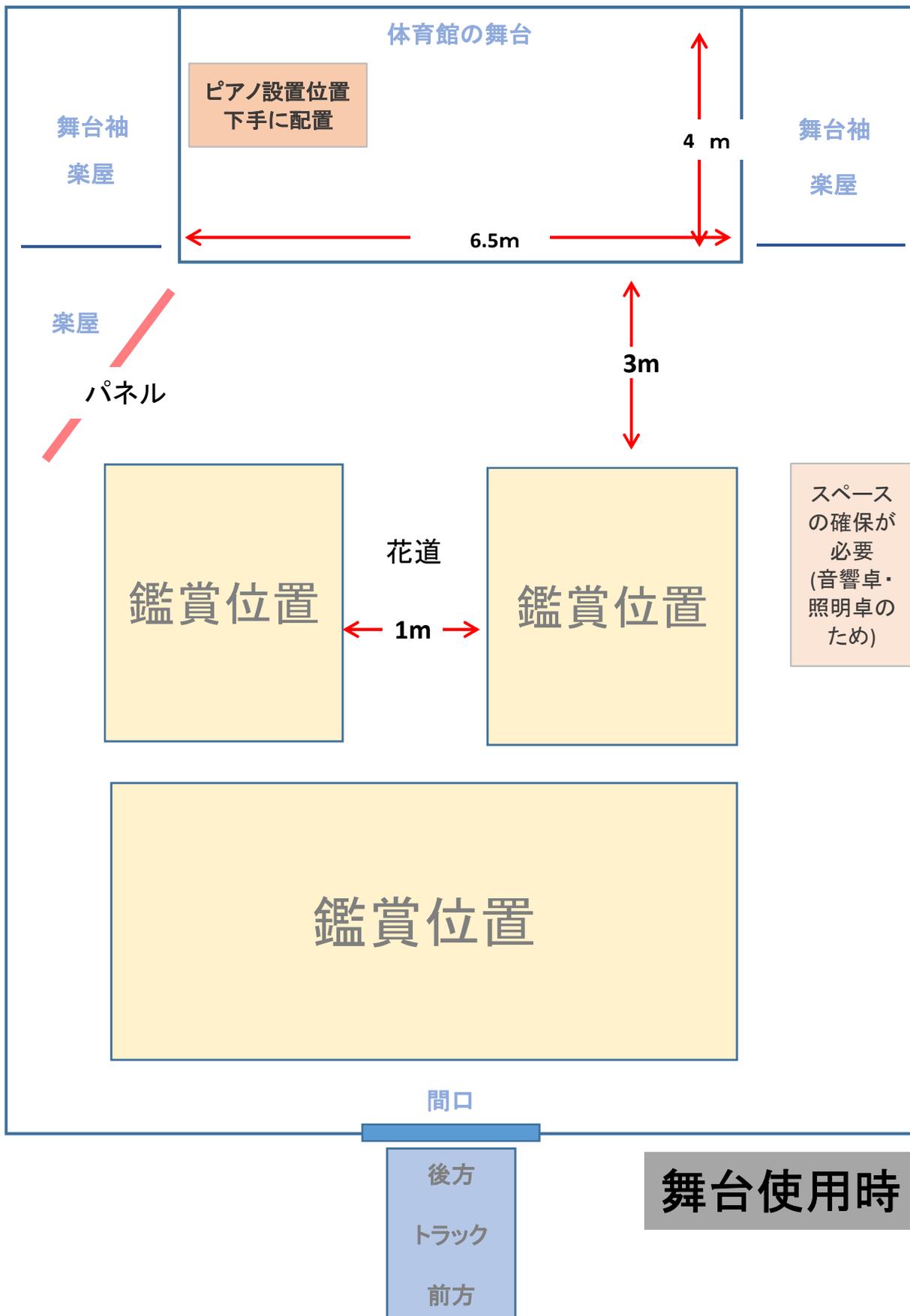
【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

| | | | | | | | | | |
|-------|----------------|----|------|----|-------|-----------|---|----|-----|
| ID | H97 | 分野 | 伝統芸能 | 種目 | 演芸 | ブロック | H | 区分 | A区分 |
| 公演団体名 | 一般社団法人沖縄歌舞劇団 美 | | | | 制作団体名 | 株式会社CHURA | | | |

① 会場条件等についての確認

| 項目 | 応相談 | 必要条件等 | | | | | | | |
|---------|---|------------------------|----|-----------------|---|-----------|----------------------------------|-------|---|
| 控室について | 不可 | 必要数 * | 不要 | 条件 | | | | | |
| 搬入について | 不可 | 来校する車両の大きさと台数 * | | | 2tトラック 1台 | | 中型バス 1台 | | |
| | 不可 | 来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ | | | 2tトラック | | | | |
| | 可 | 搬入車両の横づけの要否 * | | | 要 | | | | |
| | 可 | 横づけができない場合の搬入可能距離 * | | | 10m以内 | | | | |
| | 可 | 搬入経路の最低条件 | | | ・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・2階以上の場合、エレベーターがあれば望ましい。 ・なくても搬入可能だが、要相談。 | | | | |
| | / | 理由 | | | 音響・照明・舞台の大道具などを搬入するため | | | | |
| | — | 設置階の制限 * | | | エレベーターの設置等があれば2階以上も可 | | | | |
| 不可 | 搬入間口について 単位:メートル | | 幅 | 2m | | 高さ | 2m | | |
| WSについて | 可 | 参加可能人数 | | | 500名程度 | | | | |
| | 可 | 学年の指定の有無 * | | | なし | 指定学年 * | | なし | |
| | 可 | 所要時間の目安 単位:分 | | | 150分程度 | | | | |
| 本公演について | / | 会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間 | | | ※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。 | | | | |
| | 可 | 鑑賞可能人数 | | | 50～1000名 | | | | |
| | 可 | 舞台設置場所 * | | | 体育館のステージ上 | | | | |
| | 可 | 舞台設置に必要な広さ 単位:メートル | | 幅 | 6.5 | 奥行 | 4 | 高さ | 4 |
| | 可 | 体育館の舞台を使用する場合の条件 | | | 舞台袖スペースの確保 * | | 要 | | |
| | 可 | | | | 舞台袖スペースの条件 * | | 袖に荷物が無い状態 | | |
| | 可 | | | | 緞帳 * | 要 | | バトン * | 要 |
| | 不可 | 遮光(暗幕等)の要否 * | | | 要 | 理由 | 可能な限り、遮光を舞台演出で使用のため。暗幕なければこちらで用意 | | |
| | — | ピアノの調律・移動の要否 | | 指定位置へのピアノの移動 * | | 要 | ※指定位置は会場設置図面に御確認ください。 | | |
| | — | | | ピアノの事前調律 * | | 不要 | | | |
| | 可 | フロアを使用する場合の条件 | | バスケットゴールの設置状況 * | | 格納されていれば可 | | | |
| | 可 | 公演に必要な電源容量 | | | 60A | | ※主幹電源の必要容量 | | |
| | その他特記事項 | | | | | | | | |
| — | 大型バスが学校内に停車できない場合、学校外に停め、帰る時間に戻ってきてもらうので、問題ありません。 | | | | | | | | |

会場図面(表記単位:メートル)



| | | | | |
|-------------------|------------|----|----|----|
| 搬入間口について | 幅 | 2m | 高さ | 2m |
| 搬入車両の横づけの可否 | 要 | | | |
| 横づけができない場合の搬入可能距離 | 10m以内が望ましい | | | |

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



おきなわかぶげきだん ちゅら

沖縄歌舞劇団 美



ねん にほんはつ おきなわじょせいおきなわ せつりつ おきなわ じょせいおきなわ はつ
 1998年、「日本初の沖縄女性歌舞劇団」として設立。沖縄の女性達だけによる沖縄で初のプロフェッショナルな歌舞劇団として誕生しました。華麗さと力強さを兼ね備えた女性若手舞踊家の中からオーディションを行い、流派を超え、選び抜かれたメンバーによって構成されております。琉球舞踊の継承を重んじ、日々厳しい修行を積み上げるとともに伝統を生かした数多くの作品を創作しております。創立以来、20年間で38か国72都市の海外公演を成功させるかたわら、日本全国の小・中・高等学校での学校公演及び一般公演を精力的に行い、国指定重要無形文化財である琉球舞踊の普及と創作活動を続けています。

【開催日程】

| 実施月日 | 実施校 | 地元主催者 |
|----------------|--------------|----------------------------|
| 2018年10月29日(月) | 伊方町立伊方小学校 | 愛媛県 / 愛媛県教育委員会 / 伊方町教育委員会 |
| 2018年10月30日(火) | 高知県立高知若草養護学校 | 高知県教育委員会 |
| 2018年10月31日(水) | 牟岐町立牟岐小学校 | 徳島県教育委員会 / 牟岐町教育委員会 |
| 2018年11月1日(木) | 綾川町立綾上小学校 | 香川県 / 香川県教育委員会 / 綾川町教育委員会 |
| 2018年11月2日(金) | 阿波市立林小学校 | 徳島県教育委員会 / 阿波市教育委員会 |
| 2018年11月5日(月) | 綾川町立陶小学校 | 香川県 / 香川県教育委員会 / 綾川町教育委員会 |
| 2018年11月6日(火) | 高松市立三溪小学校 | 香川県 / 香川県教育委員会 |
| 2018年11月7日(水) | 高松市立古高松中学校 | 香川県 / 香川県教育委員会 |
| 2018年11月8日(木) | 小豆島町立安田小学校 | 香川県 / 香川県教育委員会 / 小豆島町教育委員会 |
| 2018年11月9日(金) | 小豆島町立星城小学校 | 香川県 / 香川県教育委員会 / 小豆島町教育委員会 |
| 2018年11月12日(月) | 神戸市立原田中学校 | 神戸市教育委員会 |
| 2018年11月13日(火) | 市川町立甘地小学校 | 兵庫県教育委員会 / 市川町教育委員会 |
| 2018年11月14日(水) | 甲南小学校 | 兵庫県教育委員会 |

知っていますか?

10月1日は国際音楽の日です

ねん ようせい せつりつ こくさいおんがくひょうぎかい かいぎ よくとし ねん まいとし がつ
 1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることをしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

ぶんかちょう 文化庁 文化庁

平成30年度 文化芸術による子供の育成事業 —巡回公演事業—

おきなわ しき うた おど たいこ おく
沖縄の四季を唄と踊りと太鼓で贈る

ていーだ はな
太陽の花



おきなわかぶげきだん ちゅら
沖縄歌舞劇団 美

ぶんかげいじゆつ こども いくせいじぎょう じゅんかいこうえんじぎょう
「文化芸術による子供の育成事業 - 巡回公演事業 -」

わ くに いちりゆう ぶんかげいじゆつだんたい しょうがっこう ちゅうがっこうなど こうえん こども すく ぶたいげいじゆつ かんしょう
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成を図ります。

さかい え こども はっせうりやく のうりやく いくせい しょうらい げいじゆつか いくせい
や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

じぜん こども じつえんじどう また かんしょうじどう おこな じつえん
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

おきなわ でんとうぶんか 沖繩の伝統文化を たの たいけん 楽しみながら体験しよう!



琉球舞踊は、琉球が「琉球」と呼ばれた一つの独立国家だった時代、おきなわ だいのう げいのう ひと りゅうきゅうぶよう べつめい きゆうていぶよう 沖繩を代表する芸能の一つの「琉球舞踊」は、別名「宮廷舞踊」とも呼ばれ、特別なお客様をおもてなしする為に、創作されました。「踊奉行」と呼ばれる首里の役人は、踊りや衣装、演奏にも常に工夫と発展を行い、今日までその技が継承されています。洗練された静と動を活かす艶やかな舞いに民の心情を快活に表現する舞い。自然に恵まれた沖繩独特の鮮やかな衣装と、三線・太鼓の音色は心地よく、楽しみながら沖繩の芸能をご堪能いただけることでしょう。



よつ たけ
四つ竹



マミドーマー

さく ひん がいよう 作品概要

今回のプログラムでは、琉球王朝時代から現在まで継承・発展された沖繩伝統芸能の代表格といえる芸能をご紹介します。

廃藩置県後、宮廷舞踊から下町や離島へと舞台を移し、優雅だった踊りは、庶民の生活や想いをテーマに身近で革新的な舞踊へと変化していきます。同じく王朝時代から歴史を持つ、五穀豊稔や厄払いの意味合いを込めて演じられていた勇壮な獅子舞や、旧盆の最終日に先祖をあの世へ送り出す念仏踊りのエイサーのリズムや風貌は沖繩に行かなければ、なかなか鑑賞することのできない芸能です。また、沖繩民謡の他、沖繩本島でも耳にすることの少ない八重山の伝統民謡なども紹介します。

今回の公演ではこれら沖繩・八重山諸島の生きた芸能をご紹介します。沖繩の人々は、嬉しいときも悲しいときも歌や音楽を心の支えにしてきました。また、ユイマールの精神に代表されるように、お互いが助け合ったり、仲良くする文化が息づいています。

※ ユイマールとは、結いの意味する沖繩の方言です。誰もがお互いに信頼し合い心から支え合い、ひとりひとり、ちいさな力を出し合い助け合うと言う意味です。

プログラム

- 1 四つ竹 (古典舞踊)**
祝儀舞踊の代表作。南国沖繩を象徴する赤い花、青い空と白い波をモチーフにした「花笠」をかぶり、伝統の染色技法で作られた「紅型」を身にまといます。手には四枚の竹を持ち、カスタンネットのように打ち鳴らしながら、歓迎の喜びを表現します。
- 2 加那ヨ一天川 (男女打ち組み踊)**
愛し合う男女の愛の印である花染めの手ぬぐいをもち、軽快なリズムにのって恋の仕草を明るく表現した踊り。
- 3 かぎやで風 (古典祝儀舞踊)**
祝宴の座開きとして踊られる祝儀舞踊。金銀の扇子を持ち、色鮮やかな衣装を身にまとい、ゆったりとした踊りです。
- 4 武の舞 (創作空手男踊り)**
空手や古武術を取り入れた、琉球舞踊。サイヤヌンチャクを使い、武の技を使う姿が男中で、優雅な舞です。
- 5 沖繩民謡**
沖繩の古くから伝わる民謡をご紹介します。



ぶ まい
武の舞



アングマー

し し ばい
獅子舞



エイサー



カチャーシー

- 6 獅子舞 (伝統芸能)**
沖繩各地に伝わる獅子舞は、中国から伝わったものといわれ、悪霊をはらい、五穀豊稔と子孫繁栄を祈願します。頭と胴体で2人の人間が息を合わせて獅子を操ります。
- 7 エイサー (伝統芸能) 生徒参加**
旧暦の最終日に祖先をあの世へ送り出す念仏踊り。大太鼓や締め太鼓を使い高揚感を演出します。
- 8 アングマー (八重山諸島伝統芸能)**
石垣島独特の伝統行事。あの世からやってきたお爺さんとお婆さんをお面をかぶり表現します。
- 9 トゥバラーマ (八重山民謡)**
無形文化遺産にも指定されている八重山の名曲。愛情や生活の喜び、悲しみが込められています。
- 10 マミドーマー (八重山芸能)**
クワヤカマを手に、愉快でユーモラスな庶民の生活を再現した農耕舞踊です。
- 11 カチャーシー (伝統芸能)**
沖繩で宴会や舞台の「締め」に踊られる簡単でポピュラーな舞。

VI 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目 (いずれかに○をつけて下さい。)

| | |
|--------|---|
| 【音 楽】 | 合唱, <input type="checkbox"/> オーケストラ等, 音楽劇 |
| 【演 劇】 | 児童劇, 演劇, ミュージカル |
| 【舞 踊】 | バレエ, 現代舞踊 |
| 【伝統芸能】 | 歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸 |

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ | A区分とB区分の両方 | C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり | なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

(1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能

 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能

(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能

(4) その他()

芸術文化団体の概要

| | | | |
|-----------------------|---|-----------|---|
| ふりがな 制作団体名 | とくていひえいりかつどうほうじん きょうとふいはーもにーしつないがっそうだん ----- 特定非営利活動法人 京都フィルハーモニー室内合奏団 | | |
| 代表者職・氏名 | 理事長 小林明 | | |
| 制作団体所在地 (最寄り駅・バス停) | 〒604-8135 京都市中京区東洞院通三条下る三文字町 200 番地 ミックナカムラ 303 号室 (最寄り駅:京都市営地下鉄「烏丸御池」) | | |
| 電 話 番 号 | 075-212-8275 | F A X 番 号 | 075-212-8277 |
| ふりがな 公演団体名 | きょうとふいはーもにーしつないがっそうだん ----- 京都フィルハーモニー室内合奏団 | | |
| 代表者職・氏名 | 理事長 小林明 | | |
| 公演団体所在地 (最寄り駅・バス停) | 〒604-8135 京都市中京区東洞院通三条下る三文字町 200 番地 ミックナカムラ 303 号室 (最寄り駅:京都市営地下鉄「烏丸御池」) | | |
| 制 作 団 体 設 立 年 月 | 1972 年 5 月 | | |
| 制 作 団 体 組 織 | 役 職 員 | | 団体構成員及び加入条件等 |
| | 理事長 小林明 理事 岡島 一成、深尾 昌峰、木村守 松田学、越川雅之、黒飛雅之 | | 森本 真裕美、岩本 祐果、中野 祥世、松田 美奈子、佐藤響、 金澤 恭典、市川 えり子、岸 さやか、松田 学、小川 慧巳、西 谷 良彦、村井 博之、越川 雅之、小林 明、黒飛 雅之、田中 美 幸。正会員の加入条件：積極的に活動を推進する音楽家と音楽 に関心のある個人。総会における議決権を有する者。 |

| | | | |
|-------------------|--|---------|------|
| 事務体制の担当 | <input checked="" type="checkbox"/> 専任 ・ 他の業務と兼任 | 本事業担当者名 | 小林明 |
| 経理処理等の 監査担当の有無 | <input type="checkbox"/> 有 ・ 無 | 経理責任者名 | 田中美幸 |

| | | | |
|-------------------------|---|---|---|
| 制作団体沿革 | <p>1972年5月京都フィルハーモニー室内合奏団 創立。 1979年5月有限会社 京都フィルハーモニー室内合奏団 成立。 平成2年度 藤堂音楽賞受賞。 2000年1月特定非営利活動法人 京都フィルハーモニー室内合奏団 認証。 2002年10月イタリアツアーで好評を博す。 平成14年度 京都新聞大賞文化学術賞受賞。 2006年から社団法人 日本オーケストラ連盟準会員。 2012年5月創立40年を迎える。 2014年4月音楽監督に齊藤一郎を迎える。 平成28年度 佐川吉男音楽賞奨励賞受賞。 2017年5月創立45周年を迎える。</p> | | |
| 学校等における 公演実績 | <p>1972年創立以来、小学校公演延べ3000校、約190万人の生徒が鑑賞。 2003年度から毎年、京都コンサートホールで子供対象のコンサートを主催 (年3回。5月、7月、12月)。 25年間、佐賀県唐津市肥前町で「早春コンサート」を継続実施(毎年2月)。 関西公共ホールにて0歳児からのコンサートを毎年、多数実施。 京都府内および京都市内小学校で多数公演。 2014年伊丹市立小学校全校を巡回公演(17校)。 2012年、2014年、鳥取県内小学校にて巡回公演(10校)。 2012年度より毎年京都府「次世代文化継承・発展」事業に参加。 ワークショップを展開(3回×4校)。 2014年2016年2018年福井県全県小学生音楽鑑賞会実施 (セントラル愛知交響楽団との合同演奏) 2018年度滋賀県栗東市全小学校音楽鑑賞会実施。 毎年京都府内3~4ヶ所の支援学校で鑑賞会を実施。 長岡京市、京都市で中学校吹奏楽部のクリニックを実施。</p> | | |
| 特別支援学校に おける公演実績 | <p>毎年、中丹支援学校、丹波支援学校、八幡支援学校、向日が丘支援学校、城陽支援学校(いずれも京都府立)にて公演およびワークショップを実施。文化庁巡回公演でも各地支援学校で演奏。</p> | | |
| 参考資料の 有無 | A | 申請する演目のチラシパンフレット等 | <input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| | | 申請する演目のDVDまたはWEB公開資料 | <input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| | | ※公開資料有の場合 URL | |
| | | ※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード | ID: PW: |
| | Aの 提出が 困難な 場合 | 今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 |
| | | ※公開資料有の場合 URL | https://www.youtube.com/watch?v=0U19GqoiwSE |
| ※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード | | ID: PW: | |

公演・ワークショップの内容

【公演団体名:京都フィルハーモニー室内合奏団】

| | | | |
|-------------------------------|---|--------------------------|---------------------------------------|
| 対象 | 小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生 | | |
| 企画名 | 夢いっぱいコンサート | | |
| 本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付 | <ul style="list-style-type: none"> ●テ・デウムよりプレリュード/シャルパンティエ作曲(金澤恭典編曲)【4分】 ●楽器紹介(弦、管、打、順番に)【10分】 ●ヴァイオリン協奏曲「四季」より「春」第1楽章/ヴィヴァルディ作曲【4分】 ●ずいずいずっころばし/童謡(木管五重奏版)(柏原賢編曲)【4分】 ●魔法使いの弟子(ナレーションつき)/デュカス作曲(イアンファリントン編曲)【15分】 【休憩】【15分】 ●ウィリアムテル序曲より「スイス軍の行進」(ハウキのラッパ版) /ロッシェニ作曲(前田肇編曲)【4分】 【共演 オーケストラ伴奏で合唱】【5分】 小学校→「気球にのってどこまでも」/平吉毅州 中学校→「花」/滝廉太郎 ●【校歌をオーケストラ伴奏で歌おう】【4分】 ●カルメンより抜粋/ビゼー(金澤恭典編曲)【20分】 ※アンコール:憂いもなく/ヨゼフシュトラウス作曲(前田肇編曲) ※コンサート後、児童対象に弦楽器体験をしていただきます。 <p style="text-align: right;">小学校【公演時間 90分】弦楽器体験【10分】 中学校【公演時間 90分】質問コーナー【10分】</p> | | |
| 著作権 | 制作団体が 所有 | ○ 制作団体以外が所有する事 項が含まれる | 有 (制作団体以外が所有する事項 が含まれる場合) 許諾の有無 |
| 演目概要 | <ul style="list-style-type: none"> ●テ・デウムよりプレリュード/シャルパンティエ作曲(金澤恭典編曲) バロック祝典音楽のファンファーレ。金管3名が華々しく立奏します。 ●楽器紹介(弦、管、打、順番に) 各セクション事に楽器の特徴を丁寧に説明します。音の違いも聴いてもらいます。 音色、形、名前を覚えましょう! ●ヴァイオリン協奏曲「四季」より「春」第1楽章/ヴィヴァルディ作曲 春の情景をヴァイオリンの技巧的なソロで描写します。 ●ずいずいずっころばし/童謡(木管五重奏版)(柏原賢編曲) ヴィヴァルディでしっかり弦楽器を聴いて貰った後は木管五重奏をよく知られる曲で。 ●魔法使いの弟子(ナレーションつき)/デュカス作曲(イアンファリントン編曲) ディズニー作品でも有名になった物語を新進気鋭のイギリスの作曲家・イアンファリントンによる室内オーケストラの為の編曲で、ナレーション付きで楽しんでいただきます! ●ウィリアムテル序曲より「スイス軍の行進」(ハウキのラッパ版)/ ロッシェニ作曲(前田肇編曲) 【共演 オーケストラ伴奏で合唱】 小学校→「気球にのってどこまでも」/平吉毅州 中学校→「花」/滝廉太郎 ●【校歌をオーケストラ伴奏で歌おう】 日本人作曲家による、後世に伝えるべき素晴らしい作品をオーケストラと共演しましょう! ●カルメンより抜粋/ビゼー(金澤恭典編曲) 世界一の公演実績を誇る名作オペラ、カルメンより、メゾソプラノ独唱、トランペット独奏も交えて選りすぐりの楽章をお届けします。 | | |

| | | | |
|------------------------------|---|---------------------|---|
| <p>演目選択理由</p> | <p>【公演前半】 多様なアンサンブルの形態により、馴染みあり、親しみある音楽を演奏します。楽器紹介を交え、楽器の組み合わせによる音色、響きの違いを、興味深くお聴きいただけます。</p> <p>デュカスの自信作「魔法使いの弟子」では、ナレーションが入ることにより、情景をより思い浮かべながら、鑑賞いただけます。</p> <p>【公演後半】 後半の始めは、金管楽器の音の出る仕組を利用したホウキのラッパによる「スイス軍の行進」の演奏で、再びコンサートへと導きます。</p> <p>共演では、音楽の教科書にも載っている曲目を取り上げ、最も身近な表現方法である「歌」による共演の楽しさを、体感して頂きます。事前にピアノ伴奏と歌のガイド付きCDを学校に送りますので、先生方と子どもたちが本番への共演に向けて安心して練習することができます。校歌は児童生徒数に合わせた臨機応変な編曲で対応。校長先生指揮による校歌ではヴォルテージが上がります。</p> <p>メインプログラムは、世界的にも上演機会の多いオペラ「カルメン」より、情熱的な作品を抜粋し、派手やかにコンサートを締めくくります。</p> | | |
| <p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. 合唱での共演。 2. 各学校の校歌斉唱 (指揮は校長先生！京フィルオリジナルアレンジでゴージャスに！) 3. 小学校公演終了後、児童に弦楽器を体験してもらいます。 4. 生徒からの演奏者への疑問質問に演奏者が答えます。 | | |
| <p>出演者</p> | <p>編成 第一ヴァイオリン 2名、第二ヴァイオリン 1名、ヴィオラ 1名、チェロ 1名、コントラバス 1名、フルート 1名、オーボエ 1名、クラリネット 1名、ファゴット 1名、ホルン 1名、トランペット 1名、トロンボーン 1名、打楽器 1名、歌手(司会兼) 1名 計 15名 No.2 別紙メンバー表あります</p> | | |
| <p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p> | <p style="text-align: center;"> 出演者： 15名 スタッフ： 4名 合計： 19名 </p> | <p>機材等 運搬方法</p> | <p>積載量 2tトラック 車長 6.5m 台数 1台</p> |

【公演団体名:京都フィルハーモニー室内合奏団】

| 公演に当たっての 会 場 条 件 | 実施条件等確認書①をご確認ください。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------------|---|-------------------------|-------|----------------|---------|----|----|-----|--------------------------|------------------|------|----------------|------|--|--|-------------------------|--|--|--|
| 会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安 | <p>前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間(1 時間程度)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">到着</th> <th style="width: 20%;">仕込み</th> <th style="width: 30%;">本公演</th> <th style="width: 10%;">内休憩</th> <th style="width: 10%;">撤去</th> <th style="width: 10%;">退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">9 時</td> <td>セッティング9時~10時 ゲネプロ11時~</td> <td style="text-align: center;">13 時 30 分 ~ 15 時</td> <td style="text-align: center;">15 分</td> <td style="text-align: center;">15時15分 ~16時</td> <td style="text-align: center;">16 時</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center; font-size: small;">弦楽器体験(質問コーナー)15時~15時15分</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。</p> | 到着 | 仕込み | 本公演 | 内休憩 | 撤去 | 退出 | 9 時 | セッティング9時~10時 ゲネプロ11時~ | 13 時 30 分 ~ 15 時 | 15 分 | 15時15分 ~16時 | 16 時 | | | 弦楽器体験(質問コーナー)15時~15時15分 | | | |
| 到着 | 仕込み | 本公演 | 内休憩 | 撤去 | 退出 | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 時 | セッティング9時~10時 ゲネプロ11時~ | 13 時 30 分 ~ 15 時 | 15 分 | 15時15分 ~16時 | 16 時 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 弦楽器体験(質問コーナー)15時~15時15分 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 児 童 ・ 生 徒 の参加可能人数 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">ワークショップ</td> <td style="text-align: center;">~150名</td> </tr> <tr> <td>本公演</td> <td style="text-align: center;">~400名程度</td> </tr> </table> | ワークショップ | ~150名 | 本公演 | ~400名程度 | | | | | | | | | | | | | | |
| ワークショップ | ~150名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 本公演 | ~400名程度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ワーショップ 実 施 形 態 及 び 内 容 | <ul style="list-style-type: none"> ・歌手1名、ピアニスト1名、スタッフ1名の計3名を派遣する。 ・ワークショップの最初に、京フィルメンバーによるミニコンサートを実施。 ・本公演にむけて、発声、合唱練習をおこなう。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ワーショップ 実施形態の意図 | プロ歌手の的確な指導とアドバイスで児童、生徒たちの演奏レベル、ならびに感受性の向上を狙う。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 特別支援学校で の実施における 工夫点 | 各学校に合った進行を綿密な打ち合わせをもとに、児童生徒一人一人の実情や到達点に合わせた工夫をおこないます。 過去、本事業において、ヴァイオリン体験&共演をおこなった実績があります。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実 施 可 能 時 期 ◇はB区分申請 団体のみ | 実施可能時期スケジュール表をご確認ください。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

C区分

【公演団体名 京都フィルハーモニー室内合奏団】

出演者(予定)

| | | | |
|----------|--------|--------|--------|
| 歌、司会 | 西村薫 | フルート | 市川 えり子 |
| 第一ヴァイオリン | 森本 真裕美 | オーボエ | 岸 さやか |
| | 中野祥世 | クラリネット | 松田 学 |
| 第二ヴァイオリン | 岩本 祐果 | ファゴット | 小川 慧巳 |
| ヴィオラ | 松田 美奈子 | ホルン | 伊藤 数仁 |
| チェロ | 佐藤 響 | トランペット | 西谷 良彦 |
| コントラバス | 金澤 恭典 | トロンボーン | 村井 博之 |
| | | 打楽器 | 越川 雅之 |

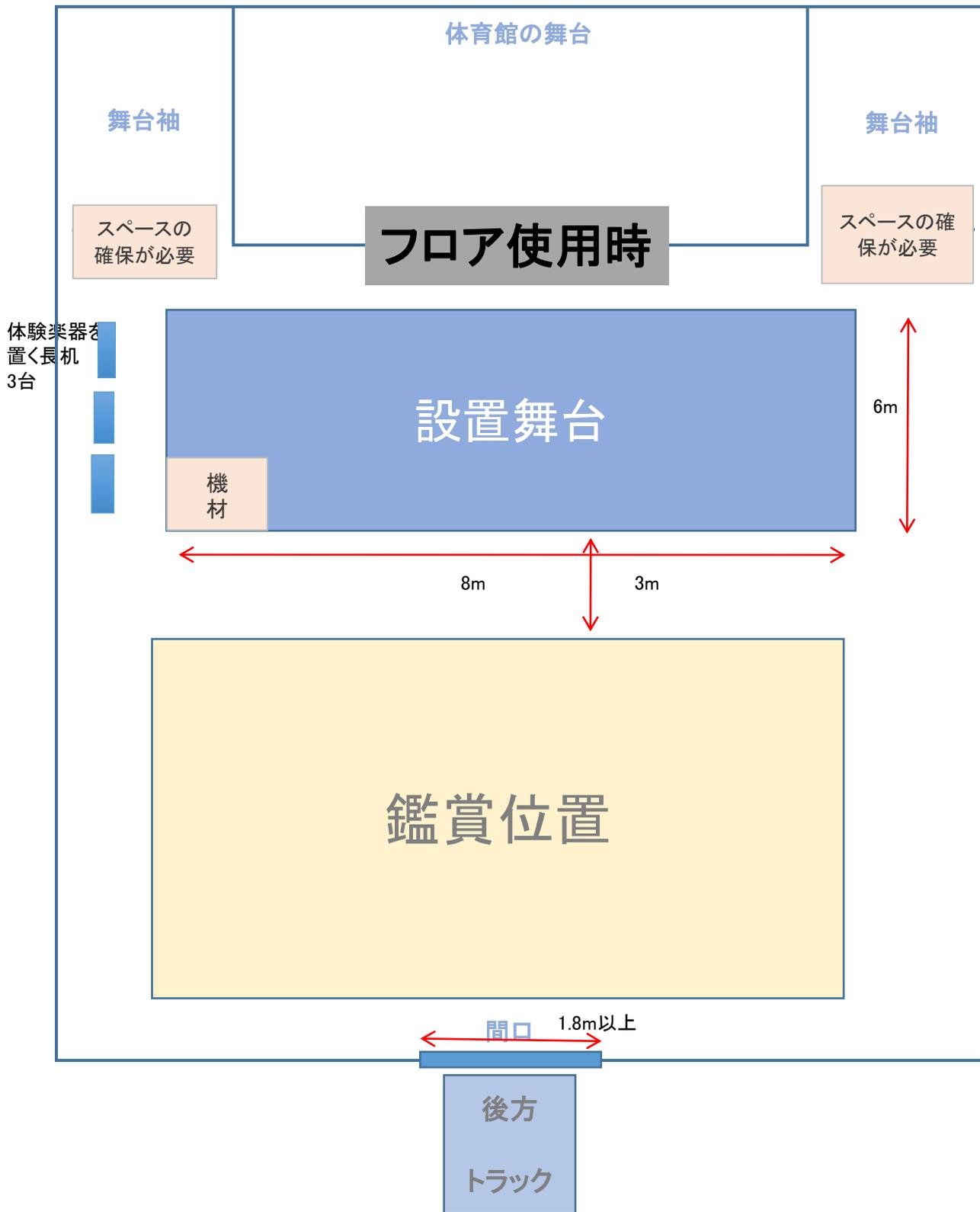
【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

| | | | | | | | | | |
|-------|-----------------|----|----|----|---------|---------------------------|-----|----|-----|
| ID | K118 | 分野 | 音楽 | 種目 | オーケストラ等 | ブロック | G・H | 区分 | C区分 |
| 公演団体名 | 京都フィルハーモニー室内合奏団 | | | | 制作団体名 | 特定非営利活動法人 京都フィルハーモニー室内合奏団 | | | |

① 会場条件等についての確認

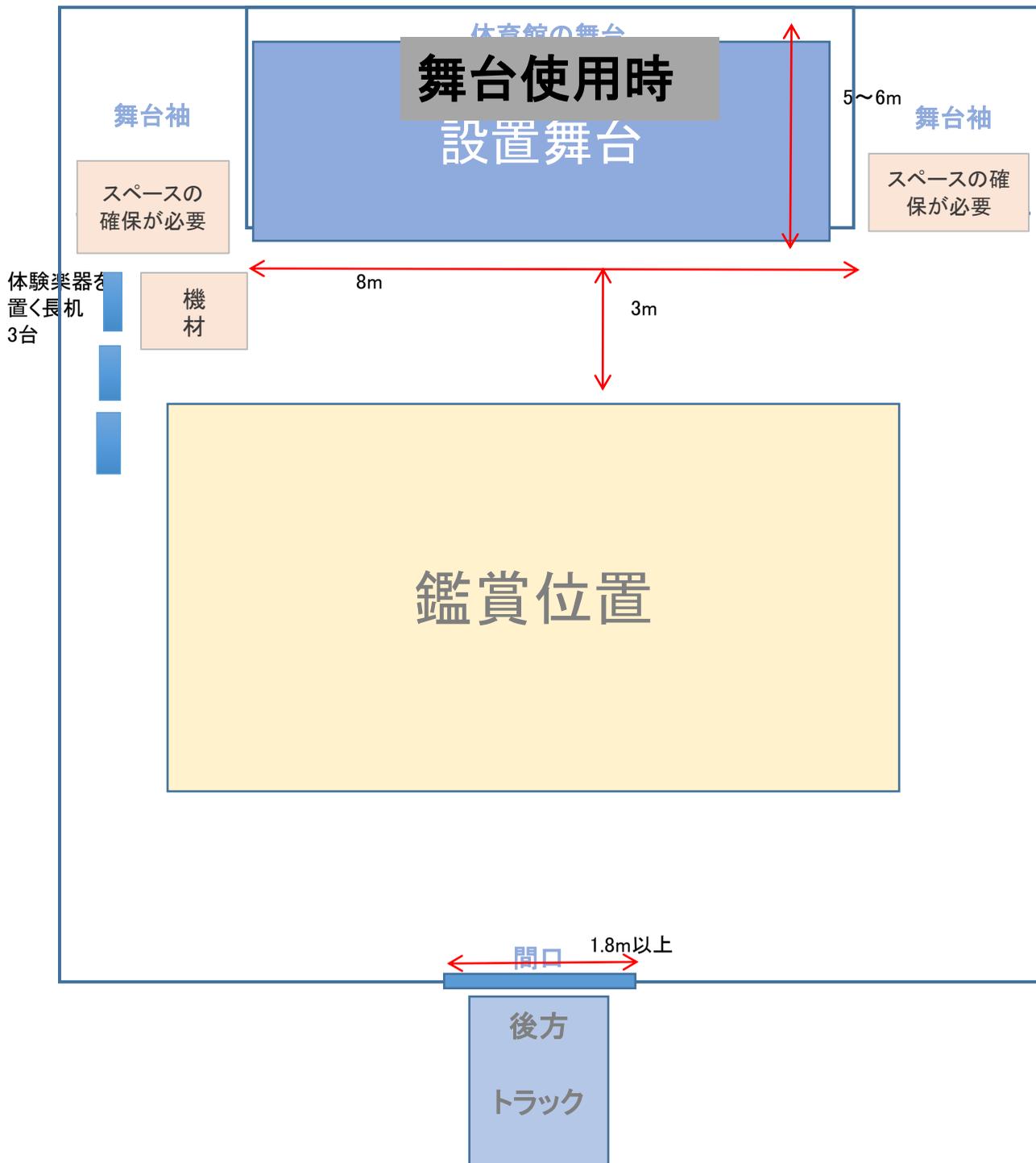
| 項目 | 応相談 | 必要条件等 | | | | | | | | | |
|---------|--|------------------------|----|-----------------|--|--------|------------------------|--------------------|------|--|--|
| 控室について | 不可 | 必要数 * | 2室 | 条件 | 男性1室、女性1室。(要 カーテン) お手洗場所が近い所を希望します。 | | | | | | |
| 搬入について | 可 | 来校する車両の大きさや台数 * | | | 2tトラック | 1台 | 小型バス | 1台 | | | |
| | 可 | 来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ | | | 2tトラック1台 | | | | | | |
| | 可 | 搬入車両の横づけの要否 * | | | 要 | | | | | | |
| | 可 | 横づけができない場合の搬入可能距離 * | | | 10m以内 | | | | | | |
| | 可 | 搬入経路の最低条件 | | | ・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。 | | | | | | |
| | | 理由 | | | 大型楽器搬入のため | | | | | | |
| | 可 | 設置階の制限 * | | | 問わない | | | | | | |
| | 可 | 搬入間口について 単位:メートル | | 幅 | 1.8m | 高さ | 1.8m | | | | |
| WSIについて | 可 | 参加可能人数 | | | 200名程度まで | | | | | | |
| | 不可 | 学年の指定の有無 * | | | なし | 指定学年 * | | | | | |
| | 可 | 所要時間の目安 単位:分 | | | 90分 | | | | | | |
| 本公演について | | 会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間 | | | ※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安をご参照ください。 | | | | | | |
| | 可 | 鑑賞可能人数 | | | 400名程度まで | | | | | | |
| | 可 | 舞台設置場所 * | | | ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能 | | | | | | |
| | 可 | 舞台設置に必要な広さ 単位:メートル | | 幅 | 8m | 奥行 | 6m | 高さ | 指定なし | | |
| | 可 | 体育館の舞台を使用する場合の条件 | | | 舞台袖スペースの確保 * | | | 要 | | | |
| | 可 | | | | 舞台袖スペースの条件 * | | | 袖に荷物が無い状態 | | | |
| | 可 | 遮光(暗幕等)の要否 * | | | 緞帳 * | 不要 | | バトン * | 不要 | | |
| | 可 | | | | 理由 | | | 楽器に太陽が当たらないようにするため | | | |
| | — | ピアノの調律・移動の要否 | | 指定位置へのピアノの移動 * | | | ※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。 | | | | |
| | — | | | ピアノの事前調律 * | | | | | | | |
| | 可 | フロアを使用する場合の条件 | | バスケットゴールの設置状況 * | | | 格納されていれば可 | | | | |
| | 不可 | 公演に必要な電源容量 | | | 100Vコンセント | | | ※主幹電源の必要容量 | | | |
| | その他特記事項 | | | | | | | | | | |
| 可 | 来校する車両＝僻地校でトラックが侵入困難な学校ではバンのレンタカーを使用する場合があります。 | | | | | | | | | | |
| 不可 | パイプいすを30脚、長机3台ご用意をお願いします。 | | | | | | | | | | |
| 不可 | ピアノは使用しません。 | | | | | | | | | | |

会場図面(表記単位:メートル)



| | | | | |
|-------------------|---|-----|----|----|
| 搬入間口について | 幅 | 1.8 | 高さ | なし |
| 搬入車両の横づけの要否 | | 要 | | |
| 横づけができない場合の搬入可能距離 | | 10m | | |

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



| | | | | |
|-------------------|---|-----|----|----|
| 搬入間口について | 幅 | 1.8 | 高さ | なし |
| 搬入車両の横づけの要否 | | 要 | | |
| 横づけができない場合の搬入可能距離 | | 10m | | |

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



夢いっぱいコンサート

「クオリティは高く、ステージは楽しく」をモットーに、1972年の創立以来、ユニークな室内オーケストラとして46年、子どもたちのために精一杯演奏いたします。

<京フィルの魅力>

◆その一・・・音楽が大好きな楽しいメンバー



プロフィール

1972年に結成。本年創立46年を迎える。一人一人がソリストの個性派揃いのプロの合奏団。「クオリティは高く、ステージは楽しく」というポリシーを持った京フィルは、クラシック音楽の他に様々なジャンルの音楽もセンスある編曲を施して演奏し、多くの聴衆を魅了している。国内外の演奏家や指揮者と共演する一方、狂言、文楽人形、津軽三味線、尺八等の日本の伝統芸能とのコラボレーションや、俳優、タレント、落語家、漫才師等の異分野との共演も積極的におこない、「挑戦する室内オーケストラ」と大好評を博している。また創立以来、活動の柱としている学校音楽観賞会では延べ3000校、190万人以上の子どもたちに楽しい音楽を届け続けて、積極的に聴衆の育成拡大に力を注いでいる。

平成2年度藤堂音楽賞。平成14年度京都新聞大賞文化学術賞。平成28年度佐川吉男音楽賞受賞。社団法人日本オーケストラ連盟準会員。2014年4月より音楽監督に齊藤一郎を迎える。

◆その二・・・楽しい名曲の数々

- テ・デウムよりプレリュード/シャルパンティ作曲
- 楽器の紹介(弦楽器、管楽器、打楽器、順番に聞きましょう)
- ヴァイオリン協奏曲「四季」より「春」第1楽章/ヴィヴァルディ作曲
- ずいずいずっころばし/童謡(木管五重奏版)
- 魔法使いの弟子(ナレーションつき)/デュカス作曲
- 【休憩】【15分】
- ウィリアムテル序曲より「スイス軍の行進」(ホウキのラッパ版) / ロッシーニ作曲
- 【共演 オーケストラ伴奏で合唱】(先生に指揮をお願い!)
- 【校歌をオーケストラ伴奏で歌おう】(先生に指揮をお願い!)
- カルメンより抜粋/ビゼー
- コンサート後、小学校では弦楽器体験があります。

<公演時間>

小学校【公演時間90分】

【弦楽器体験10分】

中学校【公演時間90分】

【質問コーナー10分】

編成：ヴァイオリン3名、ヴィオラ1名、チェロ1名、コントラバス1名、フルート1名、オーボエ1名、クラリネット1名、ファゴット1名、ホルン1名、トランペット1名、トロンボーン1名、打楽器1名、歌手(司会)1名※指揮者はいません、

◆その三・・・曲目の解説は楽しく、わかりやすく。

●テ・デウムよりプレリュード/シャルパンティエ

バロック祝典音楽のファンファーレ。金管楽器奏者3名が華々しく立奏します。

●楽器の紹介

弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器など
各楽器事に楽器の特徴を丁寧に説明します。
音色、形、名前を覚えましょう!

●ヴァイオリン協奏曲「四季」より「春」第1楽章/ヴィヴァルディ
春の訪れを喜ぶ気持ちや、美しい小鳥たちの鳴き声、突然の春雷
など、春の情景を独奏ヴァイオリンの技巧的なソロで描写します。

●ずいずいずっころばし/童謡(木管五重奏版)

ヴィヴァルディでしっかり弦楽器を聴いて貰った後は、木管五重奏
(フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルン) の編成で
昔からよく知られる日本の曲を演奏します。



●魔法使いの弟子(ナレーション付)/デュカス作曲

ディズニー作品でも有名になった物語を イギリスの
作曲家イアン・ファリントン による編曲で楽しんで
いただきます!



●ウィリアムテル序曲より「スイス軍の行進」/ ロッシーニ作曲

何?これ楽器?ホウキがラッパに? ロッシーニの名曲を、
お家にある物を楽器にして演奏します。

見なければ、聴かなければ・・・信じられない! s



★【共演 オーケストラ伴奏で子どもたちの合唱と】

- ・小学校→「気球にのってどこまでも」/東龍男作詞、平吉毅州作曲
- ・中学校→「花」/武島羽衣作詞、滝廉太郎作曲

★【校歌をオーケストラ伴奏で歌おう】

へー!こんな音に?皆さんの校歌がイメージチェンジします!
オーケストラの伴奏で、大きな声で校歌を歌いましょう!



●「カルメン」より

～前奏曲・ハバネラ・セギディーリア・ジプシーの踊り/ビゼー

世界一の公演実績を誇る名作オペラ「カルメン」よりメゾソプラノ独唱やトランペット独奏を交えて選りすぐりの名曲をお届けします。

◆もうひとつの魅力・・・

---コンサート終了後、みんなで弦楽器を体験しましょう! (中学校は質問コーナーです) ---



特定非営利活動法人

京都フィルハーモニー室内合奏団

〒604-8135 京都市中京区東洞院通三条下る
ミックナカムラ303

☎075-212-8275 FAX075-212-8277

office@kyophil.com